

# 会報

第48号

令和8年2月発行



## 目 次

### 1 役員会報告

令和6年度理事会	4
令和6年度常任理事会	7

### 2 活動報告

協賛・後援事業等報告	12
------------	----

### 3 地域社会武道指導者研修会・地方青少年武道錬成大会

令和6年度地域社会武道指導者研修会・地方青少年武道錬成大会開催一覧	16
中学校武道必修化「特化型」地域社会武道指導者研修会実施内容報告	20
実施報告・参加者感想文	
柔道	30
剣道	35
弓道	40
相撲	47
空手道	49
合気道	51
少林寺拳法	54
なぎなた	59
銃剣道	68
地方青少年武道錬成大会・地域社会武道指導者研修会 古武道模範演武	72
令和7年度地域社会武道指導者研修会・地方青少年武道錬成大会開催一覧	75

### 4 資料

中学校武道必修化関連事業一覧	80
地域社会武道指導者研修会・地方青少年武道錬成大会 実施状況一覧	84
全国都道府県立武道館協議会 年表	93
全国都道府県立武道館協議会 役員名簿	98

(表紙写真) 鳥取県(米子市)地方青少年銃剣道錬成大会  
岩手県(花巻市)地方青少年弓道錬成大会  
富山県(富山市)地域社会合気道指導者研修会  
鹿児島県(肝付町)地方青少年柔道錬成大会  
青森県(弘前市)地域社会空手道指導者研修会  
静岡県(藤枝市)地方青少年少林寺拳法錬成大会  
山口県(山口市)地域社会なぎなた指導者研修会  
新潟県(上越市)地域社会剣道指導者研修会  
青森県(弘前市)地方青少年相撲錬成大会

上段左上から

# 1 役員会報告

# 令和6年度理事会

令和6年度全国都道府県立武道館協議会理事会は、4月26日にKKRホテル東京（東京都千代田区）にて実施された。

定刻、事務局が開会を宣し、規約に基づき川端達夫理事長が議長を行う旨を述べ、理事長は議長に就いた。

会議に先立ち、高村正彦会長が挨拶を述べた。議長は、本日の定足数を事務局に確認（総数54名、出席38名、委任状提出者16名、会議は成立）し、議事録署名人として、寺内定雄（東京）・佐藤昭人（三重）両理事氏を指名、出席者の同意が得られた。

次に事務局より以下の事項について報告がなされた。

## ■報告事項

### (1)令和6年武道振興大会について

令和6年武道振興大会は3月6日（水）、武道議員連盟・日本武道協議会・（公財）日本武道館の3団体共催により、衆議院第一議員会館多目的ホール（東京都千代田区永田町）において開催されたので報告する。

大会は、永嶋信哉日本武道館振興部長の司会で進められ、盛山正仁文部科学大臣をはじめ、武道議員連盟所属の国会議員、各武道団体役員ら216名が出席。丹羽秀樹武道議員連盟理事・事務局長による開会宣言の後、主催3団体を代表して江渡聡徳武道議員連盟会長、高村正彦日本武道協議会・日本武道館会長が挨拶を行った。

続いて、高木陽介武道議員連盟副会長・理事長が、中学校武道授業に関し、外部指導者を活用した複数種目実施のモデル事業の継続、中学校武道必修化の充実を目指し施設、用具、指導者の条件整備の推進、武道の国際的普及・振興のための支援や助成、古武道の文化財指定の推進・文化庁長官表彰の授与などを要望する大会決議を読み上げ、満場の拍手で採択され、盛山文部科学大臣に決議文が手渡された。決議を受けて盛山文部科学大臣が決議を踏まえて武道の一層の振興を図ると祝辞を述べた。

次いで、岸田文雄内閣総理大臣の祝辞文が読み上げられた。

その後、日本武道協議会加盟9団体の代表者が活動状況と今後の抱負を述べた。最後に高村正大武道議員連盟事務局次長が閉会宣言を行い、大会

は盛会裡に終了した。

また、武道振興大会に先立って、衆議院第一議員会館国際会議室で行われた令和6年武道議員連盟総会において、永嶋振興部長が日本武道協議会・日本武道館の令和5年度活動報告を行った。

### (2)令和5年度本協議会常任理事会について

令和5年度全国都道府県立武道館協議会常任理事会は令和6年3月5日（火）午後2時より、日本武道館大会議室において高村正彦会長、川端達夫理事長、江渡聡徳常任理事及びブロック常任理事8名、合計12名が出席して開催された。会議では報告事項13件、議案2件が審議され、承認可決されたので報告する。

### (3)令和5年度中学校武道必修化関連事業について

平成24年度に完全実施された中学校保健体育授業での武道必修化に対応し、令和5年度は、地域社会武道指導者研修会の全87カ所のうち、5カ所（3県）で、中学校武道必修化に特化した内容の研修会が実施された。

- (ア) 令和5年度地域社会武道指導者研修会87カ所のうち5カ所（山口2、静岡2、福島1）で中学校武道必修化に特化した研修会が実施された。
- (イ) 令和5年度中学校武道授業指導法研究事業が9種目の武道団体との共催で、日本武道館研修センター等全12カ所で実施された。
- (ウ) 第14回全国空手道指導者研修会が令和5年8月16日から18日まで、東京都江東区・日本空手道会館において、65名の参加者を得て実施された。
- (エ) 第11回全国少林寺拳法指導者研修会が令和5年9月16日から18日まで、日本武道館研修センターにおいて、34名の参加者を得て実施された。
- (オ) 第14回全国中学校（教科）柔道指導者研修会が令和5年10月13日から15日まで、日本武道館研修センターにおいて、31名の参加者を得て開催された。
- (カ) 第11回全国合気道指導者研修会が令和5年11月3日から5日まで、日本武道館研修センターにおいて、52名の参加者を得て開催された。
- (キ) 第10回全国銃剣道指導者研修会が令和5年11月10日から12日まで、日本武道館研修センターにおいて、50名の参加者を

得て開催された。

- (ク) 第10回全国相撲指導者研修会が令和5年11月17日から19日まで、日本武道館研修センターにおいて、52名の参加者を得て開催された。
- (ケ) 令和5年度全国なぎなた指導者研修会が令和5年11月24日から26日まで、日本武道館研修センターにおいて、55名の参加者を得て開催された。
- (コ) 第12回全国弓道指導者研修会が令和6年2月23日から25日まで、日本武道館研修センターにおいて、71名の参加者を得て開催された。
- (サ) 令和5年度全国剣道指導者研修会が全国2ブロック（東日本、西日本）において、計106名の参加者を得て開催された。

#### (4)「都道府県武道協議会」への運営及び武道祭開催助成金交付について（日本武道協議会）

日本武道協議会では、全国の各都道府県武道協議会に対し、武道の普及振興をより徹底、推進するため、平成22年度より「都道府県武道協議会運営助成金支出規程」を定め、以下の支出基準により、助成金（年度一律10万円）を日本武道協議会運営予算より支出している。助成金は、毎年度、所定申請書による手続きを経て、日本武道協議会の運営予算より支出される。

令和5年度は、秋田県、山形県、福島県、群馬県、埼玉県、東京都、富山県、滋賀県、山口県、愛媛県、大分県、沖縄県の12都県の武道協議会に対し、助成金が交付された。

また、令和元年度より支出規程が改定され、都道府県武道協議会が主催し、構成団体が出場する武道祭に対し、助成金（年度一律10万円）を別途支出している。

令和5年度は、埼玉県、富山県、群馬県、山口県、大分県、秋田県、山形県、滋賀県、東京都にて開催された武道祭に対し、助成金が交付された。

#### (5)「都道府県公立武道館協議会」への運営助成金交付について（本協議会）

本協議会は、規約第4条第5項「公立武道館協議会設置促進及び運営助成金の交付」に基づき「都道府県公立武道館協議会運営助成金支出規程」を定め、各加盟館を中心とした「都道府県公立武道館協議会」に対し、地方における武道の普及振興をより一層推進するため、以下の支出基準により、助成金（年度一律10万円）を交付している。助成金は、毎年度、所定申請書による手続きを経

て、本協議会の運営予算より支出される。

令和5年度は、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、和歌山県、鳥取県、宮崎県、鹿児島県の8県の公立武道館協議会に対し、助成金が交付された。

#### (6)第47回日本古武道演武大会について

第47回日本古武道演武大会〔主催：（公財）日本武道館・日本古武道協会、協賛：本協議会〕は全国から35流派・総勢212名の演武者が出場し、日本武道館で開催されたので報告する。

大会は、約1,700名を動員して10時30分に開会。片岡正徳日本武道館事務局次長の開会宣言に始まり、高村正彦日本武道館会長・日本古武道協会会長、川端達夫日本武道館理事長・日本古武道協会理事長がそれぞれ主催者挨拶を述べた。

開会式終了後、古武道功労者表彰式が行われ、高村会長より長沼悟詮溝口派一刀流剣術代表、増本孝和円心流居合物斬剣法五世宗家に表彰状と古武道功労章が授与された。

演武は、小笠原流弓馬術で幕を開け、各流派が次々と気迫あふれる演武を披露した。演武納めでは森重流砲術による火縄銃の連射で白煙とともに轟音が鳴り響いた。場内に余韻が残る中、内田康介日本古武道協会理事・事務局長の閉会宣言で幕を閉じた。

また、大会前日の2月3日には、日本古武道協会設立45周年を記念して、ホテルメトロポリタンエドモント「悠久の間」で記念式典・祝賀会を実施。来賓、役員、各流派招待者ほか、約240名が出席し、節目を祝った。

なお、演武大会当日、本協議会加盟館から久保木義明福島県武道協議会会長（福島県営あづま総合体育館）、大山圭子横浜武道館館長、佐藤昭人三重県武道振興会常務理事兼事務局長（三重武道館）、佐伯登志男愛媛県武道館館長、徳嶺亜矢乃沖縄県立武道館総務課長、瑞慶覧清香（沖縄県立武道館）の6名が来賓として出席した。

#### (7)「地方古武道大会」への開催助成金交付について（日本古武道協会）

日本古武道協会では、加盟流派が主催する地方古武道大会に対し、地方古武道大会開催助成金支出規程に基づき、大会を後援するとともに、助成金（一大会10万円）を日本古武道協会運営予算から支出している。令和5年度は、7大会に対し、助成金が交付された

#### (8)地方青少年武道錬成大会 古武道模範演武の実施について

日本古武道協会は、参加に武道の源流である古

武道への理解を深めてもらうため、本協議会加盟武道館協力のもと、地方青少年武道錬成大会、地域社会武道指導者研修会において古武道の模範演武を実施している。令和5年度は、愛媛県地方青少年柔道錬成大会で竹内流柔術腰廻小具足、沖縄県地域社会剣道指導者研修会で柳生新陰流剣術、鳥取県地域社会剣道指導者研修会で小野派一刀流剣術の演武がそれぞれ実施された。

**(9)第40回高円宮杯日本武道館書写書道大展覧会について**

令和6年8月に実施する第40回高円宮杯日本武道館書写書道大展覧会（日本武道館主催、本協議会後援）への参加、出品を呼びかけた。

**(10)会報第46号の発行について**

本協議会の令和4年度活動内容をまとめた『会報』第46号を発行し、役員、加盟館、スポーツ庁、武道議員連盟、各都道府県・政令指定都市教育委員会、各都道府県武道連盟、地域社会武道指導者研修会・地方青少年武道錬成大会の中央講師及び武道関係諸団体等に約900冊を配布した。

**(11)月刊「武道」誌上における活動報告・事業紹介について**

令和5年度に月刊「武道」誌上に掲載した「全武協のひろば」の掲載内容を紹介した。

**■議案**

**第1号議案 令和5年度事業報告承認の件**

令和5年度事業報告として、①理事会の開催、②常任理事会の開催、③会報の発行、④月刊「武道」の配布、⑤各都道府県公立武道館協議会設置促進及び運営の協力、⑥日本武道館との共催・協賛・後援事業の計6件が承認された。

**第2号議案 令和5年度収支決算承認の件**



令和5年度収支決算書は、予算額610万円に対し、決算額320万4,900円となった。大山監事より監査報告があり、原案どおり承認された。

大山圭子監事  
(横浜武道館)

**第3号議案 令和6年度事業計画書案議決の件**

令和6年度事業計画として、①理事会の開催、②常任理事会の開催、③会報の作成、④月刊「武道」の配布、⑤各都道府県公立武道館協議会設置促進及び運営の協力、⑥日本武道館との共催・協賛・後援事業の計6件が承認された。

**第4号議案 令和6年度収支予算書案議決の件**

令和6年度収支予算書案は前年度予算額610万円より40万円増の1,010万円で、原案どおり承認された。

**第5号議案 令和7年度主要事業の件**

令和7年度主要事業として、①令和7年度理事会開催日程について、②令和7年度常任理事会開催日程について、③令和7年度地域社会武道指導者研修会及び地方青少年武道錬成大会開催希望調査の実施についての3件が承認された。

**【全国都道府県立武道館協議会役員】**

会長：高村正彦（日本武道館）

理事長：川端達夫（日本武道館）

常任理事：

江渡聡徳（日本武道館） 森 英介（日本武道館）  
吉川英夫（日本武道館）

酒井 隆（北海道） 春藤英徳（青森）

山崎成夫（千葉） 木村正哉（新潟）

原 克彦（岐阜） 西 茂樹（兵庫）

金津義彦（島根） 松田由紀（高知）

佐保宏二（大分）

理事：

田中 聡（岩手） 阿部 正（宮城）

近江 謙（秋田） 逸見良昭（山形）

久保木義明（福島） 藤田昌人（茨城）

田代哲郎（栃木） 新井彰（埼玉）

中田謙司（埼玉・さいたま） 村上修史（東京）

鈴木 博（神奈川） 高橋創一（神奈川・川崎）

辻 昌彦（山梨） 中橋秋芳（富山）

堤 博昭（富山・高岡） 山本智秀（石川）

小林正純（福井） 木内義雄（長野）

大石広和（静岡） 高田 論（愛知）

佐藤昭人（三重） 村田惣一郎（滋賀）

松井道宣（京都） 島野大洋（大阪）

牧野 望（奈良） 阪口雅則（和歌山）

山中洋介（鳥取） 山本晋一郎（岡山）

野村満史（広島） 前田安典（山口）

平島一男（徳島） 大林達造（香川）

佐伯登志男（愛媛） 鶴 英樹（福岡）

溝上泰弘（佐賀） 松山度良（長崎）

河津修司（熊本） 萩尾英司（宮崎）

肥後昭文（鹿児島） 渡慶次勝（沖縄）

監事：

高田 勉（群馬） 大山圭子（神奈川・横浜）  
(令和5年4月現在)

# 令和6年度常任理事会

日時 令和7年3月4日(火)午後1時30分より

場所 日本武道館大会議室

定刻、事務局が開会を宣し、規約に基づき川端達夫理事長が議長を行う旨を述べ、理事長に引き継いだ。

会議に先立ち、高村正彦会長が、「常日頃から各都道府県立武道館の運営を通して、武道の振興のためにご尽力いただいている皆さまに、心から感謝申し上げます。本日の常任理事会もよろしくお願いいたします」と挨拶を述べた。

議長は、挨拶のあと、本日の定足数を事務局に確認(14名中、出席者11名、委任状提出者3名、会議は成立)し、議事録署名人として、内田賢悟(長野県)・掛田英樹(徳島県)両常任理事を指名、出席者の同意が得られた。

次に、事務局より、以下の事項について報告がなされた。

## ■報告事項

### (1)令和7年武道振興大会について

令和7年3月4日、衆議院第一議員会館1階多目的ホールにおいて、武道議員連盟・日本武道協議会・日本武道館の3者共催による武道振興大会を開催する。

### (2)武道議員連盟・スポーツ庁・日本武道館三者懇談会について

令和7年2月25日正午から、衆議院第二議員会館第2会議室において、武道議員連盟、スポーツ庁、日本武道館役員による三者懇談会を実施した。

### (3)スポーツ庁幹部・日本武道協議会役員懇談会について

令和7年2月20日、日本武道協議会常任理事会の終了後、日本武道館大会議室において、スポーツ庁幹部と日本武道協議会役員による懇談会を実施した。

### (4)令和6年度本協議会事務担当者会議について

令和7年1月27日、28日の2日間、令和6年度本協議会事務担当者会が加盟館36館40名の出席を得て実施した。当日は、3グループに分かれて分科会を行い、各加盟武道館の現場報告、課題の確認等を行った。

### (5)本協議会加盟各ブロック活動報告について

全国9ブロック代表の常任理事から、令和6年度の活動について報告がなされた。

#### ○北海道ブロック

酒井隆常任理事(北海道立総合体育センター)

酒井常任理事より、配付資料に基づき、共催事業について報告があった。地域社会武道指導者研修会は、少林寺拳法と弓道の2種目を実施。少林寺拳法は札幌市(北海道立総合体育センター)で参加者64名、弓道は北見市(北見市武道館)で参加者64名を得て実施した。地方青少年武道錬成大会は、空手道を実施。千歳市(千歳市開基記念総合武道館)で参加者54名を得て実施した。なお、銃剣道を美瑛町(国立大雪青少年交流の家)で実施予定であったが、予定していた参加者が大幅減により中止となった。いずれも素晴らしい中央講師の派遣をいただき、参加者からも好評であった旨、説明した。

#### ○東北ブロック

田中聡常任理事(岩手県営武道館)

田中常任理事より、配付資料に基づき、共催事業及び自主事業について報告があった。地域社会武道指導者研修会・地方青少年武道錬成大会は、各県においてそれぞれ開催された。各県、自主事業に積極的に取り組んでおり、武道の振興に多大な成果を上げている。岩手県では共催事業は、指導者2件、錬成大会3県の合計5事業を実施し、いずれも定員を超える申し込みがあった。また、地元講師を含め、派遣講師から指導の大切さを吸収しようとしていた、と説明した。

#### ○関東ブロック

鈴木博常任理事(シコスポーツ神奈川県立武道館)

鈴木常任理事より、配付資料に基づき共催事業及び自主事業について報告があった。関東ブロックは7都県11館で構成されている。各都県で共催事業が大変充実した内容で実施され、と説明した。

#### ○北信越ブロック

内田賢悟常任理事(長野県立武道館)

内田常任理事より、配付資料に基づき、共催事業自主事業等について報告があった。北信越ブロックは5県で構成され、地域指導者は11件、地方錬成は5件で、合計16事業を実施した。また各県で武道教室を実施しており、富山県では武道祭を実施したと報告があった。

共催事業において、各県から要望・意見が上がっているが、いずれも充実した内容で実施できたと報告があった。長野県においては、決まった種目での実施となっており、まだ活用されていない種目・団体に以下に実施してもらえるように働きかけをしている、と説明した。

#### ○東海ブロック

高田論常任理事（愛知県武道館）

高田常任理事より、配付資料に基づき、共催事業及び自主事業について報告があった。岐阜県では2件実施予定だったが、なぎなた錬成大会は台風の影響により中止となり残念でした。地域社会弓道指導者研修会では、39名の参加者を得て実施した。静岡県では、5事業を実施予定で、なぎなた指導者研修会は31名の参加を得て実施。少林寺拳法指導者研修会は台風の影響で中止。弓道指導者研修会は50名の参加を得て実施した。錬成大会では、少林寺拳法、相撲の2種目で、それぞれ59名の参加を得て実施した。愛知県では銃剣道錬成大会を19名の参加を得て実施した。また公立武道館協議会を6月に5件の議案を书面開催し、いずれも承認された。三重県では、剣道錬成大会を49名の参加を得て実施。柔道錬成大会では54名の参加を得て実施した、と説明した。

#### ○近畿ブロック

南和巳常任理事（滋賀県立体育館・武道館管理センター）

南常任理事より、配付資料に基づき、共催事業及び自主事業について報告があった。共催事業について、地域社会武道指導者研修会は、滋賀県、兵庫県、奈良県、和歌山県で少林寺拳法実施し、大阪府で弓道、和歌山県で合気道を実施し、3種目6県で530名の参加者を得た。昨年の3件開催、277名参加と比べて大幅に増加している。地方青少年武道錬成大会は兵庫県で銃剣道を開催し、11名の参加を得ている。いずれもレベルの高い派遣講師が素晴らしく、効率的で的確に指導していただけるため、参加者から好評を博しており、今後も継続をお願いしたい。

自主事業について、54件実施し、参加延べ人数22,734名であった。昨年に比べ事業数1件、参加者1689名の増加で実施された。要望・課題として、多くの施設に共通しているのが老朽化対策である。改修が進められている施設がある一方で、改修の目途が立っていない施設も見られ、運営に苦慮されている実態があると、説明した。

#### ○中国ブロック

山中洋介常任理事（鳥取県立武道館）

山中常任理事より、配付資料に基づき、共催事業及び自主事業について報告があった。共催事業について、鳥取県は地域社会3件、地方錬成3県の計6件、島根県は地域社会1件、地方錬成2件の計3件、広島県は地域社会で3件、岡山県は地域社会2件、地方錬成1件の計3件、山口県は地域社会で4件、地方錬成2件の計6件を開催している。主催事業については、各施設で武道教室や武道祭、初稽古が挙げられる。今後の展開として、各県とも共通しているのは、少子化の中でより多くの子供たちに武道への香味関心を持ってもらえるように計画を上げていくと、説明があった。

#### ○四国ブロック

掛田英樹常任理事（徳島県立中央武道館）

掛田常任理事より、配付資料に基づき、共催事業及び自主事業について報告があった。徳島県は地域社会武道指導者研修会で空手道と弓道を実施した。主催事業では徳島県立中央武道館で高齢剣道教室とリスタート弓道教室を、むつみパーク蔵本相撲場で相撲教室を実施し、沢山の方に参加いただいた。香川県は地方青少年武道錬成大会でなぎなたを実施した。地域社会武道指導者研修会では合気道と弓道を実施した。主催事業として、柔道、剣道、空手道、合気道、弓道、なぎなたの武道教室を実施し、参加者1,833名を得た。愛媛県は地方青少年武道錬成大会で柔道と銃剣道、地域社会武道指導者研修会合気道、弓道を実施した。主催事業として、鏡開き式（参加者1,600名）、武道体験フェスタ（参加者500名）、親子武道体験教室（10種目）、一般向け武道体験教室（3種目）を実施した。高知県は地域社会武道指導者研修会で弓道を実施した。主催事業として、夏休み小学生武道入門教室（4種目）を4日間開催した他、武道館の一か月体験（小学生対象）を実施した。弓道場では18歳以上の初心者および経験者の弓道教室、弓道無料体験教室（3回）、小学生を対象とした夏休み弓道無料体験教室を実施したと、説明があった。

#### (6)令和6年度中学校武道必修化関連事業について

令和6年度は、地域社会武道指導者研修会の5カ所（4県）にて、中学校武道必修化に特化した内容で実施した。

#### (7)「都道府県武道協議会」への運営及び武道祭開催助成金交付について（日本武道協議会）

日本武道協議会は、全国の各都道府県武道協議

会に対し、武道の普及振興をより徹底、推進するため、平成22年度より「都道府県武道協議会運営助成金支出規程」を定め、基準を満たした武道協議会に対し助成金を支出している。令和6年度は、秋田県、山形県、福島県、群馬県、埼玉県、東京都、神奈川県、富山県、滋賀県、山口県、愛媛県、大分県、沖縄県の13都県の武道協議会に対し、助成金を交付した。

また、令和元年度より支出規程が改定され、都道府県武道協議会が主催し、構成団体が出場する武道祭に対して助成金を支出している。令和6年度は、埼玉県、群馬県、山口県、大分県、秋田県、山形県、滋賀県、東京都、富山県の9都県にて開催された武道祭に対し、助成金を交付した。

#### (8)「都道府県公立武道館協議会」への運営助成金交付について（本協議会）

本協議会規約第4条第5項「公立武道館協議会設置促進及び運営助成金の交付」により「都道府県公立武道館協議会運営助成金支出規程」を定め、各加盟館を中心とした「都道府県公立武道館協議会」に対し、地方における武道の普及振興をより一層推進するため、助成金を交付している。令和6年度は、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、和歌山県、鳥取県、宮崎県、鹿児島県の8県の各県公立武道館協議会に対して助成金を交付した。

#### (9)第48回日本古武道演武大会について

第48回日本古武道演武大会〔主催：(公財)日本武道館・日本古武道協会、協賛：本協議会〕は全国か35流派・総勢252名の演武者が出場し、日本武道館で観客を受け入れ、約1,800名の参加を得て開催された。

大会は、吉川英夫日本武道館常任理事・事務局長の開会宣言に始まり、高村正彦同会長、川端達夫同理事長がそれぞれ主催者挨拶を述べた。

開会式終了後、古武道功労者表彰式が行われ、高村会長より岩永源三郎 心月無想柳流柔術宗家十二世、井上弘道 雲弘流剣術第十九代宗家に表彰状と古武道功労章が授与された。

演武は、小笠原流弓馬術で幕を開け、各流派が次々と気迫あふれる演武を披露した。演武納めでは陽流砲術の祝砲が鳴り響き、閉会宣言は内田康介日本古武道協会理事・事務局長が述べて、大会は成功裡に終了した。

今大会では初の試みとして、古流武術研究家の横瀬知行氏解説による出場流派の解説などを音声配信し、スマートフォンやタブレットで演武を見ながら情報を観客に提供した。

なお、演武大会当日、本協議会加盟館から久保木義明福島県武道協議会会長（福島県営あづま総合体育館）、大山圭子横浜武道館館長、西茂樹兵庫県立武道館館長、尾崎幸朗愛媛県武道館館長、の4名が来賓として出席した。

演武大会の様子は、動画サイトYouTube「【公式】公益財団法人日本武道館」チャンネルにおいてアーカイブ動画を配信し、広く古武道の魅力を伝えた。

#### (10)「地方古武道大会」への開催助成金交付について（日本古武道協会）

日本古武道協会は、令和元年度より、加盟流派が主催する地方古武道大会に対し、大会を後援するとともに、「地方古武道大会開催助成金支出規程」に基づき助成金を支出している。令和6年度は、6箇所の古武道大会に対して、助成金を交付した。

#### (11)地方青少年武道錬成大会古武道模範演武の実施について

令和5年度地方青少年武道錬成大会ならびに地域社会武6指導者研修会において、参加した青少年、武道指導者に武道の源流である古武道への理解を深めてもらうため、プログラムに模範演武披露や流派の解説・技の体験などを組み入れ、3カ所で実施したので報告する。

#### (12)会報第47号の発行について

本協議会の令和5年度の活動内容をまとめた会報第47号を発行し、令和7年2月から日本武道館ホームページに掲載した。

#### (13)月刊「武道」誌上における活動報告・事業紹介について

令和6年度に月刊「武道」誌上に掲載した「全武協のひろば」の掲載内容を紹介した。

### ■議案

#### 第1号議案 令和6年度事業報告及び収支決算見込の件

令和6年度事業報告として、①理事会の開催、②常任理事会の開催（本会）、③事務担当者会議の開催、④会報の発行、⑤月刊「武道」の配付、⑥各都道府県公立武道館協議会設置促進及び運営の協力、⑦日本武道館との共催・協賛・後援事業の計6件と、令和6年度収支決算案が承認された。

#### 第2号議案 令和7年度事業計画書案及び収支予算書案の件収支決算案の件

令和7年度事業計画として、①理事会の開催、②常任理事会の開催、③会報の作成、④月刊「武

道」の配付、⑤各都道府県公立武道館協議会設置促進及び運営の協力、⑥日本武道館との共催・協賛・後援事業の計7件と、令和7年度収支予算書案が審議・承認された。

**【全国都道府県立武道館協議会役員】**

会 長：高村正彦（日本武道館）

理事長：川端達夫（日本武道館）

常任理事：

江渡聡徳（日本武道館） 森 英介（日本武道館）

吉川英夫（日本武道館）

酒井 隆（北海道） 田中 聡（岩手）

鈴木 博（神奈川） 内田賢悟（長野）

高田 論（愛知） 南 和巳（滋賀）

山中洋介（鳥取） 掛田英樹（徳島）

河津修司（熊本）

（令和7年3月現在）



## 2 活動報告

# 協賛・後援事業等報告

## ■協賛事業

### 第48回日本古武道演武大会

日程 令和7年2月2日(日)  
場所 日本武道館  
主催 日本武道館、日本古武道協会  
後援 スポーツ庁、日本放送協会、読売新聞社  
協賛 日本武道協議会、全国都道府県立武道館協議会

第48回日本古武道演武大会は、2月2日に日本武道館にて、全国から協会加盟35流派・総勢212名の演武者が参加し、約1,800名を超える観衆が熱心に見守る中、開催された。

令和6年度古武道功労者表彰では、心月無想柳流柔術宗家十二世の岩永源三郎氏、雲弘流剣術第19代宗家の井上弘道氏が表彰された。また、演武大会の様相をYouTube(ユーチューブ)のアーカイブ動画として配信した。



第48回日本古武道演武大会 開会式

〔出場流派〕※演武順

- ①小笠原流弓馬術
- ②雲弘流剣術
- ③宝蔵院流高田派槍術
- ④竹ノ内流柔術 日下捕手開山
- ⑤野田派二天一流剣術
- ⑥貫心流居合術
- ⑦琉球古武術
- ⑧為我流派勝新流柔術
- ⑨立身流兵法
- ⑩神道夢想流杖術
- ⑪無雙直傳英信流居合術
- ⑫渋川流柔術
- ⑬初實剣理方一流剣術
- ⑭直心影流薙刀術
- ⑮鐘巻流拔刀術
- ⑯卜傳流剣術
- ⑰尾張貫流槍術

- ⑱心月無想流柔術
- ⑲鹿島新當流剣術
- ⑳関口流拔刀術
- ㉑金硬流空手・沖縄古武術
- ㉒兵法タイ捨流
- ㉓大東流合気柔術 琢磨会
- ㉔大道流薙刀術
- ㉕當田流剣術
- ㉖和道流柔術拳法
- ㉗甲源一刀流剣術
- ㉘長谷川流和術
- ㉙水鷗流居合剣法・正木流鎖鎌術
- ㉚神道無念流剣術
- ㉛柳生心眼流體術
- ㉜戸田派武甲流薙刀術
- ㉝小野派一刀流剣術
- ㉞天神真楊流柔術
- ㉟陽流砲術

## ■後援事業

### 第40回高円宮杯日本武道館書写書道大展览会

日程 令和6年8月25日(日)  
場所 日本武道館大道場  
主催 日本武道館  
後援 文部科学省、中国大使館、全国都道府県立  
武道館協議会ほか

※本協議会后援内容…名義使用、賞状・賞品の授与

出品点数 21,424点(毛筆の部14,098点、硬筆の部7,326点)

[全国都道府県立武道館協議会賞受賞者]

#### ◇毛筆の部

中村 美月(福岡・福岡市立鳥飼小学校5年)  
片寄 心詩(福島・いわき市立植田中学校1年)  
西井 結惟(岡山・県立倉敷天城中学校3年)  
佐藤 あこ(宮城・仙台育英高等学校2年)

#### ◇硬筆の部

篠原あかね(東京・品川区立浜川小学校6年)  
藤井明花莉(栃木・県立大田原女子高等学校1年)

### 第61回全日本書初め大展览会

日程・場所  
席書大会…令和7年1月5日(日)  
日本武道館大道場  
展览会……令和7年2月23日(日)  
日本武道館中道場  
授賞式……令和7年2月23日(日)  
日本武道館大道場

主催 日本武道館  
後援 文部科学省、中国大使館、東京都、全国都道府県立武道館協議会ほか

※本協議会后援内容…名義使用、賞状・賞品の授与

出品点数 13,666点(席書の部3,193点、公募の部10,473点)



第61回全日本書初め大展览会

[全国都道府県立武道館協議会賞受賞者]

#### ◇席書の部

茅野 笑彩(千葉・我孫子市立安孫子第三小学校5年)  
内藤 綸香(香川・高松市立栗林小学校6年)  
池上 莉央(香川・高松市立桜町中学校1年)  
高橋 紗菜(千葉・船橋市立高根台中学校2年)

#### ◇公募の部

金子 葵(埼玉・羽生市立三田ヶ谷小学校4年)  
小比賀俐心(香川・高松市立多肥小学校6年)  
谷口 愛奈(福島・いわき市立泉中学校1年)  
杉測 柊二(愛知・豊田市立井郷中学校3年)

### 令和7年宮城県公立武道館協議会

#### 10,000人寒げい古

日程 令和7年1月1日(月)～31日(水)  
場所 宮城県公立武道館協議会加盟館  
主催 宮城県公立武道館協議会、開催市町村教育委員会  
ほか  
後援 日本武道館、全国都道府県立武道館協議会、宮城県武道協議会  
会場 宮城県公立武道館協議会加盟館 23館

[参加人数]

全会場・全種目合計 延べ2,089人

## ■その他

### 月刊「武道」誌上での活動報告

日本武道館が発行する月刊「武道」のコーナー「全国都道府県立武道館協議会のひろば」において、本協議会の活動報告や加盟館の紹介を行った。

[令和6年度掲載内容]

令和5年  
4月号 令和5年度常任理事会  
5月号 令和5年度共催事業 実施報告  
6月号 令和5年度理事会  
7月号 鳥根県立武道館  
8月号 維新百年記念公園維新大晃アリーナ武道館  
9月号 香川県立武道館  
10月号 福岡県立スポーツ科学情報センター  
11月号 愛媛県武道館  
12月号 徳島県立中央武道館

令和6年

1月号 年頭挨拶 理事長 川端達夫

2月号 SAGA サンライズパーク SAGA プラザ

3月号 長崎県立武道館

副大臣の祝辞の後、石破茂内閣総理大臣の祝辞を、司会の吉川英夫日本武道館常任理事・事務局長が代読した。その後、各武道団体代表者が挨拶を述べ、最後に高村正大武道議員連盟事務局次長が閉会を宣し、大会は盛会裡に終了した。

### トピックス

#### 令和7年武道振興大会

定刻、高村正大武道議員連盟・事務局次長が開会を宣し、はじめに主催三団体を代表して江渡聡徳武道議員連盟会長と高村正彦日本武道協議会・日本武道館会長が挨拶を述べた。次に、河野義博武道議員連盟副会長・理事長が決議を読み上げ、武部新文部科学副大臣へ決議文を手渡した。武部



徳島県立武道館



香川県立武道館



島根県立武道館



愛媛県武道館



長崎県立武道館

### 決議

我が国は、明治維新以来、驚異的な勢いで国力を増し、世界有数の経済大国となった。しかし、昨今は国際情勢が厳しさを増し、価値観の多様化も相俟って、行動規範や善悪の基準が揺らぎ、明るい国家、社会の将来を見通すことは難しくなっている。このような中において、武技による心身の鍛錬を通じて人格を磨き、識見を高め、有為の人物を育成することを目的とする武道は、旺盛な活力と清新な気風の源泉として日本人の人格形成に少なからざる役割を果たしてきた。我が国伝統の武道の普及奨励は、精神を高揚し、質実剛健の気風を育成するばかりでなく、国家・社会の発展に寄与し、広く世界の平和と福祉に貢献する人物を生み出すために必要不可欠である。これは、教育基本法に示される「伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する」とともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養い、目的と手段を一致させることによって、我々は武道のさらなる振興発展を図られるよう、ここに左記事項の早期実現を強く要望する。

### 記

- 一 必修化された中学校武道授業に関し、学習指導要領に並列明記された武道全九種目が幅広く実施されるよう、外部指導者を活用した複数種目実施のモデル事業を全国各ブロックで継続して行うこと、そのために必要な措置を講ずること。
- 二 中学校武道授業が充実、成功するよう、施設、用具、指導者の条件整備をより一層推進すること。特に、指導者については、教員養成大学で武道を必修化し、中学校教員採用試験に武道を試験科目として位置付けるとともに、武道有段者の学生を積極採用するよう各都道府県教育委員会に働きかけを行うこと。さらに、充実した授業が実施できるよう優れた外部指導者を各中学校に配置し、処遇改善を図って、指導に万全を期すること。また、全国一万余校の中学校体育教育を対象とした武道指導者講習会を、関係武道団体の協力を得て、実施すること。授業に当たっては、時間数を増やし、複数種目の実施校拡大を図り、武道ならではの教育効果がある「礼」を重視した指導を徹底すること。これに関わる武道九種目の指導者研修会や指導法研究、指導書作成等、関係団体の諸活動に必要な支援、助成を行うこと。
- 三 将来の小学校における武道授業の実施へ向け、実践校における実践研究をより積極的に展開し、発達段階に応じた武道九種目の指導法研究を行い、準備を推進すること。
- 四 武道の国際的普及振興のため、国内外における武道の国際大会や国際交流事業をより一層推進するとともに、海外日本人学校における武道授業の内容充実に向け、必要な支援、助成を行うこと。
- 五 全国的な武道の普及振興をより確かなものとするため、全国都道府県立武道館協議会の活動に対する支援と、各都道府県武道協議会の設置促進に必要な支援を行うこと。
- 六 武道の源流である千数百年の歴史を有する古武道の保存・継承を図るため、伝統流派の活動の成果を認め、文化財保護法に、我が国が世界に誇る「古武道」の名称を明記し、全国各地の古武道の文化財指定が推進されるよう所要の措置を講ずるとともに、文化庁長官表彰の授与など必要な支援、助成を行うこと。
- 七 武道場の整備については、武道授業を含め、国の補助制度を拡充するとともに、必要な支援、助成を図ること。全国の武道館及び町道場については、維持存続のため、修繕・新築に関する助成金の支出、賃料・地代の援助、相続税・固定資産税の減免措置を講ずること。

令和七年三月五日

以上、武道議員連盟・日本武道協議会・日本武道館三者によって共催する武道振興大会の名において決議する。

### **3 地域社会武道指導者研修会・ 地方青少年武道錬成大会**

# 令和6年度地域社会武道指導者研修会 開催一覧

※講師名は順不同

No.	開催地	会場	種目	期間	参加人数	派遣講師
1	※山口県(山口市)	維新百年記念公園維新大晃アリーナ武道館	柔道	2024年5月14日(火)～5月15日(水)	16	向井幹博 興儀幸朝
2	※山口県(山口市)	維新百年記念公園維新大晃アリーナ武道館	剣道	5月14日(火)～5月15日(水)	19	山神眞一 有田祐二
3	神奈川県(横浜市)	シンコースポーツ神奈川県立武道館	なぎなた	5月18日(土)～5月19日(日)	42	高橋登子 安井みどり
4	香川県(高松市)	香川県立武道館	合気道	6月8日(土)～6月9日(日)	58	栗林孝典 梅津 翔
5	宮城県(仙台市)	宮城県第二総合運動場	合気道	6月15日(土)～6月16日(日)	105	入江嘉信 有馬隼人
6	静岡県(藤枝市)	静岡県武道館	なぎなた	6月29日(土)～6月30日(日)	31	中村ゆり子 増田桂子
7	熊本県(八代市)	熊本武道館	弓道	6月29日(土)～6月30日(日)	35	窪田史郎 鈴木克己
8	滋賀県(大津市)	滋賀県立体育館・武道館管理センター	少林寺拳法	8月17日(土)～8月18日(日)	69	秋吉好美 村田素彦
9	岩手県(盛岡市)	岩手県営武道館	弓道	8月24日(土)～8月25日(日)	30	久田博康 齋藤往子
10	福岡県(福岡市)	福岡県立スポーツ科学情報センター	弓道	8月24日(土)～8月25日(日)	50	鈴木康弘 木塚鉄也
11	岩手県(盛岡市)	岩手県営武道館	合気道	8月31日(土)～9月1日(日)	46	櫻井寛幸 里館 潤
12	宮城県(宮崎市)	ひなた武道館(宮崎県武道館)	少林寺拳法	9月28日(土)～9月29日(日)	30	安田智幸 谷 聡士
13	青森県(弘前市)	青森県武道館	空手道	9月7日(土)～9月8日(日)	26	佐伯 進 渡邊純一
14	山梨県(甲府市)	山梨県小瀬スポーツ公園武道館	少林寺拳法	9月7日(土)～9月8日(日)	71	渡部晶彦 高坂正治
15	鹿児島県(鹿児島市)	鹿児島県総合体育センター	少林寺拳法	9月7日(土)～9月8日(日)	39	土佐 久 益永 亮
16	長野県(飯田市)	長野県立武道館	弓道	9月14日(土)～9月15日(日)	38	及川好布 出越雅子
17	大分県(大分市)	レゾナック武道スポーツセンター	少林寺拳法	9月14日(土)～9月15日(日)	34	坂爪一也 夏川伸也
18	新潟県(上越市)	謙信公武道館(新潟県立武道館)	少林寺拳法	9月21日(土)～9月22日(日)	34	井上 弘 三井純一
19	奈良県(橿原市)	奈良県立橿原公園	少林寺拳法	9月21日(土)～9月22日(日)	124	新井庸弘 斉藤政実 大内信弥
20	和歌山県(和歌山市)	和歌山県立武道館	合気道	9月21日(土)～9月22日(日)	68	森 智洋 藤田すみれ 園部 豊
21	広島県(広島市)	広島県立総合体育館	合気道	9月21日(土)～9月22日(日)	140	藤巻 宏 梅津 翔
22	※福島県(福島市)	福島県営あづま総合体育館	少林寺拳法	9月28日(土)～9月29日(日)	15	小井寿史 村瀬晃啓
23	岐阜県(岐阜市)	岐阜メモリアルセンター	弓道	9月28日(土)～9月29日(日)	39	窪田史郎 米山良美
24	島根県(松江市)	島根県立武道館	弓道	9月28日(土)～9月29日(日)	31	鈴木康弘 宇都宮益則
25	岡山県(玉野市)	岡山武道館	弓道	9月28日(土)～9月29日(日)	32	及川好布 出越雅子
26	長崎県(佐世保市)	長崎県立武道館	少林寺拳法	9月28日(土)～9月29日(日)	34	荒井章士 富田祐子
27	山梨県(甲府市)	山梨県小瀬スポーツ公園武道館	弓道	10月5日(土)～10月6日(日)	42	及川好布 伊藤紀美子
28	広島県(広島市)	広島県立総合体育館	少林寺拳法	10月5日(土)～10月6日(日)	54	迎田展孝 夏川伸也
29	栃木県(宇都宮市)	栃木県総合運動公園武道館(ユウケイ武道館)	少林寺拳法	10月12日(土)～10月13日(日)	24	梅野清嗣 岩城潤也
30	石川県(金沢市)	石川県立武道館	弓道	10月12日(土)～10月13日(日)	43	久田博康 伊藤紀美子
31	和歌山県(和歌山市)	和歌山県立武道館	少林寺拳法	10月12日(土)～10月13日(日)	54	中森清徳 谷 聡士
32	群馬県(渋川市)	群馬県総合スポーツセンター ALSOK ぐま武道館	少林寺拳法	10月19日(土)～10月20日(日)	56	松本好史 富田雅志
33	※富山県(富山市)	県営富山武道館	合気道	10月19日(土)～10月20日(日)	50	金沢 威 中村仁美
34	石川県(金沢市)	石川県立武道館	少林寺拳法	10月19日(土)～10月20日(日)	49	坂下 充 村瀬晃啓
35	福井県(福井市)	福井県立武道館	剣道	10月19日(土)～10月20日(日)	35	松下吉進 岩佐英範
36	静岡県(藤枝市)	静岡県武道館	弓道	10月19日(土)～10月20日(日)	50	鈴木康弘 齋藤往子
37	大阪府(大阪市)	大阪市立修道館	弓道	10月19日(土)～10月20日(日)	47	信國幸人 澁谷佳史
38	宮城県(仙台市)	宮城県第二総合運動場	なぎなた	10月26日(土)～10月27日(日)	20	大野京子 高橋登子
39	長野県(佐久市)	長野県立武道館	少林寺拳法	10月26日(土)～10月27日(日)	47	新井庸弘 宮本 勉
40	香川県(高松市)	香川県立武道館	弓道	10月26日(土)～10月27日(日)	22	窪田史郎 安倍 智
41	愛媛県(松山市)	(公財)愛媛県スポーツ振興財団 愛媛県武道館	合気道	10月26日(土)～10月27日(日)	161	桂田英路 徳田 真
42	北海道(札幌市)	北海道立総合体育センター	少林寺拳法	11月9日(土)～11月10日(日)	64	益永 亮 福家健司
43	宮城県(仙台市)	宮城県第二総合運動場	弓道	11月9日(土)～11月10日(日)	30	鈴木康弘 福地 平
44	兵庫県(姫路市)	兵庫県立武道館	少林寺拳法	11月9日(土)～11月10日(日)	58	渡辺待男 高坂正治

No.	開催地	会場	種目	期間	参加人数	派遣講師
45	宮城県(仙台市)	宮城県第二総合運動場	剣道	11月16日(土)～11月17日(日)	60	石井 猛 田中宏明
46	福島県(いわき市)	福島県営あづま総合体育館	弓道	11月16日(土)～11月17日(日)	35	信國幸人 宇都宮益則
47	栃木県(宇都宮市)	栃木県総合運動公園武道館(ユウケイ武道館)	合気道	11月16日(土)～11月17日(日)	55	関 昭二 青木 巧
48	新潟県(上越市)	謙信公武道館(新潟県立武道館)	銃剣道	11月16日(土)～11月17日(日)	23	佐藤 亨 近藤英治
49	青森県(弘前市)	青森県武道館	なぎなた	11月23日(土)～11月24日(日)	30	吉井美恵子 渡辺明美
50	栃木県(宇都宮市)	栃木県総合運動公園武道館(ユウケイ武道館)	弓道	11月23日(土)～11月24日(日)	36	久田博康 小西秀人
51	鳥取県(米子市)	鳥取県立武道館	弓道	11月23日(土)～11月24日(日)	23	信國幸人 木塚鉄也
52	愛媛県(松山市)	(公財)愛媛県スポーツ振興財団 愛媛県武道館	弓道	11月23日(土)～11月24日(日)	24	及川好布 福地 平
53	岡山県(岡山市)	岡山武道館	柔道	11月30日(土)～12月1日(日)	60	大鳥修次 鮫島康太
54	大分県(大分市)	レゾナック武道スポーツセンター	弓道	11月30日(土)～12月1日(日)	38	鈴木康弘 鈴木克己
55	福島県(福島市)	福島県営あづま総合体育館	銃剣道	12月5日(土)～12月6日(日)	51	中島克直 坂元 誠
56	新潟県(上越市)	謙信公武道館(新潟県立武道館)	剣道	12月7日(土)～12月8日(日)	31	吉田泰将 岩脇 司
57	鳥取県(米子市)	鳥取県立武道館	剣道	12月7日(土)～12月8日(日)	75	松田勇人 浦 和人
58	鳥取県(米子市)	鳥取県立武道館	銃剣道	12月7日(土)～12月8日(日)	34	浦部聖二 好中大哲
59	高知県(高知市)	高知県立武道館	弓道	12月7日(土)～12月8日(日)	26	鈴木康弘 齋藤往子
60	東京都(足立区)	東京武道館	合気道	12月21日(土)～12月22日(日)	84	大澤勇人 村田憲一郎
61	宮城県(宮崎市)	ひなた武道館(宮崎県武道館)	空手道	12月21日(土)～12月22日(日)	38	相原智之 加藤英夫
62	広島県(広島市)	広島県立総合体育館	空手道	2025年1月11日(土)～1月12日(日)	79	佐伯 進 渡邊純一
63	徳島県(徳島市)	徳島県立中央武道館	空手道	1月12日(日)～1月13日(月)	28	信川邦明 金澤 実
64	徳島県(徳島市)	徳島県立中央武道館	弓道	1月18日(土)～1月19日(日)	27	及川好布 宇都宮益則
65	福岡県(福岡市)	福岡県立スポーツ科学情報センター	少林寺拳法	1月18日(土)～1月19日(日)	155	湯浅裕二 宇都宮俊二 上杉嘉紀
66	北海道(北見市)	北海道立総合体育センター	弓道	1月25日(土)～1月26日(日)	64	窪田史郎
67	宮城県(仙台市)	宮城県第二総合運動場	少林寺拳法	1月25日(土)～1月26日(日)	41	飯野貴嗣 村瀬晃啓
68	東京都(足立区)	東京武道館	少林寺拳法	2月1日(土)～2月2日(日)	34	林 正義 森川和仁
69	福井県(福井市)	福井県立武道館	空手道	2月1日(土)～2月2日(日)	51	香川政夫 山口貴史
70	大分県(大分市)	クラサス武道スポーツセンター	空手道	2月1日(土)～2月2日(日)	137	信川義明 江尻昌弘
71	※茨城県(水戸市)	東日本技術研究所武道館	なぎなた	2024年2月8日(木)～2月9日(金)	30	今浦千信 松井亮子
72	群馬県(太田市)	群馬県総合スポーツセンター ALSOK ぐんま武道館	なぎなた	2025年2月15日(土)～2月16日(日)	12	小野恭子 安井みどり
73	兵庫県(姫路市)	兵庫県立武道館	合気道	2月15日(土)～2月16日(日)	96	横田愛明 小林 建 大頭一仁
74	秋田県(秋田市)	秋田県立武道館	弓道	2月22日(土)～2月23日(日)	29	窪田史郎 福地 平
75	山口県(山口市)	維新百年記念公園維新大晃アリーナ武道館	なぎなた	2月22日(土)～2月23日(日)	21	紫岡謙子 田中千景
合計					3,689	

※中学校武道授業対応

※<sup>1</sup> 5カ所(4県)にて、中学校武道必修化特化型研修会を実施。

※<sup>2</sup> 年度当初計画より2ヶ所中止。

※<sup>3</sup> 2カ所にて、古武道模範演武を実施。

# 令和6年度地方青少年武道錬成大会 開催一覧

※講師名は順不同

No.	開催地	会場	種目	期間	参加人数	派遣講師
1	群馬県(前橋市)	群馬県総合スポーツセンター ALSOK ぐんま武道館	なぎなた	2024年5月3日(金)～ 5月4日(土)	15	芦川寿美 佐藤あき子
2	沖縄県(那覇市)	沖縄県立武道館	柔道	5月18日(土)～ 5月19日(日)	158	小池雅彦 齋藤制剛 杉本有里
3	鹿児島県(霧島市)	鹿児島県総合体育センター	剣道	6月1日(土)～ 6月2日(日)	30	岩切公治 寺地四幸
4	神奈川県(横浜市)	シンコースポーツ神奈川県立武道館	銃剣道	6月8日(土)～ 6月9日(日)	92	小川 功 長谷川英昭
5	福岡県(福岡市)	福岡県立スポーツ科学情報センター	銃剣道	6月8日(土)～ 6月9日(日)	30	松本栄一郎 渋谷一幸
6	岩手県(盛岡市)	岩手県営武道館	なぎなた	6月15日(土)～ 6月16日(日)	43	葉山奈緒美 徳地昌代
7	鳥取県(鳥取市)	鳥取県立武道館	相撲	6月22日(土)～ 6月23日(日)	56	平野照二 成松由紀夫
8	青森県(弘前市)	青森県武道館	銃剣道	6月29日(土)～ 6月30日(日)	31	佐藤 亨 山口あや子
9	茨城県(水戸市)	東日本技術研究所武道館	なぎなた	6月29日(土)～ 6月30日(日)	45	成田登代子 佐藤聖子
10	宮城県(仙台市)	宮城県第二総合運動場	なぎなた	7月6日(土)～ 7月7日(日)	22	廣瀬幸子 松井亮子
11	長野県(佐久市)	長野県立武道館	なぎなた	7月6日(土)～ 7月7日(日)	18	増田桂子 安田淳子
12	三重県(津市)	三重武道館	剣道	7月6日(土)～ 7月7日(日)	49	大河内鉄彦 田中久夫
13	鹿児島県(南九州市)	鹿児島県総合体育センター	なぎなた	7月6日(土)～ 7月7日(日)	30	角 薫 安井みどり
14	山形県(山形市)	山形県武道館	なぎなた	7月13日(土)～ 7月14日(日)	115	笠原松美 芦川寿美
15	福島県(会津若松市)	福島県営あづま総合体育館	なぎなた	7月13日(土)～ 7月14日(日)	91	小野恭子 島崎智絵
16	岩手県(花巻市)	岩手県営武道館	弓道	7月20日(土)～ 7月21日(日)	41	齋藤往子 吉田佳史
17	神奈川県(横浜市)	シンコースポーツ神奈川県立武道館	なぎなた	7月20日(土)～ 7月21日(日)	84	谷本良子 芦川寿美
18	福井県(福井市)	福井県立武道館	弓道	7月20日(土)～ 7月21日(日)	34	出越雅子 大隅雅成
19	鳥取県(米子市)	鳥取県立武道館	銃剣道	7月20日(土)～ 7月21日(日)	29	井澤維男 山崎恵介
20	石川県(金沢市)	石川県立武道館	柔道	7月23日(火)～ 7月25日(木)	150	鎌塚智樹 渡邊一貴 佐藤正大
21	石川県(金沢市)	石川県立武道館	剣道	7月23日(火)～ 7月25日(木)	49	東 良美 吉田一秀
22	愛媛県(松山市)	(公財)愛媛県スポーツ振興財団 愛媛県武道館	柔道	7月26日(金)～ 7月27日(土)	152	小林幹佳 竹澤稔裕 平井辰徳
23	石川県(金沢市)	石川県立武道館	なぎなた	8月6日(火)～ 8月8日(木)	21	成田登代子 安井みどり
24	東京都(足立区)	東京武道館	なぎなた	7月31日(水)～ 8月1日(木)	231	成田登代子 笠原松美 今浦千信
25	宮崎県(宮崎市)	ひなた武道館(宮崎県武道館)	弓道	8月3日(土)～ 8月4日(日)	97	澁谷佳史 原田友康
26	島根県(松江市)	島根県立武道館	弓道	8月10日(土)～ 8月11日(日)	41	安倍 智 大隅雅成
27	千葉県(千葉市)	千葉県総合スポーツセンター 武道館	なぎなた	8月17日(土)～ 8月18日(日)	56	泉水孝子 鈴木 亘
28	静岡県(藤枝市)	静岡県武道館	剣道	8月17日(土)～ 8月18日(日)	251	恩田浩司 織口剛次
29	愛知県(春日井市)	愛知県武道館	銃剣道	8月17日(土)～ 8月18日(日)	19	矢野 満 坂本 誠
30	茨城県(水戸市)	東日本技術研究所武道館	柔道	8月22日(木)～ 8月23日(金)	125	川北大祐 内門卓也
31	山口県(山口市)	維新百年記念公園維新大晃アリーナ武道館	剣道	8月22日(木)～ 8月23日(金)	33	数馬広二 竹中健太郎
32	山口県(山口市)	維新百年記念公園維新大晃アリーナ武道館	弓道	8月22日(木)～ 8月23日(金)	97	野中秀治 吉田佳史
33	千葉県(千葉市)	千葉県総合スポーツセンター 武道館	合気道	8月24日(土)～ 8月25日(日)	27	梅津 翔 深浦徹也
34	北海道(千歳市)	北海道立総合体育センター	空手道	8月31日(土)～ 9月1日(日)	54	岡本沙織 船橋綾夏 大場瞬一
35	沖縄県(那覇市)	沖縄県立武道館	剣道	9月7日(土)～ 9月8日(日)	289	濱崎 満 石田洋二 平尾 泰
36	秋田県(秋田市)	秋田県立武道館	剣道	9月21日(土)～ 9月22日(日)	172	井島 章 栄花英幸 染谷恒治
37	鳥取県(米子市)	鳥取県立武道館	柔道	9月28日(土)～ 9月29日(日)	161	中井貴裕 横田雄斗 江種辰明
38	※香川県(高松市)	香川県立武道館	なぎなた	9月28日(土)～ 9月29日(日)	32	笠原松美 濱岡紀久子
39	兵庫県(姫路市)	兵庫県立武道館	銃剣道	11月3日(日)～ 11月4日(月)	11	浦部聖二 衛藤敬輔
40	福井県(福井市)	福井県立武道館	相撲	11月9日(土)～ 11月10日(日)	31	村上英昭 山中未久
41	三重県(津市)	三重武道館	柔道	11月9日(土)～ 11月10日(日)	54	磯崎祐子 川瀬孝司
42	青森県(弘前市)	青森県武道館	相撲	11月16日(土)～ 11月17日(日)	35	舛田 守 對馬英人
43	鹿児島県(肝付町)	鹿児島県総合体育センター	柔道	11月16日(土)～ 11月17日(日)	62	川原久乃 松本勇治
44	岩手県(花巻市)	岩手県営武道館	柔道	11月30日(土)～ 12月1日(日)	129	真喜志慶治 小林幹佳

No.	開催地	会場	種目	期間	参加人数	派遣講師
45	秋田県(秋田市)	秋田県立武道館	柔道	12月14日(土)～12月15日(日)	135	向井幹博 江種辰明 増田沙由美
46	青森県(弘前市)	青森県武道館	剣道	2025年1月18日(土)～1月19日(日)	84	古川和男 下川祐造
47	栃木県(宇都宮市)	栃木県総合運動公園武道館(ユウケイ武道館)	なぎなた	1月25日(土)～1月26日(日)	37	増田桂子 吉井和代
48	鳥根県(松江市)	鳥根県立武道館	なぎなた	1月25日(土)～1月26日(日)	24	福岡知子 安田淳子
49	福岡県(福岡市)	福岡県立スポーツ科学情報センター	なぎなた	1月25日(土)～1月26日(日)	98	大野京子 高橋登子
50	沖縄県(那覇市)	沖縄県立武道館	なぎなた	1月25日(土)～1月26日(日)	46	廣瀬幸子 佐藤あき子
51	静岡県(藤枝市)	静岡県武道館	少林寺拳法	2月8日(土)～2月9日(日)	52	中島正樹 本間慎太郎
52	静岡県(藤枝市)	静岡県武道館	相撲	2月15日(土)～2月16日(日)	52	横山 薫 本田貴紀
合計					3,920	

※古武道模範演武を実施

※<sup>1</sup> 年度当初計画より、4カ所が中止。

※<sup>2</sup> 1カ所にて、古武道模範演武を実施。

# 中学校武道必修化「特化型」 地域社会武道指導者研修会実施内容報告

No	種目	開催地	会場	期間	派遣講師	参加者
1	柔道	※山口県(山口市)	維新百年記念公園維新大晃アリーナ武道館	2024年5月14日～5月15日	向井幹博 與儀幸朝	16
2	剣道	※山口県(山口市)	維新百年記念公園維新大晃アリーナ武道館	5月14日～5月15日	山神眞一 有田祐二	19
23	少林寺拳法	※福島県(福島市)	NCVふくしまアリーナ	9月28日～9月29日	小井寿史 村瀬晃啓	15
35	合気道	※富山県(富山市)	県営富山武道館	10月19日～10月20日	金澤 威 中村仁美	50
73	なぎなた	※茨城県(水戸市)	東日本技術研究所武道館	2025年2月8日～2月9日	今浦千信 松井亮子	30



福島県 少林寺拳法



富山県 合気道



茨城県 なぎなた講義



茨城県 なぎなた

令和6年度山口県（山口市）地域社会武道（柔道・剣道）指導者研修会  
〔中学校武道授業特化型〕

開催期間：令和6年5月14日（火）～15日（水）

会場：【柔道】維新百年記念公園維新大晃アリーナ 武道館

【剣道】維新百年記念公園維新大晃アリーナ レクチャールーム

派遣講師：【柔道】向井幹博 七段（全日本柔道連盟教育普及・MIND委員会 委員）

與儀幸朝 六段（全日本柔道連盟指導者養成委員会 副委員長）

【剣道】山神眞一 範士八段（香川県剣道連盟 副会長）

有田祐二 教士七段（全日本剣道連盟試合審判委員会 委員兼幹事）

参加者：【柔道】16名（中学14名、高校2名）

【剣道】19名（中学1名、支援1名、高校3名、一般14名）

中学校保健体育科における武道必修化の円滑な推進と高等学校保健体育科における武道指導の充実を図るため、武道の安全かつ効果的な指導が展開できるよう指導者の資質と向上を目指す。

### 【柔道】

#### ■初日（5月14日）

午前中は與儀講師によるパワーポイントを使った講義を行った。同講師は、中学校で武道が必修化されたのが2012年度で、今年度で12年になり、10年以上が経過した中で怪我や事故は他の種目と比べて柔道が高いことや、小・中学生の体力の向上・低下について述べた。

午後は、実技を行った。柔道の動きを取り入れながらゲーム性を持たせた準備運動を行うと生徒も受け入れやすいとの説明があった。受け身の練習は二人一組になり、協力しながら、またはゲーム性を持たせて行われた。



二人一組で行われた受け身の練習

#### ■2日目（5月15日）

初日の復習の後、固め技を実施。学習指導要領に掲載されている袈裟固、横四方固、上四方固の説明と実技を行った。二人一組になり、技のかけ方を説明し、逃れ方をお互いに考えながら実施した。

次に投技を行った。学習指導要領に掲載されている大外刈り、大内刈り、小内刈りの説明をして、怪我無く安全に行うための指導を行った。午後は、パワーポイントを使った講義が行われ、受け身の指導をする中で、学校にある道具（ポールやフラフープ等）を使用する例が紹介された。

最後に安全に授業が行われるようにポイント指導を行い、2日間の研修が終了した。

（文責：清宮正喜）



座った状態からの投技の練習

## 【剣道】

### ■初日（5月14日）

はじめに山神講師が『武道指導者の在り方』についての講義を行った。「指導者は生徒と切磋琢磨しながら指導すること。指導はドッジボールではなく、双方向のキャッチボールを心がけること」と述べ、一方通行の指導ではなく、生徒と共に成長し合うことの重要性を述べた。また、「剣道（の特性）について説明する際は、なるべく専門用語を用いないようにし、難しいことを優しく、優しいことを深く、深いことを面白く説明することを心がけること」と述べ、生徒にとってわかりやすい指導を心掛けることが重要であるとした。その後、四人一組のグループで講義内容についての意見交換を行い、代表者がその内容を発表した。午前の最後に山神講師が『中学校剣道授業における安全指導』についての講義を行った。竹刀のささくれや破損による事故を防ぐため、事前の竹刀点検の重要性を強調した。

午後は、山神講師が剣道の歴史と特性を説明した後、有田講師が『剣道授業における楽しい動機付け』として、剣道動作を取り入れたゲームを行った。「じゃんけんを用いた手のひらによる攻防と足の裏による攻防」「剣道じゃんけん」「手拭いゲーム」「新聞切り」「新聞紙玉打ち」等、楽しみながら剣道の特性を学んだ。次に『剣道に必要な動きづくり』として、まずは何も持たずに、つづいて木刀を用いて「足さばき、打突の踏み込み、発声、残心」を行った。その後二人一組となり、気剣体一致の打突を心掛けて、相手が持つ竹刀に対しての「面打ち」「小手打ち」「胴打ち」を行った。山神講師からは「力を入れず、竹刀を落とす感覚で行うように」との指導があった。



新聞切り

休憩後、垂、胴、面の付け方について有田講師より説明があった。「紐を後ろで結ぶのは難しいので、授業では前で結んでもよい」との説明があった。着装後、二人一組となり、実際に面打ち、小手打ち、胴打ち、面抜き胴を行った。最後に座り方、立ち方、座礼の方法について山神講師が説明し、初日の研修は終了した。

### ■2日目（5月15日）

有田講師による『攻防交代型の試合』を行った。四人一組となり、二人が審判をし、二人が試合をした。攻撃側と防御側を決めた上で、攻撃回数は三回までとし、打突部位を限定して行った。攻撃側が有効打突を決めた場合は1点、防御側が決めた場合は2点とし、合計点数が多い方を勝者とした。つづいて『簡易な試合』として「技の出来栄えの判定試合」を行った。五人一組をつくって三人が審判となり、試合者二人の打突の「気」「剣」「体」について判定した。

休憩後、山神講師による『約束練習』を行った。はじめに「鑢ぜり合い→引き胴→面抜き胴→残心」を、つづいて「面→鑢ぜり合い→引き胴→面抜き胴→残心抜き」を行った。山神講師は「ここでは『間の取り方』を学ぶことができる」とした上で、「一番大事なのは楽しくやること」と述べた。

午後は、生徒役と教師役に分かれ、10分間の模擬授業を行なった。終了後は反省点について話し合い、より効果の上がる授業方法について検討した。最後に参加者全員が一人ずつ二日間の感想を述べた後、両講師が講評を述べ、研修会は終了した。（文責：末吉潤）



面打ちの示範をする山神講師

### 【受講生の感想】

#### ○柔道（中学校体育教師・男性・初心者）

専門は剣道ですが、今年赴任した学校で1～3年生の柔道の授業を受け持つことになり、参加しました。二日間と短い期間でしたが、初心者の私にも楽しくわかりやすく教えていただき感謝しています。ここで学んだことを授業でいかせるよう頑張りたいと思います。

#### ○剣道（中学校体育教師・男性・初心者）

昨年より剣道の授業を行っており、より深い理解を求めて参加しました。昨年は外部指導者の方と一緒に授業を行いました。専門は柔道ですが、剣道の授業方法についてわかりやすく説明していただき、とても充実した時間となりました。また、参加したいと思います。

## 令和6年度福島県（福島市）地域社会少林寺拳法指導者研修会

開催期間：令和6年9月28日（土）～29日（日）

会 場：NCV ふくしまアリーナ

派遣講師：小井<sup>おい</sup>寿史 大拳士五段、村瀬<sup>むらせ</sup>晃啓 准範士七段

地元講師：小松照義 大拳士五段、佐藤寿行 正拳士四段

参加者：15名



NCV ふくしまアリーナ

中学校武道授業における正課授業固有の知識・技術・指導法の充実を図り、授業を行うのに必要なスキルを習得するとともに、中学校武道授業を実施できる少林寺拳法指導者の養成ならびに指導者の資質向上に資することを目的として開催。

### ■初日（9月28日）

鎮魂行、オリエンテーション後、小井講師による講義「令和の学校教育が目指すもの」が行われた。ここでは第4期教育振興基本計画、令和の日本型学校教育の構築、少林寺拳法の目的などについて説明がなされた。小井講師は『令和の日本型学校教育』『第4期教育振興基本計画』の中に、少林寺拳法の教え、考え方と共通するものが数多くある。少林寺拳法は『人』を大事にしており、『社会に役立つ人づくり、人づくりによる国づくり』を目指している」と述べた。

休憩後、小井講師による「指導者の資質・能力の向上について」の講義が行われた。小井講師は「少林寺拳法を教えるのではなく、少林寺拳法で何を教えていくかが重要」と述べ、少林寺拳法を通じて心や体を磨くことの必要性を説いた。また、教育基本法を説明しながら非認知能力（意欲、自信、自己調整力等、数値として想定できない能力）をいかにして高めていくかについて、参加者に問いかけながらその重要性を説いた。



講義をする小井講師



両講師による鉤手守法の示範

昼食後、村瀬講師による実技指導がなされた。はじめに実技Ⅰ「少林寺拳法のエッセンス」を行った。礼法、呼吸法から始まり、基本の構え、突き、蹴り、受けの練習をした。村瀬講師からは「動作に気持ちを乗せ、体の中心を意識することで崩れにくくなる」とのアドバイスがあった。続いて実技Ⅱ「教材研究」では、二人一組（相対）となり天地拳第一系を互いに呼吸を合わせながら行った。また、鉤手守法、片手寄抜、合掌抜を行った。実技Ⅲでは2班に分かれ、団体での演武を行った。まず班ごとに役割（リーダー、声出し等）を決めて20分間練習し、その後、演武を披露した。両班とも気持ちを一つにして、素晴らしい演武発表ができた。



合掌礼



基本の構え（開足中段）



班ごとに団体演武を披露

## ■ 2日目（9月29日）

鎮魂行の後、小井講師による講義・実技「グループワーク」を行った。はじめに中学校の授業を想定した模擬授業を実施するための授業準備について説明がなされた。技のポイント（評価ポイント）を3～5点程度決め、役割分担（教師役、生徒役、ポイント説明係）をし、4班に分かれて班ごとに練習した。小井講師からは「今回はそれぞれの班で設定した技能ポイント3～5点について評価する。生徒にも技の評価ポイントをしっかり説明する。ゴールを設定し、生徒と共有することで、互いに目的を持って授業に臨むことができる」との説明があった。



班ごとに模擬授業の準備

休憩後、班ごとに模擬授業を行った。小井講師からは「中学生が少林寺拳法の技を初めてやることを想定した授業を心がけるように」とのアドバイスがあった。授業終了後には、技の振り返りや具体的な指導の仕方について質問や意見を出し合い、より良い授業方法について模索した。



模擬授業の様子①



模擬授業の様子②

昼食後、村瀬講師による実技Ⅳ「少林寺拳法のエッセンスがいきる授業」が行われた。まず、膝の使い方を意識しての突き方や立ち方、つづいて天地拳第一系、逆小手、送小手の練習をした。その後、小井講師が本研修会全体の振り返りを行い、参加者からの質問に応じた。

閉会式では、久保木義明福島県武道協議会会長が挨拶、小井講師、安田講師がそれぞれ講評を述べ、全日程が終了した。



天地拳第一系を指導する村瀬講師（右）

## 令和6年度富山県（富山市）地域社会合気道指導者研修会

開催期間：令和6年10月19日（土）～20日（日）

会場：県営富山武道館

派遣講師：金澤 威 七段、中村仁美 四段

地元講師：島 恵司 七段、上島政則 六段

参加者：35名



県営富山武道館

中学校保健体育科授業における合気道の外部指導者および補助者に必要な技術ならびに指導力の向上を図る。

はじめに金澤講師が「道場での指導と授業での指導は異なるということをご認識してください。合気道を通じて子どもの成長をどのようにサポートしていくかが大事になってきます。今後、授業を行う際に、今回の研修で学んだことを活かして授業を行えるようにしていただきたい」と述べ、授業で指導するにあたっての心構えを説いた。準備運動後、研修1『礼法～初めての合気道（合気道を楽しく）～礼』として、初めて合気道を学ぶ生徒を想定した指導が行われた。金澤威講師は他武道と合気道の違いについて、試合がないことの利点、受身を取る際にどのような意識で行うかなど、参加者に問いかけ、考えさせながら進めた。礼法については「まずは姿勢を正して相手に敬意を示すこと。また、相手を尊重することを伝えていただきたい」と説明した。



授業指導への心構えを説く金澤講師（中央）

つづいて、受身の取り方、角落しについて順序立てた指導方法を教示した。金澤講師は「運動が苦手な子どもでも達成感、満足感を感じさせるようにすることが大事。それと同時にできる子はすぐにできてしま



示範しながら指導する金澤講師（左端）

まうので飽きさせないように工夫すること」と述べ、生徒への気遣いの重要性を説いた。最後に金澤講師は自身の失敗談を交えながら「授業後には合気道をやった楽しかったと感じてもらえるようになれば良いと思います」とした。

研修2『中学校での体験授業を振り返って（計画の立て方 PDCA）』では、地元講師の島恵司講師（富山県合気道連盟理事長）が自身の中学校での指導体験を踏まえながら授業の進め方を示した。島講師は「前後左右の人同士がぶつからないように注意する。特に頭をぶつけないようにする」などの注意点や「投げる時は『1・2の3』で投げる」「休憩前に子どもたちが興味を持つような技をやってみる」など自身が授業を進める上で工夫した点について説明した。



体さばきを示範する島講師（左端）



二人一組となって受身の練習

研修3『中学校の部活や地域社会での合気道（指導法）』は、地元講師の上島政則講師（富山県合気道連盟理事）が指導。呼吸法、入身投げ、一教、二教、回転投げなど技術的指導を行った。上島講師からは技ごとにポイントの説明がなされた。参加者は汗だくになりながら熱心に一つひとつの技に取り組んだ。



小手返しを示範する金澤講師（左）

研修4『総合練習』では金澤講師と中村仁美講師が指導した。まず角落しを復習し、その後、金澤講師の指導で小手返しを号令に沿って行った。つづいて中村講師が四方投げの指導を行った。これも1挙動ずつ号令に沿いながら、ゆっくりと確実に行った。金澤講師からは「教える側がすべて答えを教えるのではなく、子どもたちに考えさせることが大事」との説明があった。その後、金澤講師が注意点を説明しながら角落し、小手返し、四方投げ、呼吸法の四つの技を号令に沿って行った。最後に金澤講師から「最初の礼はお願いします、終わりの礼はありがとうございましたの気持ちを持つことを忘れずに」との説明があった。



四方投げを示範する中村講師（左）

## 令和6年度茨城県（水戸市）地域社会なぎなた指導者研修会

開催期間：令和7年2月8日（土）～9日（日）

会場：東日本技術研究所武道館  
（堀原運動公園内）

派遣講師：今浦 千信 教士、松井亮子 教士

地元講師：加賀己智世 教士、稲田文子 錬士

参加者：35名



東日本技術研究所武道館



横綱常陸山の銅像

中学校・高等学校保健体育科教諭及びなぎなた授業協力者、並びに地域におけるなぎなた指導者を対象に、初心者なぎなた指導に関わる授業力向上及び専門的知識と技術の習得を図り、地域社会におけるなぎなたの普及と指導者の資質向上に資する。

開会式後、今浦千信講師が『中学校武道必修化に伴うなぎなた授業の推進』と題し、講話を行った。中学校におけるなぎなた授業の実施状況や実施校増加への対策などの概要について説明した。今浦講師はなぎなたの特性について「相手との距離があるので接触せずにできる。そして左右対称の動き（シンメトリー）で多彩な技ができるようになる」とした上で、教育上の利点について「長ものを扱うので距離感の把握ができ、安全意識を養うことができる。また、男女共習が可能であり、比較的簡単に取り組める（運動着でできる、通常の体育館でできる）」等を挙げた。参加者から「しかけ応じの楽しさはどうのように教えればよいのか」との質問に対し、「“しかけ応じ大会”のような発表会をすると攻防の楽しさを味わうことができる」と述べた。



授業指導への心構えを説く今浦講師

続いて大道場に移り、実技を行った。はじめに今浦講師からなぎなたの取り扱い方について説明があった。「竹の部分はささくれがあるので絶対に触らない。テープより下の部分を持つように伝えること」と安全管理上の注意点が述べられた。その後、コーンを使って足さばきの練習、相対でしかけ応じの練習を行った。今浦講師は授業実施上のポイントについて、「最初から生徒に答えを教えるのではなく、生徒から答えを引き出すように問いかけることが大事」とし、生徒自身に考えさせることを強調した。また、「武道は相手を敬うことが大切。試合では勝っても負けても相手に礼を尽くすように」と礼節の重要性を説いた。そして「生徒と信頼関係を築き、しっかりと会話のキャッチボールをすることが重要」と述べた。



コーンを使って足さばきの練習

昼食後、二班に分かれて試合形式で打ち返し選手権を行った。選手の他に呼出係、招集係、記録係、審判係の担当を決め、試合運営についても皆で協力して行った。評価の方法は、①構え（自然体、中段、八相）、②打突の高さ（メン、スネ）、③声（大きな声で）の3点とした。

続いて松井亮子講師の指導の下、しかけ応じ1～8本目を全員で行った。松井講師からは「相手の攻撃が来る前に受けに動いてしまわないように。また、構えた時、受けた時に自分の中心を意識するようにしましょう」との指導があった。その後、初段から三段までのA班（担当：今浦講師）と四段以上のB班（担当：松井講師）の二班にわかれ、しかけ応じの練習を行った。

休憩後、防具の着装について説明があった。まず松井講師から面について「先輩から面を譲り受けたりした場合、大きさが合わずにずっと使っていると歯の噛み合わせに影響してくることがある。譲り受けるのは構わないが、自分に合った防具を付けるように」との説明があった。続いて今浦講師が、胴、垂れ、脛当て、面の正しい着装方法について説明した。今浦講師は「防具を正しく装着することが安全管理上とても重要」として。その後、防具を着けて打ち返しの練習をし、初日は終了した。

二日目、まず松井講師が自身の中学校でのなぎなた授業の実践例報告を行った。「男女教習で2クラス、体育館で行った。なぎなたを県連から30本借用し、部活用30本とあわせて使用した。授業は全な連の指導ノートを活用して行い、毎時間キーワードを提示して指導内容や目標を確認しながら行った。実際に防具を打つことが生徒にはとても楽しかったようである。後半（5～6回目の授業）には打ち返しを試合形式で行い、審判も生徒が行った」と説明した。

最後に「なぎなたは自分を律し、相手を敬う心を育むことができる。また、身体接触が少なく安全に男女共習ができるので、授業をやりやすいと思う」と述べ、なぎなた授業の有効性を説いた。

続いて、①手の内スクワット、②継ぎ足リレー、③震源地は誰だ、④目隠し鬼ごっこ、⑤最初は中段ジャンケンポンの5種類のなぎなたゲームを行った。どのゲームもすぐにでき、楽しみながらなぎなたの動きに親しむことができる。

その後、三班にわかれ、それぞれのレベルに応じた研修を行った。中学校教員の初級者班は基礎的な動きを習い、最後にはリズムなぎなたを実践し、全員の前で発表した。わずか1日半で演武までもっていったことは、授業でも実施可能だと思われる。2日間は充実した内容で幕を閉じた。



松井講師の指導によるしかけ応じの練習



松井講師による実践例報告



目隠し鬼ごっこ



最後にリズムなぎなたを披露

# 柔道 指導者研修会・青少年錬成大会 実施報告・参加者感想文

## 【指導者】

No	開催地	会場	期間	参加人数	派遣講師
1	※山口県(山口市)	維新百年記念公園維新大晃アリーナ武道館	2024年5月14日(火)～ 5月15日(水)	16	向井幹博 興儀幸朝
55	岡山県(岡山市)	岡山武道館	11月30日(水)～ 12月1日(日)	60	大島修次 鮫島康太
※中学校武道必修化特化型			計	76	

## 【青少年】

No	開催地	会場	期間	参加人数	派遣講師
2	沖縄県(那覇市)	沖縄県立武道館	2024年5月18日(土)～ 5月19日(日)	158	小池雅彦 齋藤制剛 杉本有里
20	石川県(金沢市)	石川県立武道館	7月23日(火)～ 7月25日(木)	150	鎌塚智樹 渡邊一貴 佐藤正大
22	愛媛県(松山市)	(公財)愛媛県スポーツ振興財団 愛媛県武道館	7月26日(金)～ 7月27日(土)	152	小林幹佳 竹澤稔裕 平井辰徳
30	茨城県(水戸市)	東日本技術研究所武道館	8月22日(木)～ 8月23日(金)	125	川北大祐 内門卓也
40	鳥取県(米子市)	鳥取県立武道館	9月28日(土)～ 9月29日(日)	161	中井貴裕 横田雄斗 江種辰明
45	三重県(津市)	三重武道館	11月9日(土)～ 11月10日(日)	54	磯崎祐子 川瀬孝司
47	鹿児島県(肝付町)	鹿児島県総合体育センター	11月16日(土)～ 11月17日(日)	62	川原久乃 松本勇治
48	岩手県(花巻市)	岩手県営武道館	11月30日(土)～ 12月1日(日)	129	真喜志慶治 小林幹佳
49	秋田県(秋田市)	秋田県立武道館	12月14日(土)～ 12月15日(日)	135	向井幹博 江種辰明 増田沙由美
			計	1,126	

## 指導者研修会

### □山口県 (山口市)

#### ▽光武館 岸本 幸介

##### ●安全指導で学んだ事

自分達が学生時代だった頃は、練習の強要や指導者、先輩や指導者が絶対。という暗黙の風習が横行していたが、今の指導は、言葉遣い、暑さ対策、個々の個性に沿った練習方法等、考えさせられる事が多かった。

今後の指導は、個々の個性を出来るだけ活かし、付かず離れずの距離を保ちながら、ケガはもちろんの事、熱中症対策(練習開始時間、休憩の頻度、場所等)にも気を配りながら、指導していく事が重要だと感じた。

##### ●審判の心得について学んだ事

自分が審判をする上で、審判には審判らしい立ち振舞があり、キリッとしたジェスチャー、歩き方を正そうと思いました。副審も、同様だと感じました。

また、主審が不明瞭な判定の場合、副審との相違が言える事も大切だと思う。

試合の際の礼の仕方も、1つ1つの動きの間を取らせる等、細かい事にも注意して審判をしていこうと思います。

主審、副審も含め、常に選手に視線を向け、審判と選手が重ならない等、審判員同士で連携を取

り、スムーズな試合が出来る様にしていきたいです。

### □岡山県 (岡山市)

#### ▽岡山武道館 平田龍太郎

この度は、主催者の立場だけでなく、いち受講者として、感想文を書かせていただきます。

一日目、安全指導、基本指導、コンプライアンスを受講いたしました。

講師の鮫島康太先生から、現代における指導者の立場、生徒の立場、保護者の立場と様々な状況が交差されている環境が、従来の指導方法には、とても重要であると思いました。

私も小学生の指導を行っておりますが、SNSによる抽象や画像の放出など、現代社会ならではの事で悩んでおりましたが、凛とした態度で自分自身これからもこどもたちと接していき、指導をしなくては思いました。

二日目、審判法でした。

大島修次講師による、審判講習では、近年の柔道は、国際化による JUDO になってきているのを実感しました。

ですが、審判員の質は国際審判法も学びながら、本来の柔道審判をもう一度学んでいき、己の審判員として技術向上を目指し、後継者に伝えていきたいです。



岡山県 講義の様子

## 青少年錬成大会

### □愛媛県

#### ▽中学二年 小池 良誠

今回の錬成大会で、僕は崩しの大切さとその後の手の使い方について学びました。

日頃の練習で先輩たちと乱取りをするとき、出す技が読まれている気がして、大会の前に崩しを意識するという目標を立てたのでとても興味深かったです。

崩す的確な位置は棒立ちの相手が技をかける方向に倒されてきて足を出すか出さないかの際のところだそうです。相手の体の大きさなどによって位置が前後しましたが、大きさに関わらず崩しをしてからつくりに入る（崩しと同時につくりをする）と相手は体勢が悪くなり自分は技に入るスペースがうまれるのでとても投げやすく、相手の反応を遅らせることができました。

体さばきをして背負い投げ等の技に入る時、自分の方へ引かないことで自分の体勢が崩れないと教わりました。

今回は他にも大内刈や背負い投等多くの技を教えてくださいましたが、大会中に完成することはできなかったもので、学校での練習でも要点を意識して取り組みたいです。

#### ▽松山工業 一年 小野 凜子

今日は私たちのためにこのような錬成大会を開いていただきありがとうございました。今日一日を通して学んだことがたくさんありました。

その中で特にこれからの練習で大事にしたいことは、基礎を大切にすることです。普段の練習の中で打ち込みや寝技の反復練習などの基礎練習をしますが、中学生や高校税など年齢が上がるとつれて、基礎練習を流す人が多いように感じます。私もそのうちの一人でした。ですが、今日の練習を通して、基礎が大事なのだと改めて気づくことができました。これからは、反復練習や打ち込みをただするのではなく、何のためにするのか、どういうときにその技を使うのか、などいろいろなことを意識しながら練習していきたいです。



愛媛県 錬成大会

この錬成会には多くの中高生が参加していて、いろいろな人と楽しく練習ができて、とても有意義な時間になりました。そして、たくさんの講師の方がいらっしゃり、わからないことがあったらすぐ聞くことができるという練習環境はとてもいいなと思いました。

この錬成会で学んだことを日々の練習でも活かしたいです。

▽帝京第五高等学校 二年 中野 天晴

7月26日及び7月27日に、中学生高校を対象とした愛媛県地方青少年柔道錬成大会が行われました。3人の講師の先生に来ていただき、柔道の練習方法や練習の基本、技の基本を教えてくださいました。

その中でも印象に残ったことが3つあります。1つ目は、立ち技の基本動作です。立ち技の基本動作は、「崩し、作り、掛け」の順の、3要素でできていると教えていただきました。私は、技を掛ける時「作り、崩し、掛け」の順で相手を崩し切れていない状態から技を掛けていることに気づけました。相手を崩すことでバランスを崩して掛けやすくなり前よりも精度を上げることができました。2つ目は、受身の基本です。受け身は普段の練習で回転運動の1つでやっていて、そこまで重要視していませんでした。受け身を教えてもらって、足で受け身をする、後ろ受け身をするときに足を伸ばすことをすっかり忘れていました。

今までに足の踵を痛めたり、肘を痛めたりしたのは、受身を疎かにしていたからだと思います。受身は命を守る一つの手段なので疎かにさせないように心掛けています。3つ目は、「エビ、逆エビ、脇締め」の使い方です。エビと逆エビは、抑え込まれたときに逃げる時に使うと教えていただきました。私は抑え込まれて逃げようとするとき、ただがむしゃらに逃げていることが多々ありました。だから逃げる時には、エビや逆エビを使って返したり逃げたりできるように日々の練習で意識します。脇締めは主に縦四方で抑え込むときに使うと教えていただきました。脇締めは、縦四方以外にも活用できると思うので使っていきたいと思います。

この3つの他にも様々なことを教えていただきました。この2日間教えてもらったことを忘れず、これからの練習に取り入れていきます。

□三重県 (津市)

▽志秀館 阿部 巽

ぼくが、柔道を始めたのは1年生の頃です。ぼくは、最初「柔道って何だろう？」と疑問に思いましたが、僕が所属しているチームの先生方に、柔道の基本を丁寧に教えてもらいました。

それでも、五年間柔道をやっていると礼法に関しては、雑になっていきます。そんな時に六年生最後の年に、青少年柔道錬成大会に参加させてもらいました。礼法のすべて、基礎トレーニング、

受け身、投げ技、固め技、立ち技、寝技など二日間しっかりと教えてもらいました。

礼法の指導をして頂いた時間では、座礼の時僕はいつも三回目で正座をしてしまいますが、講師の磯崎祐子先生に座礼するときは「四回目で座るんだよ」と教わりました。今後はきれいに美しい姿勢を心がけていきたいと思います。

難しかった投げ技は背負い投げです。僕は普段背負い投げをしないので、すごく入りにくかったですが、僕はその背負い投げに乗っからないように気を付けたいです。

楽しかったことは三人飛びの前方回転受け身です。自信のある人から5番目に並び、僕はめっちゃくちゃぎりぎりだったけど仲間たちが成功していく姿に盛り上がりました。

寝技の乱取りでは、川瀬孝司先生に教えていただいた腹包みをしたとき、かめになった相手を返すことができました。試合でもうまく腹包みを使い抑え込みまでもっていききたいです。

僕の所属チームのスローガンは「万里一空」です。意味は、「一つの目標に向かって努力し続けること」です。教えや礼儀を守り、心と体を鍛え、思いやりと社会に役立つことを胸に武道である柔道を誇りに、今後も楽しく続けていきたいと思えます。

#### ▽安濃柔道クラブ 佐々木 湊樹

僕は今回の少年錬成大会で、礼法と寝技と立ち技を教えてくださいました。「相手に対して敬意を表す」少し前までコロナで柔道ができなかったとき、一人でトレーニングや一人打ち込みやオンライン教室に参加したりしていましたが、「ちゃんと組んで柔道できる日が来るのかなあ」と思いながら過ごしていました。やっと柔道ができるようになって「相手がいるからこそ初めて柔道ができる」と言われたとき、本当にその通りだと思

ました。

まず、相手がいるということにありがたいと思わないといけない。「勝つ」もいいけどその前に「ありがとう」の気持ちを忘れずに相手に対して「礼」をしていきたいと改めて思いました。

寝技は好きなので教えてもらうのはうれしいしうまくなりたいです。けれど試合になるとなかなか出し切れません。どうしても立ち技に気が向いてしまいます。教えてもらった技をしっかりと打ち込むのも大切だし、試合の時にしっかり寝技でも決められるようにするためには、普段から「立ち技・寝技・試合運び」を落ち着いてできるように意識してやっていきたいと思いました。

立ち技は「背負い投げ」と「背負い落とし」を教えてくださいました。昔から体落としが好きでよくやっていたので、背負い落としの打ち込みをしているとき磯崎先生たちに「上手だな」と言ってもらったことがうれしかったです。

柔道は難しいこともあるけど、続けることが大切だと道場の先生はいつも話してくれます。難しいことはできるまでやり続けます。あと、続けていくことで、「相手」を大切にすると人とのつながりを作っていくことも、僕にとっての「柔道」だと思ってこれからも頑張ります。

#### □鹿児島県

##### 小学校4年

ぼくたちのために柔道教室を開いてくださりありがとうございます。ボールや靴下を使った面白いゲームや説明などありがとうございます。質問にも応えてくださり深く感謝しています。昼食を食べた後は眠たくなるので松本先生が教えてくれたストレッチをしようと思います。本当にありがとうございました。

##### 小学校6年

今日、礼儀正しさや打ち込み、乱取りなどをし



鹿児島県 錬成大会

とても楽しかったです。ぼくが楽しかったのは、ボール遊びです。ゆうまさんと一緒に手を合わせて逃げるのがとても楽しかったです。最後の乱取りは、中学生や高校生と一緒にしました。いろいろな人とできてとても楽しかったです。これからもがんばります。

#### 中学校1年

この二日間、柔道の基本を再確認することで忘れていたことなどをしっかり振り返ることができました。そのほかに、得意技や寝技などのコツを教えてもらいました。今度の試合で実践しようと自信ができました。その他に、相手を思いやる気持ちを忘れないようにがんばりたいです。

#### 中学校2年

松本先生、川原先生、二日間僕たちに指導して下さりありがとうございました。心に残っていることは、体捌きには4種類あるということです。体捌きは、背負い投げや内股をする時に必要なので、体捌きを上手く使いながら技をかけるようにします。松本先生、川原先生二日間御指導ありがとうございました。

#### 中学校2年生

松本先生や川原先生には、礼儀作法や思いやりの心など細かいところまで教えてもらいました。寝技では、靴下取りゲームなど楽しくするためにいろいろ考えてくださいました。また、目の前で手本を見せてくださったので分かりやすかったです。次に活かせると思います。教わったことを忘れずにこれからの練習もがんばります。

#### 高等学校3年生

今回、礼法など忘れていたことを確認するとてもよい機会になりました。また、応用技術など自分が知らないことなども知ることができ、とても充実したものになりました。私は、春から社会人になり柔道に関わっていくことが少なくなってしまうのですが、自分が指導する立場になったら今回学んだことをいかしていきたいです。

### □秋田県（秋田市）

#### ▽秋田県立本荘高等学校2年 佐々木 結叶

今回の柔道錬成大会では、柔道の本質と技術の向上について多くの学びを得ました。「強い人は遠回りをせず近道を探る」という教えから、柔道における効率的な動きや判断の重要性を実感しました。

寝技では、面ではなく点で体重をかけ、肩が浮いた相手に足を使いながら抑え込む技術を学びま

した。また、絞め技では手首を活用し、線を意識することで極めの精度を高める方法を学びました。

立ち技においては、相手の苦手な方向を突きながら、力を入れる瞬間と抜く瞬間を素早く切り替え、自然体を維持することが重要であると教わりました。特に体捌きの際には、動きにキレを意識することで、相手に気づかれずに八方向へ崩す工夫を深めました。

この柔道錬成大会で学んだ柔道の基本や技術を、日々の稽古に活かして精進していきます。そして、柔道に携わる者としての心構えを大切にしながら、自分自身を磨いていく努力をしていきたいと思います。

#### ▽秋田市立土崎中学校2年 鈴木 導吏

僕は今回の秋田県地方青少年柔道錬成会を終えて、新しい技術を習得し、自分の技術で劣っている点を理解することができました。

向井先生の指導からは、『考える柔道』の大切さを学びました。また、柔道の原理を技の説明とともに指導してくれました。複雑で慣れない動きをすることも多かったですが、歌でリズムをとりながら、わかりやすく指導してくれました。

江種先生からは、江種先生の得意な抑え込み方や、背負い投げの方法を学びました。背負い投げが苦手な僕にとって、良い経験になりました。また、柔道の試合で使う技につながる運動を教えてくださいました。

増田先生からは、試合が始まってから最初に行う組み手争いの方法や、様々な種類の打ち込みの方法を教えてくださいました。日頃の乱取練習から意識していきたいです。

普段の練習に取り入れられそうなことをたくさん教えてもらい、良い経験になりました。忙しい中、僕たちのために時間を作ってくれた先生たちに感謝し、錬成会で学んだことをこれからの柔道に生かせるよう、日々の稽古に取り組みたいです。



秋田県 錬成大会

# 剣道 指導者研修会・青少年錬成大会 実施報告・参加者感想文

## 【指導者】

No	開催地	会場	期間	参加人数	派遣講師
2	※山口県(山口市)	維新百年記念公園維新大見アリーナ武道館	2024年5月14日(火)～ 5月15日(水)	19	山神真一 有田祐二
37	福井県(福井市)	福井県立武道館	10月19日(土)～ 10月20日(日)	35	松下吉進 岩佐英範
47	宮城県(仙台市)	宮城県第二総合運動場	11月16日(土)～ 11月17日(日)	60	石井 猛 田中宏明
58	新潟県(上越市)	謙信公武道館(新潟県立武道館)	12月7日(土)～ 12月8日(日)	31	吉田泰将 岩脇 司
59	鳥取県(米子市)	鳥取県立武道館	12月7日(土)～ 12月8日(日)	75	松田勇人 浦 和人
※中学校武道必修化特化型			計	220	

## 【青少年】

No	開催地	会場	期間	参加人数	派遣講師
3	鹿児島県(霧島市)	鹿児島県総合体育センター	2024年6月1(土)～ 6月2日(日)	30	岩切公治 寺地四幸
12	三重県(津市)	三重武道館	7月6(土)～ 7月7日(日)	49	大河内鉄彦 田中久夫
21	石川県(金沢市)	石川県立武道館	7月23(火)～ 7月25日(木)	49	東 良美 吉田一秀
28	静岡県(藤枝市)	静岡県武道館	8月17(土)～ 8月18日(日)	251	恩田浩司 織口剛次
31	山口県(山口市)	維新百年記念公園維新大見アリーナ武道館	8月22(木)～ 8月23日(金)	33	数馬広二 竹中健太郎
38	沖縄県(那覇市)	沖縄県立武道館	9月7(土)～ 9月8日(日)	289	濱崎 満 石田洋二 平尾 泰
39	秋田県(秋田市)	秋田県立武道館	9月21(土)～ 9月22日(日)	172	井島 章 栄花英幸 染谷恒治
50	青森県(弘前市)	青森県武道館	2025年1月18(土)～ 1月19日(日)	84	古川和男 下川祐造
			計	957	



宮城県 指導者研修会



## 指導者研修会

### □宮城県(仙台市)

#### ▽加美郡剣道連盟所属 加藤 あゆみ

令和六年十一月十六日・十七日に、宮城県武道館において開催された「宮城県(仙台市)地域社会指導者研修会」に参加させていただきました。

「柳生新陰流」の古武道模範演武に始まり、範士八段石井猛先生による、小川忠太郎先生や持田盛二先生のお言葉を交えた稽古への心構え、指導のあり方のご講義は、剣道の「伝統性」を再確認できたともに、これからの指導方法だけでなく、自身の稽古に対する意識も見直すことができました。

二日目の教士八段田中宏明先生による審判法の講義・実技指導では、『暫定的審判法』の今後の取扱いと『手引き』の改定の経緯と目的についてご講義いただき、審判員としての役目と任務を熟知し、その責任を果たさなくてはならないことを再認識しました。「正しい審判が正しい剣道をつくる」ことを忘れずに、審判に立ちたいと思います。

部活動の地域移行・連携が進んでいく中、剣道の普及発展に指導者の姿勢が大きく反映される時代だと思います。これからの剣道のためにも、このような研修会に参加し、常に自身の指導法をアップデートしていくことが必要だと感じました。

二日間、大変勉強になりました。またこのよう

な機会がありましたら参加させていただきます。ありがとうございました。

#### ▽長谷 健太郎

十一月十六日(土)～十七日(日)に宮城県武道館にて行われました令和6年度地域社会剣道指導者研修会に参加させていただきました。

研修会の最初には古武道模範演舞・体験ということで、柳生新陰流兵法剣術を第二十三世宗家である柳生耕一庵信様から直接ご講義、解説をいただけるという大変貴重な時間を頂戴致しました。

講義「指導法」では、石井先生よりご講義を頂き、気剣体一致した打突を目指すために常日頃から刀法、心法、身法を意識した稽古を心がける必要性を再確認しました。「何より剣道で一番大切なのは稽古。理事一致、理合の稽古を積む。」というお言葉が印象に残っております。

「竹刀稽古法実習」では、講師の石井先生が普段一番大切にされているという「いかに自分の打ち間(一足一刀)に入り、そこから捨て切って技を出すか」を目標に、基本的な動きから最後は立ち合い形式の稽古まで段階的に指導をしていただきました。「自ら仕掛け、打つか返すか」その心がけが捨て切る一本に繋がると実感しました。

本研修会では、他にも書ききれないくらいの方のたくさんの学びを得ることができました。このような貴重な場を設けていただいた事に感謝し、今後の自分の剣道修行や指導者として生徒と向き合う際に生かしていきたいと思っております。

#### □新潟県(上越市)

##### ▽上越市剣道連盟 直原 幹

令和6年度新潟県(上越市)地域社会武道(剣道)指導者研修会に地元講師として参加させていただきました。今年度の内容は剣道研修だけでなく、日本古武道協会のご協力により天真正伝香取神道流剣術の模範演武を拝見する機会を頂戴いたしました。また、極意相伝者の京増先生より直に秘伝の解説をしていただけたことは受講者全員にとって大変貴重な経験となりました。室町の時代から継承されている古流の流れの延長に我々の現代剣道が位置づいていることを考えた時、その歴史の変容を踏まえた上で、我々が日本独自の伝統的な運動文化としての現代剣道を正しく継承していくことの大切さを改めて感じることができました。上越市においてこのような研修会の機会を設けて頂いたことに厚くお礼申し上げます。

#### 青少年錬成大会

#### □三重県

##### ▽陽和中学校 荻須 瑞輝

三重県地方青少年剣道錬成大会では、先生方がとても熱心にご指導くださり、たくさんの方の事を学ぶことができました。

まず初めに、基本的な動作や姿勢について教えていただきました。普段疎かにしがちな基本的な事の重要性を改めて実感しました。

また、実際に稽古をつけていただく中で、自分の課題や改善すべき点が明確になりました。私の



新潟県 指導者研修会

場合は全体的に間合いが近くなってしまっているので、少し遠い間合いから技を出すことを意識するといいい、とアドバイスをいただきました。そのアドバイスを元に、今後さらに成長していきたいと思います。

二日間の稽古を通じて、技術面だけでなく精神面での成長も感じることができました。

また、剣道の奥深さを感じることもできました。今後もご指導いただいた事を大切にし、自分の技術と精神力を向上させていきたいと思います。

#### ▽和道館 堀木 竣介

今回、剣道八段の先生方からご指導を受け、とても貴重な稽古をさせていただきました。

先生から学んだことは、たくさんあります。基本打ちの姿勢や竹刀の振り方、着装など細かいところまでご指導いただきました。

実際に審判の仕方を体験し、難しいところもあったけれど、ていねいに教えてくださりいつも先生方が、ぼくたちの試合でこのように審判をしてくれるのだとわかりました。

技はもちろん大切だけど「最初の打ち始めから残心まで集中すること」「声を出すこと」「礼儀を守ること」そして、相手を尊重することの大切さを学びました。

特に「つねに打てる準備をしておく」とおっしゃった言葉が心にひびきました。

ぼくは、試合の時に足が止まって打たれてしまうことがあるので、この言葉を意識し、自分から打つチャンスを見きわめていきます。

先生のように強く立派な剣道家になれるように、今回学んだことを毎日の練習で繰り返し、自分のものにして、もっと強くなれるように頑張ります。

そして、この稽古会の日は七夕でした。

ぼくは、「世界大会に出場し、活躍できる選手になります。」と七夕の日にちかいました。

二日間、ご指導いただき本当にありがとうございました。

#### □秋田県

##### ▽大仙市立大曲中学校 柳田瑚太郎

まず初めに、遠方から足を運んで頂きご指導して下さいました井島先生、栄花先生、染谷先生そして、県内の各先生方に感謝いたします。『ありがとうございました。』この錬成大会に参加した事で、剣道の基本である素振りから応じ技に至るまでの一通りを、初心に帰り学ばせて頂くことができました。また、普段は会う事の無い全県の中学生剣士達と（敵・味方）ではなく（仲間）として稽古できた事をうれしく思います。体は疲労したけれ



秋田県 錬成大会

ど、心は満たされた充実の二日間となりました。今回教えて頂いた事を今後の稽古に活かし、修練していきたいと思います。

▽秋田大学教育文化学部附属中学校 進藤雅峻

二日間の青少年剣道錬成大会に参加させて頂き、学びの多い貴重な経験ができました。本当にありがとうございました。先生方に基本技能や応用技能をはじめ、基本の大切さや試合の時の心構えについて直接丁寧に教えて頂けたことが印象に残っています。また、技の面では

相手を思い切って誘うなど深く学ぶことができました。強化選手はじめ他校の仲間とも交流する機会があり、互いに刺激を受けながら稽古に取り組み、とても良い経験でした。先生方との稽古では、厳しさの中にも剣道を教えてくださる優しさを感じ、心構えと礼節の大切さを改めて実感しました。これからの稽古では、教わったことを活かし、技術面でも精神面でもさらに精進していきたいと強く思いました。この大会で得た知識や技術を、今後の日々の稽古や試合に活かし、成長していけるよう努力します。

▽秋田大学教育文化学部附属中学校 加藤はな

私は、栄花先生にご指導頂けたことがとても貴

重な経験で嬉しかったです。強化選手としてこの錬成大会に参加するのは初めてで、切り返しの時は本当に大変でしたが、同じ強化選手の仲間と切磋琢磨して乗り越えることができました。栄花先生の言葉で私が一番心に残っている言葉は「できると思ったらできる。できないと思ったらできない。」です。練習中にこの言葉を聞くと本当にやる気がみなぎってきて私の魔法の言葉になりました。諦めたらそこまでの力しか出ないというのは本当なのだ実感しました。私はいつも試合で弱気になって前に出ることができませんが、これからはこの言葉を思い出して、自身を持ってどんどん前に出ていく試合をしたいです。最後に、このような素晴らしい錬成大会でご指導くださった先生方に感謝しています。ありがとうございました。

□青森県

▽弘前市立第五中学校 武邊 ころろ

今回の錬成会で、剣道の基本の大切さを改めて実感しました。特に素振りでは、古川先生から竹刀の持ち方、振りかぶり、足さばきなど、細かい指導を受けました。竹刀は左手を上から握り、振りかぶりでは剣先が下からないように、足さばきでは踵を浮かせることを意識します。これらの点



青森県 錬成大会

を意識した素振りは、今までと全く違う感覚でした。左右素振りでは竹刀を振り回さず正面で振りかぶり、跳躍素振りでは足をしっかり開き、打つ瞬間に踏み込むことを意識しました。古川先生からは、相手の顎まで切り落とすような鋭い素振りを心がけるよう指導を受け、より実戦に近い感覚で練習できました。

また、下川先生からは礼法・着装について詳しく教わりました。蹲踞、提刀、帯刀、垂れの着け方など、今まで何となく行っていたことが間違っていたことに気づきました。特に礼法は、相手と気持ちを合わせる大切だと教わり、感謝の気持ちを込めて丁寧に行おうと思いました。

さらに、下川先生の「一時間を二時間にしろ」という言葉が印象的でした。これは、元立ちの時も常に間合いを意識し、積極的に打突する意識を持つことで、稽古をより充実させるという意味です。今までは元立ちの時に気を抜いていた部分もあったので、これからは常に緊張感を持って稽古に臨みたいと思います。

この二日間で、基本の大切さと一本に対する意識を改めて学ぶことができました。今回の学びを忘れずに日々の稽古に励み、一本へのこだわりを持って成長できるよう努力していきます。そして、勉強も剣道も、もっと頑張ろうと思いました。

#### □静岡県（藤枝）

##### ▽梅原 瑞

僕は1日目の素振りの時、基本に正しくすることを意識してやりました。その後打ち込みをして、とてもおどろきました。メンやコテを今まで以上にきれいに打つことが出来たのです。僕は、メンを打つ時の手の位置が少し低いのですが、素振りの時、毎回気をつけてやったことで、修正することができました。基本に正しくすることはとても難しく、大変だけれど、とても大切な事だと再確認することが出来ました。これからは、毎日基本に正しく出来ているか自分で確かめて、教えてもらったこともどんどん生かして行って、美しく、強い、基本に正しい剣道が出来る様、頑張っていきます。2日間教えていただき、ありがとうございました。

##### ▽有元 七海

今日一日を通して、心に残ったとは座礼や立礼などの礼法をしっかりとやることです。改めて振ってみると、先生がおっしゃっていたように、

自分の中でも一番疎かになっていると感じました。こういった所を丁寧にやるのが剣道の心を鍛える道であり、自分の中で足りないところだとわかりました。先月までは、中体連に向けて、技術的な面を中心的にやっていました。そのため、久しぶりにしっかりと礼法や基本に向き合い、自分の剣道の形が少し、崩れていること気がつきました、中学での剣道は区切りがついたので、これを機に、今日学んだいとを意識しながら、礼法や基本、構えや足捌きなどをしっかりと、ゴツゴツとやっっていこうと思います。

##### ▽ドウヨトミ良子

この錬成大会の1日目を終えて私が感じたことは2つあります。まずは、礼法や基本の稽古をして新しく学んでことが多くあったことです。正座をするときに先につま先を立ててから座ることや、相手から外さない5つのもの、面ひもを片手で外してはいけないなどはじめて聞いたことがたくさんありました。つぎに素振りの稽古を通して今までより素振りに鋭さが出たことです。素振りをするときにハッキリと大きな声を出したり、先生方のアドバイスを実行することで確実に今までよりレベルアップできたと感じました。この1日で学んだ多くのことを2日目にもつなげて1日目よりも礼儀正しく、先生方がアドバイスをしてくれたことを忘れずに稽古にはげみたいと思います。そしてこの錬成大会だけでなく、日々の稽古にもつながるようにしたいです。

# 弓道 指導者研修会・青少年錬成大会 実施報告・参加者感想文

## 【指導者】

No	開催地	会場	期間	参加人数	派遣講師
7	熊本県(八代市)	熊本武道館	2024年6月29日(土)～ 6月30日(日)	35	窪田史郎 鈴木克己
9	岩手県(盛岡市)	岩手県営武道館	8月24日(土)～ 8月25日(日)	30	久田博康 齋藤往子
10	福岡県(福岡市)	福岡県立スポーツ科学情報センター	8月24日(土)～ 8月25日(日)	50	鈴木康弘 木塚鉄也
17	長野県(飯田市)	長野県立武道館	9月14日(土)～ 9月15日(日)	38	及川好布 出越雅子
24	岐阜県(岐阜市)	岐阜メモリアルセンター	9月28日(土)～ 9月29日(日)	39	窪田史郎 米山良美
25	鳥根県(松江市)	鳥根県立武道館	9月28日(土)～ 9月29日(日)	31	鈴木康弘 宇都宮益則
26	岡山県(玉野市)	岡山武道館	9月28日(土)～ 9月29日(日)	32	及川好布 出越雅子
28	山梨県(甲府市)	山梨県小瀬スポーツ公園武道館	10月5日(土)～ 10月6日(日)	42	及川好布 伊藤紀美子
31	石川県(金沢市)	石川県立武道館	10月12日(土)～ 10月13日(日)	43	久田博康 伊藤紀美子
38	静岡県(藤枝市)	静岡県武道館	10月5日(土)～ 10月20日(日)	50	鈴木康弘 齋藤往子
39	大阪府(大阪市)	大阪市立修道館	10月5日(土)～ 10月20日(日)	47	信國幸人 澁谷佳史
42	香川県(高松市)	香川県立武道館	10月5日(土)～ 10月27日(日)	22	窪田史郎 安倍 智
45	宮城県(仙台市)	宮城県第二総合運動場	11月9日(土)～ 11月10日(日)	30	鈴木康弘 福地 平
48	福島県(いわき市)	福島県営あづま総合体育館	11月16日(土)～ 11月17日(日)	35	信國幸人 宇都宮益則
52	栃木県(宇都宮市)	栃木県総合運動公園武道館(ユウケイ武道館)	11月23日(土)～ 11月24日(日)	36	久田博康 小西秀人
53	鳥取県(米子市)	鳥取県立武道館	11月23日(土)～ 11月24日(日)	23	信國幸人 木塚鉄也
54	愛媛県(松山市)	(公財)愛媛県スポーツ振興財団 愛媛県武道館	11月23日(土)～ 11月24日(日)	24	及川好布 福地 平
56	大分県(大分市)	レゾナック武道スポーツセンター	11月30日(土)～ 12月1日(日)	38	鈴木康弘 鈴木克己
61	高知県(高知市)	高知県立武道館	12月7日(土)～ 12月8日(日)	26	鈴木康弘 齋藤往子
66	徳島県(徳島市)	徳島県立中央武道館	2025年1月18日(土)～ 1月19日(日)	27	及川好布 宇都宮益則
68	北海道(北見市)	北海道立総合体育センター	1月25日(土)～ 1月26日(日)	64	窪田史郎
76	秋田県(秋田市)	秋田県立武道館	2月22日(土)～ 2月23日(日)	29	窪田史郎 福地 平
※中学校武道必修化特化型				計	791

## 【青少年】

No	開催地	会場	期間	参加人数	派遣講師
16	岩手県(花巻市)	岩手県営武道館	7月20日(土)～ 7月21日(日)	41	齋藤往子 吉田佳史
18	福井県(福井市)	福井県立武道館	7月20日(土)～ 7月21日(日)	34	出越雅子 大隅雅成
25	宮崎県(宮崎市)	ひなた武道館(宮崎県武道館)	8月3日(土)～ 8月4日(日)	97	澁谷佳史 原田友康
26	鳥根県(松江市)	鳥根県立武道館	8月10日(土)～ 8月11日(日)	41	安倍 智 大隅雅成
32	山口県(山口市)	維新百年記念公園維新大晃アリーナ武道館	8月22日(木)～ 8月23日(金)	97	野中秀治 吉田佳史
				計	310

### 指導者研修会

#### □石川県

##### ▽羽咋市弓道協 河崎由香里

この度、初めて地域社会弓道指導者研修会に参加させていただきました。石川県では毎年開催されている研修会に、まだ未熟な私にも参加の機会をいただけたことに感謝しています。研修では、持ちの射礼における射技指導を初めて経験し、特に離れの際に拳を肩と同じ高さで保つことを意識するようご指導いただきました。研修中はうまく改善できませんでしたが、道場に戻ってからもち

の点を意識し、修練を重ねていきたいと思えます。この2日間、先生方から丁寧なご指導をいただき、非常に濃い内容の研修会となりました。諸先生方、本当にありがとうございました。今後も学んだことを生かし、さらに精進していきたいと思えます。

##### ▽金沢市弓道協会 中田 守

10月とはいえ少し汗ばむような陽気の中での2日間の研修でしたが、久田主任講師、伊藤講師におかれましては、時には厳しく、時には温かく、



石川県 指導者研修会

親切丁寧なご指導をいただきまして、本当に感謝しております。

今回、矢渡しで射手久田先生の第一介添えをさせていただくという光栄な機会をいただいたのに、まだまだ未熟で数々の失敗をし、せっかくの久田先生の素晴らしい所作、射を引き立てるどころか、逆に邪魔をした結果となり大いに反省しております。

射礼研修において、久田先生、伊藤先生、両先生より礼の仕方の悪さをご指摘いただき、射技において久田先生より「会で弓手の人差し指が動くのを意識して直しなさい」

伊藤先生からは「残身で弓が前に倒れるのはどうなのかしら」とのご指摘をいただき、今後、他にもご指導いただいた点を踏まえ、改善に向けて努力していきたいと思っております。

また、今回の研修では、繰り返し射礼稽古を行うことで、個々の射ばかりを追いかえず他者との息合い、所作を合わせる事の大切さ、難しさを学ばせていただきました。

#### □静岡県（藤枝市）

##### ▽井手 綾子

昨年に引き続き、今年も地域社会弓道指導者研修会に参加し、鈴木先生・齋藤先生のおふたりの派遣講師の先生方、また、大山先生・森山先生のおふたりの地元講師の先生方より多くを学ばせていただき、大変実りのある研修会となった。

鈴木先生のお話は大変興味深く、また、今まで全く気付くことができなかったポイントを指摘いただき、悪癖の矯正につながるご指導をいただくことができた。

また、齋藤先生からは、多くの基本的な事柄から丁寧な指導とお話をいただいた。その指導方法はじめ齋藤先生の知識とご見識の深さに大変感



静岡県 一手行射（審査の間合い）

銘を受け、指導者としての目標になった。

今回の研修会で得たものを今度の自分自身の弓道修練ならびに、所属支部での指導に活かしていきたい。

誠に、ありがとうございました。

##### ▽熊原 美保子

あまりお会いする機会のない上段の先生方の体配や射をたくさん拝見できて勉強になりました。

また、2日間の講習会は時間に余裕があるため、1人1人とてもじっくりと御指導いただけて、生徒の方々も質問もしやすく、とても充実した内容でした。

今回は、射技指導の際に、「今、気になっている事は何か」と声をかけていただき、具体的な修正方法や気を付ける事なども教えていただいたので、地元に戻って早く練習したいです。

自分への指導だけでなく他の生徒さんへの指導されている内容も近くで拝聴できて、本当に内容の濃い2日間でした。

講師の先生方御自身の道具や意識の仕方などのお話もとても興味深かったです。

鈴木講師のお話がおもしろく、時間が体内程楽しかったです。

齋藤先生の打ち起こし美しさに心がふるえました。「あんな風になりたい」と思いました。

##### ▽原木 ひろ子

範士八段鈴木先生、教士八段齋藤先生、教士七段大山先生、教士七段森山先生四人の講師の先生方が、受講生1人1人に真剣に向き合い、丁寧に御指導くださり、感謝いたします。

初めに資料を用いて武道としての弓道について御指導頂きました。弓道は正しい事を求めて、在るべき姿を求めて努力を続ける事を通して、人間

として向上してく、自分を鍛える「道」であることを再認識し、日々の自分の稽古の取り組み方を反省しました。

矢渡しは射手の鈴木範士を中心として受講生2人と、間合い、息合いが一致した素晴らしい矢渡しでした。後で鈴木範士が、第二介添えに定め座から本座まで25歩で行くからと事前にお話しされていたと聞き、なるほどそのような配慮をされていたのかと勉強になりました。

射技指導においては、1人1人に疑問に思っている事、困っている事を聞いて下さり、各々(の骨格・体型・射技の改善点)に応じて、分かりやすく、熱意を持って御指導下さりありがたく思っております。

一つの射礼もお見事で、思わず見入ってしまいました。

射技解説も、実に詳しく具体的に御指導下さり、とても勉強になりました。

#### □宮城県

##### ▽佐藤哲也

2日間に渡りお二人の講師先生より弓道に向き合う精神面や射技射術の指導をしていただき勉強になったことに加え改めて大切なことに気づかさ

れたことが多々ありました。

精神面においては外国の弓道人が日本の弓道人に対して抱いた疑問を通して自分が当然に行っていたと思われていたことが日々の修練の怠慢により行われていなくなってしまったことに気づかされました。

日本の武道である弓道を指導者として伝えていかななくてはならない立場でありながら自分自身がこのあり様ではいけないと反省させられ改善していかなばならないと思えました。

今回このような貴重な講習会を開催していただいたことにより大切なことに気が付くことができ今後の弓道人生を送って行くにあたり重要なこととなりました。

射技射術での指導では大変わかりやすい解説により理解することができ自分がこれまで行ってきた練習にお教えいただいたポイントを取り入れて行うことにより上達につながればと思います。その他これまでの自分の固定観念を覆されたこともあり今後の為になりました。

今回このような貴重な研修会を開催していただき誠にありがとうございました。

受講生を代表いたしまして心より御礼申し上げます。



宮城県 指導者研修会

ありがとうございました。

#### ▽西城 亜矢

11月9～10日の2日間にわたり宮城県（仙台市）地域社会弓道指導者研修会が開催されました。

今回の研修では、第一介添という大役を仰せつかりました。開会式前の時間を使い、第二介添と打ち合わせを行っていたところ、射手である鈴木康弘先生が加わり、打ち合わせにとどまらず、矢の受け渡しや礼の仕方や所作までご指導までくださいました。研修会前にもかかわらず、先生の周りに自然と輪ができ、みんなが指導に耳を傾ける時間が新鮮でした。射手の矢が的を捉えないのは第一介添の射手に注ぐ「気合」が足りないからなど、ところどころユーモアを交えながら、しかし、的確な言葉で場を整えてくださり、落ち着いた気持ちで矢渡しに臨むことができました。

射技指導においては、事前に矢束の確認を行い、印を付けた矢で弓を引き確認することを行いました。大きく引くことは違っている良いことではないと自分の常識をひっくり返される言葉もありました。頭では理解できましたが、まだ体に馴染んでいないので今後も気をつけて取り組んでみ

ようと思いました。

また、弓の握りの作り方と手の内のあり方の説明はたいへんわかりやすい説明でした。実際に先生の握りを触らせていただきましたが、大三へ移行する際に自然と手の内が出来上がるような握りで、唸ることしかできませんでした。地元講師の古賀葉子先生が2日目に早速説明どおりに握りを作り、かつ皆に見やすいように仮留めの状態で見せてくださったこともたいへん勉強になりました。自分に合った握りを作ることも射技向上につながるということを痛感しました。

たくさんの気づきをいただく研修でした。先生の歯に衣着せぬ真っ直ぐな言葉は受講生みんなの心に届いたことと思います。それぞれの弓道会や指導先につなげるよう取り組んでいきます。

どうもありがとうございました。

#### □北海道

##### ▽鎌田浩子

北海道地域社会弓道指導者研修会が1月25日（土）、26日（日）の2日間にわたって北見市武道館弓道場で開催され、この研修会に参加させていただきました。



北海道 指導者研修会

中央講師の窪田史郎先生、地元講師の小西秀人先生には丁寧かつ熱心にご指導いただき、多くの知識を得ることができて大変感謝しております。

研修会初日に「生気体」についての講義がありました。

身体を使うということは単に筋肉を動かすことではなく、心がその動作に深く関与し、心と体が一体となる「気」の重要性を改めて実感しました。呼吸の使い方や精神の集中を意識することで身体全体の動きが整い「生きた射」の基盤になると気づかされました。

射礼研修や射技指導の中でも「誠をつくせ」「生気体」を意識することが重要であるご教示いただきました。

具体的で適切なアドバイスを通じて、これまでの自分の射癖や課題を明確に知ることができました。

さらに他の受講生の方々との交流を通じて、多様な考え方や取り組み方に触れ、自分の弓道に対する視野が広がりました。

このような貴重な学びの場を提供して下さった関係者各位や熱心に指導して下さいました先生方より感謝申し上げます。

今回の研修会で得た知識や経験を基に、今後も向上心と柔軟な心を持ちながら弓道の道を追求していきたいと思えます。

#### ▽徳永暢幹

1月25日26日の二日間、北見市武道館弓道場において北海道（北見市）地域社会弓道指導者研修会が開催されました。

北海道の中心地札幌からオホーツク海に向けさらに300km、日本の北東の端に位置する北見市武道館。当地では中央の先生方に直接指導していただける唯一の機会となる貴重な研修会です。

前日からの降雪にもかかわらず近隣町村はもとより道内各地、遠くは600km離れた函館やさらには海を挟んだ奥尻島からも含め64名もの受講者が一人も欠けることなく参加。この研修会に対する期待、弓道を極めようとする熱量に大いに刺激を受けるとともに「自分も」と身の引き締まる思いがしました。

30回目の開催となる今年は中央講師に範士八段窪田史郎先生、地元講師に教士八段小西秀人先生を招聘。初日は窪田先生による矢渡しに続き受講者による一手行射、午後からは講評と講義の後に各先生による射技指導。2日目は小西先生によ

る演武に始まり受講者による持的・一つの射礼、午後からは先生お二人による一つの射礼の範示指導、最後に再び射技指導という流れで行われました。

講義の中で窪田先生より「生気体・死気体」について、並びに「自然の離れ」のための「五つの条件」についてのお話をいただきました。一手行射の講評も交えながらの「どこまで気力を尽くしているか」「足りない」「負けずにどこまでも伸び合う」「失敗してもいいからやり通したかどうか」「止まらないで乗り越えていく努力」「自分の壁を乗り越えてもっと素晴らしいものへ」等々のお言葉に、一手行射での失敗をはじめ自分の未熟にあれこれ悩む気持ちが不思議なくらいにポロリと剥がれ「細かなことや失敗に囚われず、ただ真っ直ぐ一生懸命にやってみよう」という気持ちが湧き、その後の射にも望むことができたのが非常に印象的でした。その他にも書ききれない多くの学びと収穫をいただいた、内容の濃い充実した研修会でした。

そろそろ流水が接岸し一段と寒さが厳しくなるこの時期にもかかわらず、遠く東京から足を運んで下さった窪田先生、並びに旭川から3時間の雪道を走破しお越しく下さった小西先生には、本当に感謝の念に堪えません。

#### □秋田県

##### ▽西目弓道愛好会 三浦 憲一

2日間の指導者研修会は、毎年開催されます。弓道5段になってからほとんど参加させていただいております。そのたびに中央講師の範士の先生や他の講師の先生方に自分が気づかないことを多様な視点から指摘していただいております。その指摘から新たな自分の課題が見つかり、その後の稽古に役立ってきています。

今回の研修でも、2つのことが明確に分かりました。

一つ目は、自分が迷っている引き方のうち、何が良くて何が悪かったかを再確認することができました。

二つ目は、次の審査において何が足りなくて、今後どんな稽古をすれば良いかがはっきりと分かりました。

このことから、自分の新たな課題が生まれ、それに対して日々稽古していかなばという意欲もまた、湧いてきました。

これからも、いろいろな研修会に参加して、自



秋田県 指導者研修会

分では気づかないことを、先生方からの多様な視点から、指摘していただきたいと思います。今回は、ありがとうございました。

#### ▽秋田和弓会 山田 ゆい

今回初めて研修会に参加させていただきました。大変勉強になることばかりで、これから自身に必要なことが見える大変充実した2日間となりました。全体を通して、日々の練習で気お付け点など全てにおいて未熟だったと反省し、今後の練習の身が引き締まる思いでいます。これまで射形や的中ばかり考えてしまっていたが、あらゆる動作を基本に忠実に、もう一度動作の意味や流れを考えながら見直す必要があると感じました。

持ち的射礼では、間違えないように動くことや周りと合わせることをばかりいたところ、息合いが大切と教えていただき、これから錬士受験に向けて習得していく必要を感じました。

射技指導では、先生によって様々な視点でご指導いただいたことを一つずつ体得できるよう丁寧に練習したいです。これまで離れの切っ掛けに悩んでいましたが、自分が思ったタイミングで離れ

を出すことができるようなご指導をいただき、数年ぶりに気持ちのいい射ができたことが嬉しく大変大きな学びとなりました。

#### 青少年錬成大会

##### □岩手県

- 体配は審査を受けたことかなく細かく教わる機会がなかったので足さばきや生気体、動作の意味まで知ることができてとてもよかったです。また、目線や姿勢などで雰囲気を出すことも大切だと分かりました。
- 円を描くように弓を引いてくること、射場内に入った時からの心構え、正しい体配や雨露利の離れなど、今までになかった知識を得ることができました。自分の中で知識の引き出しが増え、学びが深まったのを感じます。
- 武道において礼儀や作法はとても重要なものであり、体配でも一つ一つの動作に意味が込められていました。今回、講師の先生方からそれらを丁寧に教えていただき、実践してみて自分も武道の担い手であるという自覚をもつことができました。



岩手県 錬成大会

- ・ 体配練習や、座射練習をして今までやってきた動作に間違いがあったり、自分の悪いクセがあることを知れた。また、行射指導でたくさんの先生方に射型を見ていただき、自分でも成長を感じられた。
- ・ 今回学んできたことを通し、自分の新しい知識として蓄えようと思った場面や、これからも武道を続けていく一員として考えさせられる点が多くありました。また、新しくできた仲間や同じチームの人達と、これからの大会や練習でも高めあっていこうと思います。

#### □島根県

##### ▽島根県立益田高校 2年 勝部 喜実香

私は、8月10日から11日に行われた錬成大会に参加しました。私は数か月前から早気になり、それは日に日に悪化していて、徐々に正射必中から遠のいていく自分が嫌になり、弓道をするのが苦しくなっていました。今回の錬成大会で、早気を直す手がかりを見つける事が出来ないかと思い参加しました。

射技指導を受ける中で、自分の射のイメージが出来ていないことを講師の先生に指摘されまし

た。その時は訳が分からず不安が押し寄せて来ましたが、改めて先生に質問をすると丁寧に指導下さり、日々の稽古での留意点も教えて下さいました。講師の先生に「今からやれば次の大会には絶対に間に合うから、頑張りなさい。」と言われ、背中を押して頂きました。講師の先生方に指導して頂いたことを自分の射だけに生かすのではなく、同じように悩んでいる同級生や下級生にも伝えていきたいです。こういう講習会には中々参加することがありませんでしたが、機会があればまた受講して多くのことを学びたいと思いました。

暑い中、安倍先生、大隅先生をはじめ、島根県の講師の先生方、二日間、丁寧に指導頂き有難うございました。また、島根県弓道連盟の方々にも色々とお世話になり有難うございました。

# 相撲 指導者研修会・青少年錬成大会 実施報告・参加者感想文

## 【青少年】

No	開催地	会場	期間	参加人数	派遣講師
7	鳥取県(鳥取市)	鳥取県立武道館	2024年6月22日(土)～ 6月23日(日)	56	平野照二 成松由紀夫
44	福井県(福井市)	福井県立武道館	11月9日(土)～ 11月10日(日)	31	村上英昭 山中未久
46	青森県(弘前市)	青森県武道館	11月16日(土)～ 11月17日(日)	35	舩田 守 對馬英人
56	静岡県(藤枝市)	静岡県武道館	2025年2月15日(土)～ 2月16日(日)	52	横山 薫 本田貴紀
計				174	



鳥取県 錬成大会

### 青少年錬成大会

#### □鳥取県

#### ▽鳥取城北高等学校相撲部

#### 1年 豊田 倫之亮

錬成大会を終えて、感じたことが沢山あってとてもいい経験ができた2日間でした。

1つめは、違う高校や教え子でもないのに応援して下さる人がいるということです。講師である成松先生や平野先生は、自分たち生徒に的確なアドバイスをくださいました。このように応援して下さる方々がいるので、もっと強くなって期待に応えたいです。

2つめは、長崎県から参加してくれた北松農業高校の生徒たちの挨拶や返事です。どんなに思い

通りにいかない取組みや満足できない時があっても、指導して下さる先生たちに聞こえる大きな返事をしていました。ただ強いだけではなく挨拶



鳥取県

や返事、礼儀などが今の自分たちに必要だと思いました。

このように錬成大会での経験を活かして、相撲だけではなくところを磨いて、優勝にふさわしいと思えるチームにしていきたいです。そして、錬成大会を支えてくれた方々や指導者の方々にも感謝を忘れず、頑張っていきたいです。

#### □青森県

##### ▽田舎館相撲クラブ中学3年 三浦 惺侑

まず、今回行われた相撲錬成大会では、普段の練習では相撲を取ることでできない相手と何番も取ることができて、いい経験になりました。講師の方々からも四股や実戦の技術を教えていただき、とても為になりました。稽古の後に食べたちゃんこはとても美味しかったです。

午後の部では、まず相撲の歴史と基本的な「蹲踞」や「礼法」「禁じ手」などを学びました。相撲の歴史は大体知ってはいましたが、順を追って説明した動画で、わかりやすく改めて相撲の歴史を振り返る事ができて良かったです。次のトレーニング講習では、良いトレーニング方法を学べたと思っています。特に「ブラジリアンスクワット」はとてもキツくて楽しいので自分も家でやるよう

になりました。

2日目の稽古では、初日よりも人数は減りましたが、木造高校の先輩の胸を借りて相撲を取りました。高校生と相撲を取り、高校相撲の重さと技術を学べて嬉しかったです。また、練習後にみんなでお風呂に入り最高でした。

今回の相撲錬成大会のような練習会は、色々な人と相撲が取れて良い経験になるので、2日連続とかではなくていいので、年に1、2回程度やれば、競技力の向上につながって良いと思います。貴重な合同稽古の機会をくださり、ありがとうございました。



青森県



青森県 錬成大会

# 空手道 指導者研修会・青少年錬成大会 実施報告・参加者感想文

## 【指導者】

No	開催地	会場	期間	参加人数	派遣講師
14	青森県(弘前市)	青森県武道館	2024年9月7日(土)～ 9月8日(日)	26	佐伯 進 渡邊純一
63	宮崎県(宮崎市)	ひなた武道館(宮崎県武道館)	12月21日(土)～ 12月22日(日)	38	相原智之 加藤英夫
64	広島県(広島市)	広島県立総合体育館	2025年1月11日(土)～ 1月12日(日)	79	佐伯 進 渡邊純一
65	徳島県(徳島市)	徳島県立中央武道館	1月12日(日)～ 1月13日(月)	28	信川邦明 金澤 実
71	福井県(福井市)	福井県立武道館	2月1日(土)～ 2月2日(日)	51	香川政夫 山口貴史
72	大分県(大分市)	クラサス武道スポーツセンター	2月1日(土)～ 2月2日(日)	137	信川義明 江尻昌弘
※中学校武道必修化特化型			計	359	

## 【青少年】

No	開催地	会場	期間	参加人数	派遣講師
34	北海道(千歳市)	北海道立総合体育センター	8月31日(土)～ 9月1日(日)	54	岡本沙織 船橋綾夏 大場瞬一
			計	54	



青森県 指導者研修会



## 指導者研修会

### □青森県

#### ▽青森南高校顧問 船越 信之

高体連空手道専門部に所属してから、本研修に参加するようになって8年ほどになる。私は元々四大流派とは別の流れを汲む道場にいたため、伝統派としての試合は高校時代と大学の1～2年と、短い期間しか経験がない。形にいたっては、基本形・指定形の手順しか知らなかった。そのような中でも空手道部の顧問を持続的に受け持つことができ、年3回の大会に審判として立つ機会をいただいている。自分の修練のヒントに、生徒の指導の指針に、大会での正しい判定のためと思えば、本研修には機会のある限りできるだけ参加しようと思っている。今年も有意義な時間を過ごすことができた。

1日目は指定形の注意点を、糸東流の形を佐伯先生から、和道流の形を渡邊先生からご指導いただき、形審査のポイントを改めて確認してからの審判実技を行った。前述のとおり、私自身は各流派について挙動の特徴がなんとなくわかるだけ

で、自分の中にある空手の基本はその複合型となってしまう。松濤館流の基本を自校コーチから生徒と一緒に習うことはできても、ほかの流派については普段は一人で試行錯誤するしかないため、各流派の理念・原則を知るヒントをいただけるのは非常にありがたいことだった。また、形を指導する際の効果的な方法や、形競技での減点ポイント、より高レベルの形にするための工夫など、普段の指導や自己の鍛錬にも役立つことを多く聞くことができた。形競技審査の実技ではまだまだ難しいところも多かったが、少しずつ判定ポイントが見えてきたように感じている。せめて基本形・指定形だけでも間違いなく判定できるまで鑑定眼を磨いていきたい。

2日目は明の星中学・高校の生徒のご協力のもと、組手競技の審判実技を行った。組手競技を審判に着目して見るというのは、本研修のような機会がないとなかなか難しい。全国・東北地区レベルの先生方の挙動・判定を見ることができるとともに、その工夫や考え方を聞かせていただくことで、自分がどのように考え、動くことが望ましい

かを学ぶことができた。参加当初はルール適用のそのものに苦しんでいた記憶があるが、今回は少し自信を持って判定を出すことができ、結果としてジャッジミスが減ったように自覚できた。

また、2日目の途中では3人審判制について、運用に関する講義と審判実技を受けることができた。高体連専門部でも今後の導入に向けて注目していただけに、他の高校教員と一緒に実際の3人審判制による試合を見ることができたことは大きい。主審や副審の高い力量が求められるため、実際の導入には留意点も多いが、導入できれば非常に有用だと思われるので、県高体連専門部で今後も検討をしていきたい。

本研修は、全国A審判を目指す先生から、私のように全空連ルールを一から学びたい指導者まで、県空手道連盟が幅広く声をかけてくださっていて、加福先生、工藤先生をはじめ多くの先生ともご指導をいただける貴重な場と感じている。今後も同じように、機会があれば参加し続け、空手道に対するより深く理解し、高校の部活動を通して空手道の普及に貢献していきたい。

#### □広島県

##### ▽広島県空手道連盟 中村祐実

一月十一日からの二日間、全国及び国際的に活躍されている中央講師の先生方から、組手審判員としての知識と技術を直接学ぶ貴重な講習会に参加しました。競技規定の変更点について、具体的な事例を交えながら詳細に説明していただき、審判員としての経験が浅い私でも理解しやすい内容

でした。

実技講習の際、先生方が繰り返し強調されていたのは、「選手はルールを熟知し、それを駆使して試合に臨んでいる。そのため、審判員がルールを正しく理解し、適切にジャッジを行わなければ、本当に実力のある選手が上位に進むことができなくなる」という点と、「礼節」の重要性についてでした。また、実技講習中には、私たちのジャッジに対して一つ一つ丁寧に指導くださり、共に審判員としての動きを実践しながら、「審判員とはこうあるべきだ」と体感させていただきました。

空手道は武道の一つであり、「礼に始まり、礼で終わる」競技です。道場生の未熟さは指導者である私たちの責任であり、非常に恥ずかしいことです。そのため、ルールの普及とともに指導を行う必要があると、深く感じました。

この二日間で得た知識を活かし、さらなる上位資格の取得を目指して努力していきます。



広島県 講義



広島県 指導者研修会 審判法

# 合気道 指導者研修会・青少年錬成大会 実施報告・参加者感想文

## 【指導者】

No	開催地	会場	期間	参加人数	派遣講師
4	香川県(高松市)	香川県立武道館	2024年6月8日(土)～ 6月9日(日)	58	栗林孝典 梅津 翔
5	宮城県(仙台市)	宮城県第二総合運動場	6月15日(土)～ 6月16日(日)	105	入江嘉信 有馬隼人
11	岩手県(盛岡市)	岩手県営武道館	8月31日(土)～ 9月1日(日)	46	櫻井寛幸 里館 潤
21	和歌山県(和歌山市)	和歌山県立武道館	9月21日(土)～ 9月22日(日)	68	森 智洋 藤田すみれ 園部 豊
22	広島県(広島市)	広島県立総合体育館	9月21日(土)～ 9月22日(日)	140	藤巻 宏 梅津 翔
35	※富山県(富山市)	県営富山武道館	10月19日(土)～ 10月20日(日)	50	金沢 威 中村仁美
43	愛媛県(松山市)	(公財)愛媛県スポーツ振興財団 愛媛県武道館	10月26日(土)～ 10月27日(日)	161	桂田英路 徳田 真
49	栃木県(宇都宮市)	栃木県総合運動公園武道館(ユウケイ武道館)	11月16日(土)～ 11月17日(日)	55	関 昭二 青木 巧
62	東京都(足立区)	東京武道館	12月21日(土)～ 12月22日(日)	84	大澤勇人 村田憲一郎
75	兵庫県(姫路市)	兵庫県立武道館	2025年2月15日(土)～ 2月16日(日)	96	横田愛明 小林 建 大頭一仁
※中学校武道必修化特化型				計	863

## 【青少年】

No	開催地	会場	期間	参加人数	派遣講師
33	千葉県(千葉市)	千葉県総合スポーツセンター 武道館	2024年8月24日(土)～ 8月25日(日)	27	梅津 翔 深浦徹也
				計	27

### 指導者研修会

#### □富山県

##### ▽玉木勝則

今回の研修のテーマは、中学校の体育授業で合気道を指導する際の方針や、指導上の注意点について学ぶことでした。

合気道を知らない中学生に対して技や受け身の動きを番号で教え、流れを理解させるという指導方法が紹介されました。この方法は非常にわかりやすく、道場で初心者に教える際にも役立つもので、普段何気なく行っている稽古の動きにも多くの気づきを得られました。

また、中学生は授業として合気道をするため、モチベーションが低い生徒や運動が苦手な生徒にも配慮する必要があり、全員が参加しやすい雰囲気を作ることの重要性も学びました。単なる技術指導にとどまらず、生徒全員が怪我なく楽しく取り組めるような工夫が求められ、指導者としては難しい部分だと感じました。

##### ▽富山合気会 上口 珠江

「しくじり先生」というテレビ番組をご存知でしょうか？自分の失敗談をもとに「しくじり回避法」を教えてくれる番組です。

今回、中央派遣講師としてご指導して下さった

金澤師範は、中学校での指導で経験された苦い失敗談を惜しみなく私達に伝えて下さいました。

金澤師範はその失敗を通して「合気道に興味がない子、運動が苦手な子こそ、気持ちを寄せて指導して欲しい」と伝えて下さいました。

勿論、上達が早い子がつまらなくなならないように気も配りながらですが、私は子どもの頃から運動音痴で体育の授業が毎回辛かったので体育の授業で金澤師範のような方に合気道を指導してもらっていたら体育の授業がもっと好きになっていたかなあと思いました。

金澤師範は「相手を感じる」ことの大切さも強調しておられました。普段の稽古で自分が「つながり」という言葉で理解しているものに近いと思いますが、「相手を感じる」という言葉に置き換えると、更に相手に寄り添い、相手を敬うニュアンスも加わるので、合気道を深められる良い言葉だなあと思いました。

指導者研修という名目でしたが、私が最近ずっと悩んでいた初歩中の初歩である、抑え技の受け、後ろ受け身、相手の手を持つときの握り方などを金澤師範が懇切丁寧に指導法を教えてくださいましたお蔭で、霽が晴れた気持ちになりました。指導法の研修を通して、このような収穫をいただき本当にありがたいです。



富山県 指導者研修会

中央講師の中村先生からは基本技の受け取りの系統だった大変わかり易い指導法を、地元講師の鳥先生からは遊び心をふんだんに取り入れた稽古法を、地元講師の上島先生からは基本技での姿勢や伸びのびとした無理のない動きがとても大切であることを教えていただきました。

「お金を払って合気道に興味を持っている人達が集まっている道場」と、「合気道への関心ゼロで、中にはイヤイヤそこに来ている中学生達が集まっている体育の授業」では全く指導法が変わってくる。中学校でどういった指導法を実際に行っていけば良いかを中学校での指導経験がある金澤師範、中村先生、鳥先生、上島先生から具体的に大変丁寧に教えていただきました。

いつか自分が実際に中学校へ赴き、生徒さんたちに指導する機会を恵まれたときには、金澤師範がおっしゃられていた大人の目線ではなく、子どもたちの目線で「合気道を教えるのではなく、合気道を通して子供達の成長をサポートするような気持ちで」取り組みたいです。

今回の研修会は公益財団法人日本武道館を始めとする様々な機関や人々の協力で成り立っています。

す、この研修会に関わって下さった全ての方に感謝いたします。

#### 青少年錬成大会

##### □千葉県

##### ▽八千代合気道友会 大木 悠矢

今回の地方青少年合気道錬成大会では、他の道場の方々や本部道場の先生方と稽古をすることができる、貴重な機会であり、様々な知識と経験を得ることができました。礼法指導では合気道についての知識や礼法等を改めて知ることができ、実技指導では基本的な動きのみであったため、自分のできること、できないことをより深く確認することができました。本部道場の先生方や他の道場の方々も、私ができているところをとても丁寧に教えてくださり、今回の錬成大会で得たものはとても大きいと感じました。また、一日中稽古をすることは私にとって初めての経験でした二日間に及ぶ錬成大会の終わりにはついていだけで精一杯になり、体力不足を痛感しました。そのため、これからは体力をつけて今回のような行事からより多くの経験を積む事ができる体作りをしたいと

思います。

▽八千代合気道友会 佐藤 康介

僕は、千葉県（千葉市）地方青少年合気道錬成大会に二日間、参加して、こんなにたくさん稽古をしたのは初めてだったので、疲れました。まず、勉強になった事は、合気道が最近の武道である事です。梅津先生が「お互いを尊重する和の心を養う武道」と教えてくれたのは、いつも八千代で教えてくれている吉川先生と同じ事を言っていたので、大切な事だな、と思いました。

次に、身についたのは、立ち方、座り方です。閉会式の時には、体が勝手に、右足から引いて、立ったり座ったりしていました。

実技では、前方回転受け身が上達したように思います。普段は、少ない人数で稽古していますが、この二日間は、たくさんの人に合わせて、勢いで受け身を取りました。すると、どんどん受け身が楽になっていきました。

次の錬成大会もあれば、参加していきたいです。



千葉県 錬成大会

# 少林寺拳法 指導者研修会・青少年錬成大会 実施報告・参加者感想文

## 【指導者】

No	開催地	会場	期間	参加人数	派遣講師
8	滋賀県(大津市)	滋賀県立体育館・武道館管理センター	2024年8月17日(土)～ 8月18日(日)	69	秋吉好美 村田素彦
13	宮崎県(宮崎市)	ひなた武道館(宮崎県武道館)	9月28日(土)～ 9月29日(日)	30	安田智幸 谷 聡士
15	山梨県(甲府市)	山梨県小瀬スポーツ公園武道館	9月7日(土)～ 9月8日(日)	71	渡部晶彦 高坂正治
16	鹿児島県(鹿児島市)	鹿児島県総合体育センター	9月7日(土)～ 9月8日(日)	39	土佐 久 益永 亮
18	大分県(大分市)	レノナック武道スポーツセンター	9月14日(土)～ 9月15日(日)	34	坂爪一也 夏川伸也
19	新潟県(上越市)	謙信公武道館(新潟県立武道館)	9月21日(土)～ 9月22日(日)	34	井上 弘 三井純一
20	奈良県(橿原市)	奈良県立橿原公苑	9月21日(土)～ 9月22日(日)	124	新井庸弘 斉藤政実 大内信弥
23	※福島県(福島市)	福島県宮あづま総合体育館	9月28日(土)～ 9月29日(日)	15	小井寿史 村瀬晃啓
27	長崎県(佐世保市)	長崎県立武道館	9月28日(土)～ 9月29日(日)	34	荒井章士 富田祐子
29	広島県(広島市)	広島県立総合体育館	10月5日(土)～ 10月6日(日)	54	迎田展孝 夏川伸也
30	栃木県(宇都宮市)	栃木県総合運動公園武道館(ユウケイ武道館)	10月12日(土)～ 10月13日(日)	24	梅野清嗣 岩城潤也
32	和歌山県(和歌山市)	和歌山県立武道館	10月12日(土)～ 10月13日(日)	54	中森清徳 谷 聡士
34	群馬県(渋川市)	群馬県総合スポーツセンター ALSOKぐんま武道館	10月19日(土)～ 10月20日(日)	56	松本好史 富田雅志
36	石川県(金沢市)	石川県立武道館	10月19日(土)～ 10月20日(日)	49	坂下 充 村瀬晃啓
41	長野県(佐久市)	長野県立武道館	10月26日(土)～ 10月27日(日)	47	新井庸弘 宮本 勉
44	北海道(札幌市)	北海道立総合体育センター	11月9日(土)～ 11月10日(日)	64	益永 亮 福家健司
46	兵庫県(姫路市)	兵庫県立武道館	11月9日(土)～ 11月10日(日)	58	渡辺待男 高坂正治
67	福岡県(福岡市)	福岡県立スポーツ科学情報センター	2025年1月18日(土)～ 1月19日(日)	155	湯浅裕二 宇都宮俊二 上杉嘉紀
69	宮城県(仙台市)	宮城県第二総合運動場	1月25日(土)～ 1月26日(日)	41	飯野貴嗣 村瀬晃啓
70	東京都(足立区)	東京武道館	2月1日(土)～ 2月2日(日)	34	林 正義 森川和仁
※中学校武道必修化特化型			計	1,086	

## 【青少年】

No	開催地	会場	期間	参加人数	派遣講師
55	静岡県(藤枝市)	静岡県武道館	2025年2月8日(土)～ 2月9日(日)	52	中島正樹 本間慎太郎
			計	52	



長野県 指導者研修会

## 指導者研修会

### □長崎県

#### ▽長崎県少林寺拳法連盟 理事長 才津 行弘

荒井先生は本部職員でベテラン指導員である一方で、富田先生は今回初めて派遣指導員として地方を回られることとなった新米指導員でしたが、日頃からスポーツ少年団で子どもたちの指導、道院で子どもから大人までの指導、そして大学コーチや本部学生指導員として大学生の指導にあたられ、その生活はほぼ毎日拳法の生活をされているということで、それは素晴らしい技術と指導力でした。

参加者からもその動きの冴えやキレ、説明力に「スゴイ」「かっこいい」「本物の技だ」との声があちらこちらから聞こえてきました。

お二人とも明るく、物腰の穏やかな方ですが、ひとたび技になるとピンと張り詰めた緊張感の中、隙のない構え、足運び、体捌き、体軸、正確さを併せ持ち、格好だけの技とは掛け離れた真に怖さを持った技を繰り出されることに、会場は緊張感に包まれた中で、楽しくも真剣に取り組んでいました。

指導体制としては、参加者を年齢で半分に分け、それぞれに1人ずつの先生がついていただき、1日目と2日目で交代する形を取りました。今回、55歳で分けることとなりましたが、そこには段位がバラバラとなり、段位の低い者にとっては難しくならないよう、先生方も高段位の難しい技はつかわず、指導いただきました。また、地元講師には段位が低い方へのフォローをしていただくことにより、派遣講師の指導をやりやすくしていただきました。

アンケートを行った結果、開催時期や施設への感想としては、9月末のまだまだ暑い時期ではあったが、エアコンを使用させていただいたことで、問題なく集中してとりくむことができたとの解答が半数以上から寄せられました。また、技術については前述の通り有意義なものとなったとの感想が多く、これまでで一番いい研修会だったとの意見も聞かれました。

#### ▽島原城南道院 飯塚久雄（地元講師）

荒井章士先生、富田祐子先生には、地域社会指導者研修会ではお世話になりました。

お陰様で充実した二日間を過ごすことが出来ました。

新井先生の講義ではWSKO加盟国への出張が

多いことや、講習会等を通じて少林寺拳法の普及発展に貢献されている事に改めて敬意を表します。

技術指導の場では受講生の質問にも丁寧に対応していただき攻者の仕方に対する守者の防御反撃が理にかなった操作により無理なく捌く事が出来る運歩法など学ぶ事が多い内容でした。何より中高年拳士が多い中での指導は参考になりました。

1日目に富田先生のクラスで拳士のサポートに入りましたが、先生の中心軸や相手との距離間隔、上虚下実の姿勢から技の説明時に一気に技の冴えと極めを行われた事に感動を覚えました。指導者としての大切な要素を学ばせていただきました。

受講者からも受講して良かった、内容が凄かったと感動の言葉を沢山聞くことが出来ました。

先生方の誠心誠意のご指導の賜物でございます。心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

#### ▽大村西道院 坂口勝浩（地元講師）

昨年に引き続き、今回も大きく「技術と指導力の向上」「指導者としての心構え」の2つについて学ぶことが出来ました。

「技術と指導力の向上」においては、丹田・正中線を意識した足捌き・体捌きなどをご指導いただき、基本となる動きをどれだけ精度良く自分の体に身につけることが大切であるか再確認できる内容であり、技術科目では最近全国的に誤解されているような技をピックアップして指導してもらい、技の成り立ちや相手をどう操作すればよいかを学ぶことができました。

「指導者としての心構え」においては、「これからの少林寺拳法」というテーマで各講師のこれまでの経験や自分の人生観を織り交ぜて講義して頂きました。

主な内容としては

- ①少林寺拳法が求める本当の強さとは
- ②変化する時代の中で少林寺拳法を通じてどう指導するか
- ③世界で普及する少林寺拳法
- ④少林寺拳法の教範からみた少林寺拳法の歴史など

これは我々指導者が忘れてはならない内容であったと思います。

最後に地域社会の於いて武道を通じ人間育成を目指す指導者として、基本の大切な歴史を振り返

ることの出来る素晴らしい研修会であったと思います。関係各位に感謝申し上げます。ありがとうございました。

#### □群馬県

##### ▽前橋高校支部監督 児島生昭

今回2日間の研修を受け新たな気付きと発見があった。印象に残ったものについて以下に述べる。全体講義 自分が初心のころあこがれた指導者に今の自分がなれているか？これは自分自身振り返ってハッとしました。生徒たちに対しその指導者のように接し厳しく優しく対応できているか改めて確認していきたいと感じた。自分の信じた道を歩く勇気について考えさせられた。それを実現するうえで、また周囲の人も含めどうやって幸せになっていくのかを考えて行動する必要性を改めて感じた。



群馬県 指導者研修会

技術 可動域を正したうえで、正しい動きの積み上げ、軸を意識した良い姿勢での動きの重要性を認識した。乱構えからの対応は為になった。五段技のおさらいが出来て良かった。

研修で得たものを支部に帰って展開したい。また講師の先生方がどこをポイントとしてどのように伝えてくれたのかを思い返し少しでも自分の指導方法に取り入れていきたい。

#### □福岡県

##### □福岡県少林寺拳法連盟 長崎慶人

令和7年1月18日と19日の二日間にわたって行われた本研修では、湯浅裕二先生、宇都宮俊二先生、上杉嘉紀先生をお迎えし、熱心なご指導をいただきました。受講者は主に20代から60代の有段者で、全体で155名が集まりました。特に20代の増加が見られ、今後の福岡県内の指導者育成に大きな力を与えることが期待されます。

受講者からは次の感想をいただきました。

上杉先生からは、ウォーミングアップ・トレーニングと基本、運用法修練方法についての指導を賜りました。ウォーミングアップでは回数を決めるよりも時間で区切る方法が提案されました。その理由は回数を一律にすると、体力の差によって所要時間や負荷に差が生じてしまうからで、合理性が理解できました。また、ペアを組んでゲーム感覚で行うメニューが多く、練習のマナー化を防ぐ効果があると感じました。コーチングについて



福岡県 指導者研修会



宮城県 指導者研修会



でも具体的に助言いただき、拳士の成長に役立つアイデアを教えてくださいました。

宇都宮先生からは、基本練習と資格別実技において柔法に関する指導をいただきました。拳の使い方や腰の力を使った突き方など、実践的な指導が非常に役立ちました。柔法の技のバリエーションについても多くの学びがあり、その奥深さに感銘を受けました。

湯浅先生は昨年の全国大会の責任者を務め、その経験を基にした講義が行われました。時代の変化に対応しつつも少林寺拳法創始者 開祖 宗道臣先生の教えを大切にすることの重要性が説かれ、社会の変化とともに道場の在り方について深く考える機会となりました。

研修会を通じて、日頃の修練の在り方や指導方法等を見つめなおす貴重な機会となったと感じています。研修会開催に向けてのご尽力誠にありがとうございました。

#### □宮城県

##### ▽安田百福

入門してからあっという間に二年が経ち、私は今春から三年生となる。練習内容を決定し、新入生に指導する立場となった。よりよい部活にしていきたいという期待、間違えたことを教えてしまわないかという不安の両方を抱きながら研修会に参加した。

この研修会は自分が培ってきた技術を見つめなおす機会となった。例えば背骨と腰を意識することで突きが鋭くなり、柔法では相手の体勢を崩しやすくなるといったことだ。加えて香川や東京の先生方と直接お会いできたことは大きな刺激と

なった。実際に技を掛けられ、また手を取りながら教えていただくことはオンラインではなしえないことだ。さらに指導の際、出来ていない部分だけ淡々と述べるのではなく、上手くなった点を細やかに指摘されていた点が印象的だった。

学んだ技術や指導のコツを自分の中で咀嚼し、全員が笑顔を交わしながら楽しく、そして正しい技術を身に付けられるチームにしたい。

#### ▽東北大学 天野 祐希

今回の研修では、基本的な技を様々なに応用できることを学んだ。例えば、内受一つでも、腕や体の使い方によって、弾いたり、受け流して相手を引き込んだり、相手を押さえ込んだり、様々な応用ができることが、とても印象的だった。また、構えるときは、相手の拳や足と、自分の手足が線で結ばれているようなイメージをもち、相手の手足の軌道上に自分の手足を置き、常に相手との間に障害物を置いておくようにすることが、護身術として効果的であることも、よく覚えておきたい。

部活での練習では、少林寺拳法を「競技」として捉えてしまいがちである。しかし、どうせなら私は「護身術」として少林寺拳法を使えるようになりたい。今回の研修は、少林寺拳法を護身術として意識し直す、とても良いきっかけになったように思う。

#### 青少年錬成大会

#### □静岡県

##### ▽坂澤 美季

他の道いんの人達といっしょに、基本をしたり、講話を開いたりできて、とても楽しい時間になりました。

講話では、きゃっかしょうこが世界の平和になることが分かり、私もきゃっかしょうこをして、

世界が平和になるようにしようと思いました。他の道いんのけんしと、練習できて、いつもより、楽しかったです。

他の道院の人達と、だんたいえんぶをやって、他の道院の人達の仲が深まりました。協力すると、こんなに仲が深められるということが分かりました。仲が深められて、とてもうれしかった(楽しかった)です。

またやりたいです。これからも楽しい少林寺拳法がききたらいいなと思いました。

#### ▽松原 清夏

私はこの二日間の講習会で、2つのことを学ぶことができました。一つ目は、考えてまとめることの難しさです。

一日目の団体演武の発表では、高校生として中学生や小学生をまとめて、演武を作らなくてはいけなかったけれど私は少しの案を出したり、たまに声をかけたりすることしかできませんでした。ほとんどのことをもう1人いた同じチームの高校生に任せてしまったのでこれからはもっと自身で考えて行動し、人をまとめる力をつけていきたいです。二つ目は、小林寺拳法を通した人と人とのつながりです。41ヶ国で言語は違うけれど、考え方が同じのため世界がつながっていることを学

びました。また世界の平和を守るために、挨拶などの小さなことから始め、心をひとつにし、楽しく修練に励みたいと思います。二日間で学んだことをこれからの修練に生かし、相手を知り、合わせ調和し、自分から進んで発言することを頭に入れてこれからも頑張っていきたいです。

#### ▽前原 未来

1日目は講義で心の成長の大切さを改めて学ぶことができました。少林寺拳法は心と体を鍛える武道であると確認しました。班ごとの団体演武では、練習のときから班のみんなで協力して演武を考えることができました。本番も思っていた以上の仕上がりになったので自分でも驚きました。団体演武の時は手を合わせると、動きを合わせやすくなると知ったので、実践してみたいです。

2日目は講義で世界とつながる少材手法について話し合いをしました。初めて話す人もいたのですが、思った以上にコミュニケーションをとることができ、意見を交換することができました。

まだ習ったことのない技が少ない回数しかかったことのない技がありましたが、理解が深まり、道場に帰ってからも練習してみようと思いました。



静岡県 錬成大会

# なぎなた 指導者研修会・青少年錬成大会 実施報告・参加者感想文

## 【指導者】

No	開催地	会場	期間	参加人数	派遣講師
3	神奈川県(横浜市)	シンコースポーツ神奈川県立武道館	2024年5月18日(土)～ 5月19日(日)	42	高橋登子 安井みどり
6	静岡県(藤枝市)	静岡県武道館	6月29日(土)～ 6月30日(日)	31	中村ゆり子 増田桂子
40	宮城県(仙台市)	宮城県第二総合運動場	10月26日(土)～ 10月27日(日)	20	大野京子 高橋登子
51	青森県(弘前市)	青森県武道館	11月23日(土)～ 11月24日(日)	30	吉井美恵子 渡辺明美
73	※茨城県(水戸市)	東日本技術研究所武道館	2月8日(木)～ 2月9日(金)	30	今浦千信 松井亮子
74	群馬県(太田市)	群馬県総合スポーツセンター ALSOKぐんま武道館	2025年2月15日(土)～ 2月16日(日)	12	小野恭子 安井みどり
77	山口県(山口市)	維新百年記念公園維新大晃アリーナ武道館	2月22日(土)～ 2月23日(日)	21	紫関譲子 田中千景
※中学校武道必修化特型				計	186

## 【青少年】

No	開催地	会場	期間	参加人数	派遣講師
1	群馬県(前橋市)	群馬県総合スポーツセンター ALSOKぐんま武道館	2024年5月3日(金)～ 5月4日(土)	15	芦川寿美 佐藤あき子
6	岩手県(盛岡市)	岩手県営武道館	6月15日(土)～ 6月16日(日)	43	葉山奈緒美 徳地昌代
9	茨城県(水戸市)	東日本技術研究所武道館	6月29日(土)～ 6月30日(日)	45	成田登代子 佐藤聖子
10	宮城県(仙台市)	宮城県第二総合運動場	7月6日(土)～ 7月7日(日)	22	廣瀬幸子 松井亮子
11	長野県(佐久市)	長野県立武道館	7月6日(土)～ 7月7日(日)	18	増田桂子 安田淳子
13	鹿児島県(南九州市)	鹿児島県総合体育センター	7月6日(土)～ 7月7日(日)	30	角 薫 安井みどり
14	山形県(山形市)	山形県武道館	7月13日(土)～ 7月14日(日)	115	笠原松美 芦川寿美
15	福島県(会津若松市)	福島県営あづま総合体育館	7月13日(土)～ 7月14日(日)	91	小野恭子 島崎智絵
17	神奈川県(横浜市)	シンコースポーツ神奈川県立武道館	7月20日(土)～ 7月21日(日)	84	谷本良子 芦川寿美
23	石川県(金沢市)	石川県立武道館	8月6日(火)～ 8月8日(木)	21	成田登代子 安井みどり
24	東京都(足立区)	東京武道館	7月31日(水)～ 8月1日(木)	231	成田登代子 笠原松美 今浦千信
27	千葉県(千葉市)	千葉県総合スポーツセンター 武道館	8月17日(土)～ 8月18日(日)	56	泉水孝子 鈴木 亘
38	※香川県(高松市)	香川県立武道館	9月28日(土)～ 9月29日(日)	32	笠原松美 濱岡紀久子
47	栃木県(宇都宮市)	栃木県総合運動公園武道館(ユウケイ武道館)	2025年1月25日(土)～ 1月26日(日)	37	増田桂子 吉井和代
48	鳥根県(松江市)	鳥根県立武道館	1月25日(土)～ 1月26日(日)	24	福岡知子 安田淳子
49	福岡県(福岡市)	福岡県立スポーツ科学情報センター	1月25日(土)～ 1月26日(日)	98	大野京子 高橋登子
50	沖縄県(那覇市)	沖縄県立武道館	1月25日(土)～ 1月26日(日)	46	廣瀬幸子 佐藤あき子
				計	1,008

## 指導者研修会

### □静岡

#### ▽菅谷 麻乃

なぎなたを習い始めて約30年経ち、社会人になって途中離れていた期間があり、久しぶりに復帰して、以前(昔の)のなぎなたと変わった事が多く、その変化にスムーズに対応出来ない自分に疑問・戸惑いが多く、なかなか自信が持てませんでした。大会では、なかなか旗も上がらず、反省点が多く、今度基本から見つめ直している最中での今回の研修で、終始「なるほど!」と思う事ばかりでした。競技者として、指導者としてくまらず「礼法」幼い頃から当たり前に行ってきた事を、1つ1つ丁寧に解説して頂き、次世代へこれからの子たちに伝えていかなければと思いまし

た。武道人として、礼はもちろん会場の使い方、道具の使い方、他者への敬意の示し方、なぎなただけでなく、日々の生活の中ですべて大切であり、きちんと伝えていきたいです。また、なぎなたを使う時の呼吸、これは正に今の自分に足りない、出来ていない事であり、1月に挑戦した四段の昇段試験で落ちた原因の1つだと思い、今一度基本を見直してお稽古に励んでいる最中です。呼吸をする事で、こんなに楽になきたが扱えるのかと益々楽しく追求したくなりました。呼吸を大事に、自然体で、無駄な力のないように、体さばき共にのキーワードを意識して、2日間で学んだ事を、身に付け、示して、後輩たちに伝えて、静岡県を強く!きれいに!育てていくお手伝い、サポートをしていきたいです。

今回は、貴重なご指導ありがとうございました。

#### ▽平松 信子

まずは礼法についての講義から始まり何気なく行っていたら所作も、意味や体の使い方を考えてみると改めて、こうするんだ、こうなるんだの発見からのスタートでした。スポーツとしての競技とは違う武道（なぎなた）の良い所も普段の生活の中でも活かさせていけたらと思います。この意味（これがなぎなたで良く言われる場合）や体の使い方というのは、なぎなたの基本動作を行っていく最も重要な事でそれを考えて、理解して一つ一つ行っていかなければならないのですが、いかに今まで、そこを考えないで、やっていたかという自分の反省点ばかり見つかってしまいました。体の使い方では、間違っただけの使い方をしていて無理のある動きになってしまったり体を痛めてしまうことにもなってしまいます。正しい体の使い方をしていけば、無理なく、無駄なく動くことができます。あとは、そこになぎなたの操作、手の使い方が入り呼吸をともなって動いていけば正しいなぎなたの振りや扱いにつながっていきます。仕かけ応じでは、一本一本の扱のすべき事を考えて、正しい打突、間合、呼吸を合わせていけば双方合わせる事ができるはずです。が、それがなかなか難しいところであり、そこに近づけられる様、努力、精神していかなければ、いけないなと思いました。指導する側になった場合でもやはり、わかりやすく、言葉で表現してあげることも大事だなと思います。全日本の素晴らしい講師の先生方をお迎えしてのご指導、大変有意義な研修会となりました、ありがとうございました。

#### ▽露木 育子

2日間の丁寧な御指導ありがとうございました。

はじめにお話くださった礼法の話がとても印象に残りました。礼の仕方や種類、そしてその必要性など、大変勉強になりました。

恥ずかしながら、私は今まで礼をする時の手の位置について、深く考えることなく動作を行っていました。これからは意識をして礼を行ったり、伝えたりしていきたいです。また礼法の大切さの話聞いて、武道の理念の中にある「人格を磨き、道徳心を高め、礼節を尊重する態度を養う」という言葉を思い出しました。武道の修練を積む者として恥ずかしくない態度で稽古に励んでいきたいです。

そして、武道で培った礼法を日常生活の中にも生かしていこうと思います。

仕かけ応じの技術の向上の研修では、様々な要点を細かく御指導くださり、ありがとうございました。中でも呼吸を意識して動作を行うと、緊張せずに伸びやかに体を動かせること、体さばきの時には、膝を意識して前へ出ること、突く時には、手よりも足を先に出すことによって、より前へ出られるところがわかり、今後に生かしていこうと思いました。

#### □宮城県

#### ▽佐藤 香代子

待ちに待った指導者研修会が開催され、派遣講師として、大野京子先生と高橋登子先生が御出で下さいました。

開会式の後、大野京子先生の「皆さん私とジャンケン」しましよの元気な声で研修会が、始ま



宮城県 指導者研修会

り八方振り、基本打突、防具を等着けての打突、しかけ応じ、全日本なぎなた連盟の形まで、正しいなぎなたを稽古するための基本を指導して頂きました。先生方のちょっとした、一言で、重心を何処に置くか、手の通い、などで、研修生の体の動きが見違えるようになり、まるで魔法使いのように感じました。

何時も自分なりに、呼吸、体の開き、手の内、など、気を付けて稽古に励んでいますが、いつの間にかずれていることがよくわかりました。このように、なぎなたが上手になりたいと気持ちが新たに成るような機会をいただき、講師の先生方武道館の皆様に感謝申し上げます

#### ▽すみれ会 菅原 千桜

二日間の研修を通してとても多くの事を学ばせて頂きました。

演技では、重心の掛け方、蹴り方、握り方など少し違うだけで最後の打突が変わり、綺麗に決まったと思っていても、実際には歪んでいる事がわかりました。大野先生の払いの後、全く力を入れる事なく自然に振り返し面を打つ事が出来て思わず感動の声をあげてしまいました。どのように払えば相手が上手く次の動作に移せるかなど、改めて演技の奥の深さと面白さ、学ぶ事の多さを痛感しました。また、基本動作で出来ていても防具になると難しく、一本になるための正確性やどん

な相手にでも自分が主体となる試合展開と脚力の大切さなどを学びました。

指導者として教室では相手の技量に合わせた指導を心掛ける事、そしてゲームなどを交えて子供でも楽しく練習を取り入れたいと思います。

今回ご指導頂いた事を自分の稽古だけではなく教室でも活かし、これからの宮城のなぎなたの発展に貢献していきたいです。遠方よりおいで下さった先生方、地元講師の方々、そして研修会の開催にご尽力下さった関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

#### □青森県

##### ▽青森県なぎなた連盟 加藤 なな実

今回の研修会は、中央講師の吉井先生と渡辺先生、地方講師の福井先生と近村先生の指導のもと、各地区で指導している方から未来の指導者である高校生までの31名で、2日間実施されました。

はじめに振りと足さばき、空間打突の確認を行いました。吉井先生はシンプルになぎなたを扱うことが大切とおっしゃっていて、実際に先生の体の使い方は簡単に扱っているように見えながらも、なぎなた自体にはとても重みを感じられました。

しかけ応じは、全体で1～5本目をモデル選手にやってもらい、先生方が留意点を指導する形で行った後、2班に分かれて6～8本目の留意点を



青森県 指導者研修会



茨城県 指導者研修会

教わりました。私も3本目のモデル選手としてご指導いただきました。たくさんの方を教えていただいたなかで、「体を使ってなぎなたを輝かせる」という吉井先生の言葉に衝撃を受けました。軸手を使ってなぎなたを振るなどの普段意識していることがなぎなたを輝かせることに直結していると気づくことができました。演技に限らず、なぎなたを扱うすべての時に必要な考え方なので、この言葉を意識して稽古に励みます。

12月に昇段審査を受ける人が全日本なぎなたの形を行っている間に、防具を着けての基本打突を渡辺先生に教えていただきました。私を含め、青森県の選手は打突時の姿勢が後傾している人が多いです。その改善方法として、前足に少しだけ力を入れて、後ろ足で床をつかむイメージで打突すると教わりました。特に、前足に力を入れるのは八相を構えるときから重要で、意識するのとしらないのでは攻め気が全く違うことを先生の姿勢の違いを見て、実感することができました。

現在私は指導する機会は少ないのですが、指導する立場になる際には、先生方のおっしゃっていた少ない言葉で留意点を伝えることを意識したいです。

この場を借りてあらためて講師の吉井先生と渡辺先生、地元講師の福井先生と近村先生、財団法人日本武道館はじめ研修の機会を設けてくださった関係各機関の皆様へ感謝申し上げます。

## □茨城県

### ▽ひたちなか市立大島中学校 教諭 宇地原 良二

私自身なぎなたのことは知っていて、試合競技や演技競技、リズムなぎなたなど見たことはありましたが、実際に体験する機会はほとんどありませんでした。実際に体験することで、なぎなたの奥深さを実感することができました。左右対称に

なぎなたを扱う動きや攻撃だけでなく、防御する形など剣道とはまた違った動きがあり、とても難しく日々の鍛錬で身に付けていくものだと感じました。また普段の体育授業ではあまり経験できない動きが多いので、生徒の運動機能の向上にも繋がっていくのではないかと思います。

中学生を対象とした授業を計画する際に、単元計画や学習内容、評価の観点がすでに計画されており取り組みやすい環境にあると感じました。さらに、なぎなたを知らない生徒たちのためにも、導入の際に有効な動画やなぎなたの動きを取り入れたゲームを紹介していただき、とても勉強になり、実際に刃先を当てて打突する練習では、「打つ」感覚や綺麗に打てた喜びを体験できて、生徒の楽しんでいる姿がイメージできました。このような貴重な体験をさせていただき本当にありがとうございました。本校でも、取り入れていきたいと思っています。

## ▽野田和美

令和6年度中学校武道授業特化型茨城県地域社会なぎなた指導者研修会が令和7年2月8日と9日に、東日本技術研究所武道館にて、中央講師として今浦千信先生、松井亮子先生をお迎えして開催されました。地元の中学の授業協力者や体育教師としてなぎなた授業を实践されている両先生の講話と模擬授業は大変興味深く、なぎなたの原点とは何かを考えさせられるものでした。地域クラブで活動している私達も年齢を問わず男女一緒にお稽古できるなぎなたは現代スポーツとしても魅力あるものと感じていますので、中学校でのなぎなた授業が益々広がることを願ってやみません。なぎなたの実技に関してもたくさんのお土産を頂きました。地元のクラブに持ち帰り皆で共有させていただきます。末筆とはなりましたが、このような機会を設けて下さった日本武道館を始めとする関

係者の皆様、そして講師の先生方に厚く御礼申し上げます。

#### ▽常陸大宮市なぎなた連盟 和地 雅子

今回の研修は「礼法を重視する」というご挨拶で始まりました。楽しさと礼法をどう実現するのか興味を持って研修に臨みました。

残心とは、打った後の「心身の構え」ですが、今浦先生は、残心は靴をそろえとかゴミを拾うなどのマナーに気づかせる事だと捉えていらっしゃいました。実技でも、細かい事にとらわれず、伸々動くことができる様な声かけが大切だと教えて下さいました。この様に楽しく、礼儀の大切さも教えて行く為には、指導者の力量が問われると思います。しっかりお稽古に励み、色々な生徒に対応できる様にしなければならないと感じました。

授業と稽古の狭間でご苦労されながら、なぎなたの競技人口を増やす為に、先生方がこの事業に取り組んでいらっしゃるのが分かりました。私がお役に立てる事には限りがありますが、その時の為に精進します。

#### □山口県

##### ▽周南市なぎなた連盟 荒井 督万

令和7年2月22日(土)～23日(日)

山口県維新公園維新大晃アリーナ 武道館

なぎなた指導者研修会

##### ○研修内容

1日目 午前

指導における、なぎなたに基本事項の確認や基本動作の確認。

1日目 午後

昇級・昇段審査の座学の確認。

全日本なぎなたの型と仕掛け応じに分かれた実技指導。

2日目 午前

練習における指揮方法と注意事項の指導。

演技一本目から五本目の指導における質疑応答。

2日目 午後

全日本なぎなたの型と仕掛け応じに分かれた実技指導。

##### ○研修を受けて所感

現在私の通っている教室では、最少は幼稚園から70代までの高齢の方が所属しており、幅広い年代の方に指示を出す機会があります。

その際 なかなか指示が通らず、適した説明はどうか、効果的な指示の出しの方法などないか模索しているところでした。

今回の研修を受け、なぎなたの歴史や文化、なぎなたを使う際の動きの意味など私自身が学んでいく必要があることを痛感しました。指導する対象の方々がなぎなたに興味を持ち、その意欲や姿勢を引き出す手法を考えること、また指導の際にはその指導に引き込む術を学ぶ事が必要不可欠ということを知る事ができました。得難い経験をさせていただいたことに感謝いたします。今回の指導者研修会の内容を参考に指導者としても 競技者としても研鑽を続けていきたいと思っております。

#### □群馬県

##### ▽伊勢崎千村

今回の指導者研修会では指導者としても、生徒としてもとてもたくさんの方を学ぶことができました。

自分では気付けないところ、普段意識していなかったところなどを適切に指摘していただいたことでしっかりと改善していくことができました。特に中段の姿勢を改善したことで他の動きもいつもより上手にできるようになり改めて中段の構えの重要性に気付くことができました。

人に教える時、相手はどのような事を嫌がるの



山口県 指導者研修会



か、どうすればモチベーションが上がるのか考えることが大切だということも教わりました。自分はまだ指導する立場になることはあまりありませんが、指導する立場になったときには自分を押し付けず、相手のペースや調子に合わせてやっていけるようにしたいです。今回は一日しか参加できませんでしたが、教えてもらったこと一つ一つを練習に活かしていけるように頑張りたいです。

#### ▽張替彩乃

研修会に参加をすると普段のお稽古で指導していただいている事以外の自分のクセなどに気がつくことができるのでこのような研修に参加でき、とても勉強になり楽しいです。

自分はまだ未熟なので指導できるレベルではありませんが教える側の立場になって研修を受けると動きの正確性だけではない視覚、聞く、考えるを頭を使いながら形にすることができず、一つずつ力を抜いて技を出していくこと、中段の構えを正しく構えることだけでも難しいと改めて実感したので、常に初心を忘れないようにこれからのお稽古に研修を活かしていきたいと思いました。

#### ▽井上 由里葵

今回、先生方の経験談から、発達障害、学習障害を持つお子さんのなぎなたの指導をしているというお話の中で、その子に合った言葉を探すのに苦労しているというお話があり、自分も今、特別支援級の担任をしていて、同じことを思っています。

「この言い回しだと、この子に届いた！」という達成感が味わえるのは、指導者でいることのやりがいかなと思いますし、「なぎなたって楽しいんだ」と実感してもらえるかどうかは指導者によって決まるのだということも、改めて考えさせられました。

また、実技でも今まで思っていた理屈に古いものがあり、常にアップデートをしていかないと選手としても、指導者としても勝つことができないと感じました。こういう研修や強化練習に積極的に参加し、常にアップデートをしていきたいと感じました。

#### 青少年錬成大会

##### □千葉県

#### ▽たかまつ よう

はじめてたくさんの人たちと、なぎなたのれん



千葉県 錬成大会

しゅうをしました。

自分より年上で上手なお兄さんやお姉さんたちが、はく力のある大きな声でれんしゅうをしているのを見て、すごいなと思い自分もがんばろうと思いました。

手のいちをいつもちゅういされるので、それをとくに気をつけてきゅうしんさで、うまくできるといいなと思います。

いつか、すずき先生みたいにかっこよくなぎなたができるようにがんばりたいです。

##### □宮城県

#### ▽榴岡教室 太田代 和奏

私はなぎなたが大好きです。そのため、もっと上手になりたいという思いで錬成会に参加しました。普段の稽古とすることは同じでした。ですが、一つ一つの動作を時間をかけてするというのは、絡まっていた紐がほどけるようにできなかったことが出来るようになりました。

私は八相尾の面を打つとき突き刺すような面を打ってしまうことが課題でした。ずっとそれについて稽古していましたが、どうすればいいのか分からず、意識していても正しい八相の面を打てて



宮城県 錬成大会

いませんでした。ですが、足の動きから丁寧に教えていただくと、なぜ今まで出来なかったのか、と思うほど、ずっと出来るようになりました。あの時の感動は今でも鮮明に覚えています。

なぎなたは、基本の一つ一つの動作が大切だということを改めて実感できました。このことを心に刻み、これからも稽古に励んでいこうと思います。

#### □神奈川県

##### ▽小学5年生 石川 煌

一日目、ぼくはうち返しをやりました。さいしょは、うち返しをしらず何もわかりませんでした。ですが、いろいろとおしえてもらったり覚えたおかげで、無事六つのわざのしかけとおうじを覚えることができました。

ほかに、自分より年上の中学生や高校生の方たちとたたかってもらえたので、とても前より成長したと思いました。

二日目、ぼくは前回行ったうち返しのふりかえりをして、前回うまくいかなかった所を直しました。そしてそのあと、防具をつけた高校生などの四名の方とたたかわせていただきました。年上のけいけんのある方とたたかわせてもらい、とてもよいけいけんになりました。

この二日間のけいけんで前よりあたらしいわざを知ったりおしえてもらえたりして、とても成長したと思います。

##### ▽小学5年生 岩下 華音

一日目、うち返しを目標にしてやりました。始めのうちは全然出来なくて、むずかしくていやだったけど、だんだん出来るようになり、うれしくなり楽しくなりました。二日目、応じたりしかけたりして楽しかったです。その次に、防具を着た先生方に、面、すね、どう、ふり返して面をうったりして楽しかったです。初めて面などをうったので、楽しかったです。日本代表の人と中高生たちがたたかっていた所を初めて見たので、「すごいな」と思いました。特に面、すねが速いと思いました。しかけ応じで、始めの位置にもどれなかったので、次からはちゃんともどれるようにがんばりたいです。

##### ▽小学6年生 市川 心春

今回初めて錬成大会に参加しました。なぎなたを始めた時から今まで一度も一日通して練習する事がなかったので、最初は他の人に付いていける

かどうか心配でした。でも、けいこが始まってからは、自分が思っていたより練習が出来ました。教えてくださる先生方や年上の方々のアドバイスがとても分かりやすく、自分では気が付かなかった自分のクセも直せるように注意できました。練習時間の中で、年下の子とペアを組んで練習する時間もありました。年上の方々からアドバイスももらっていたように自分も年下の子にしましたが、自分が思っていたよりもむずかしいことに気が付き、今までよりもっと分かりやすく教えられたらいいなと思いました。この体験を生かして、もっと上手に出来ればいいなと思います。

##### ▽中学2年生 渡會 望未

二日間の間でいろんなことが身につきました。先生みなさまのご指導がとてもわかりやすくとてもいいので楽しくなぎなたができました。防具ではかかりげいこなどの打ち方や基本のていねいな打ち方などがわかりました。二段打ちなどがむずかしかったですけど、この錬成会をとおして少し自信が持てました。えんぎでは、足の形や手の位置などのこまかい所をおせました。私は発声はまだ小さいのもっと声を大きくして迫力のあるえんぎにしたいです。楽しかったです。

##### ▽中学2年生 鈴野 花帆

この二日間は、私にとってとても有意義な時間になりました。一日目は、演技を中心にして先生方に細かいところまでご指導いただき、二日目は入退場から発声までのさらに細かい部分をご指導いただきました。また他校の方々とも一緒に練習できて、とても刺激をうけました。自分が知らなかった、気づけなかった部分までご指導いただけて、とてもよい経験になりました。これからの練習も、二日間で学んだことを忘れずに、励んでい



神奈川県 錬成大会

きたいです。

#### ▽高校1年生 磯崎 暖斗

僕は今回の錬成大会で学んだことがいくつもありました。例えば、演技練習の時はなぎなたを構える姿勢やきれいに足を動かす方法を、防具での打たせ稽古では足と同時に手を動かすことの重要性を、初めてのかかり稽古で変な打ち込みもしてしまったけれど、半身をして素早く打ち込むなんとなくのコツも、まだまだたくさんあります。普段の稽古では気付けないようなことも他の地区の人や上級者と練習することで自分の弱点を見つけられました。僕はこの錬成大会で見つけた弱点を今後の稽古の課題にし、改善していくことで少しでもうまくなるかなと思っています。

#### ▽高校1年生 岡崎 奈帆

中学を卒業してから中々お稽古に参加することが出来なかった中でのこの錬成大会は、本当に貴重な機会でした。ここでは、自分よりも年上の人、上手な人がたくさんいてすごく刺激になったし、そんな人達と二日間も過ごせたこと、先生のすばらしい指導を受けられたこと全てが嬉しく、やっぱりなぎなたっていいなと改めて感じた二日間でした。複数人で演技を見合っ、アドバイスをするという練習は特に私を成長させたと思います。自分よりも上手な人にアドバイスをするのは難しいことだったけど、自分の思ったことを素直に伝えることができました。この二日間は私になぎなたをもっと好きにさせました。これからも色々なことで忙しいけれど、少しの時間でもいいのでなぎなたは決してやめずに、続けていこうと思います。本当に、ありがとうございました。

#### ▽高校2年生 阿部 一乃

ずっと怖くて防具が二年間触れられず、自分で自分にプレッシャーをかけて避けてきていたが、高校二年生になって心機一転し、この錬成大会に参加してみると、本当に温かく教え迎え入れて下さった先生方や友達、そして初めて出会い話してくれた人たちのおかげで少し所か大きく克服することが出来ました。この練習では、普段は交わらない部活から参加してる人や、他のクラブなどの人たちとなぎなたを通してコミュニケーションを取りながら、気付かなかった事を指摘し合ったり、上手な人の演技を見て学び、自分にもう少し緊張感を持たせたり、仲良くなったり、本当に貴

重な機会であり充実していた二日間でした。ここで学んだこと、この先も自分の身にしっかり身に付くよう復習し、次の練習や大会に存分に生かしていけるように鍛錬していきたいです。本当にありがとうございました。

#### □東京都

#### ▽河野 里織

本大会では、昨年度を超える120名程度の受講生が参加し、中央講師として成田先生、笠原先生、今浦先生の3名、地元講師として荒川先生、中島先生の2名にご指導いただきました。

開会式での挨拶では、先生方から受講生に対して「なぎなたを楽しむ気持ち」の大切さを伝えていました。その話を聞いて、最初は少し硬かった受講生たちの表情が柔らかくなり、和やかな雰囲気です。1日目スタートしました。

経験豊富で数々の競技実績をお持ちの先生方の指導は、とても分かりやすく的確で、受講生たちは真剣に話を聞き、熱心に稽古に取り組んでいました。稽古は、礼法などの基礎的な内容から始まり、その後はレベルごとにグループに分かれて、それぞれのレベルに合わせた指導構成で進行されました。参加者の中には、最近なぎなたを始めたばかりの初心者もいましたが、講師の先生方は初心者にも分かりやすく丁寧に指導されており、終了後のアンケートでは「最初は不安だったが、レベルに合わせて教えていただき、楽しくなぎなたを学ぶことができた」という嬉しい言葉をいただきました。

経験者の受講生からも、「普段の練習ではやらないような稽古や知らなかった技を教えてもらって勉強になった」、「ずっと疑問に思っていたことが解決できた」、「自分の課題を把握することができた」など、各々が指導を受けたことにより進歩を感じられる充実した稽古になったことが伺えました。丁寧かつ熱心に指導される先生方の様子を見ていて、ご自身もなぎなたを楽しんでいることが感じられ、また若い世代に「なぎなたを楽しんでほしい」という熱い想いが伝わってくる二日間でした。

受講生たちにとっては、なぎなたの技術向上はもちろんのこと、同じ目標を持つ仲間との出会いや繋がりも増え、貴重な経験かつ心に残る楽しい



東京都 錬成大会

思い出になったことと思います。

今後も、今大会のような若い世代と中央講師の方との交流の機会を提供し、なぎなたを継続して楽しんでいただけることを心より願います。

最後に、ご協力いただいた中央講師の先生方、地元講師の先生方、東京都なぎなた連盟の皆様、そして（公財）日本武道館をはじめとする関係団体の皆様に、厚く御礼申し上げます。

#### □福岡県

▽福岡工業大学附属城東高等学校 2年 池田しずく

私は、1月25日（土）、26日（日）の2日間にわたってアクション福岡で開催された地方青少年なぎなた錬成大会に参加しました。錬成大会では、大阪府の大野京子先生、兵庫県の高橋登子先生から、丁寧にご指導いただきました。

1日目は基本打突のポイントに気をつけてじっくりと練習しました。先生方から教えていただいたポイントの正しい姿勢や元の手を意識を向けるだけで、技が大きく伸びやかになり、力強い有効打突を決めることができ、自分でも驚きました。

2日目は3月に地元福岡で開催される「若獅子

旗なぎなた大会」に向けてしかけ応じの練習をし、先生方から、ひじの位置や上体を上下に動かさないことなど、より良い演技にするためのアドバイスを直接いただきました。試合稽古では、先生方にも元立ちをしていただき、自分にとって最高の技を出し切ることができました。

この2日間、先生方のおかげで「明るく、楽しく、元気よく」なぎなたを学び、技の精度を高めることができました。他の参加者と共に最後まで頑張れたことも嬉しかったです。今回学んだことをこれからの練習に活かし、良い技を習得していくために日々練習を重ねていきたいと思います。



福岡県 錬成大会

# 銃剣道 指導者研修会・青少年錬成大会 実施報告・参加者感想文

## 【指導者】

No	開催地	会場	期間	参加人数	派遣講師
50	新潟県(上越市)	謙信公武道館(新潟県立武道館)	2024年11月16日(土)～ 11月17日(日)	23	佐藤 亨 近藤英治
57	福島県(福島市)	福島県営あづま総合体育館	12月5日(木)～ 12月6日(金)	51	中島克直 坂元 誠
60	鳥取県(米子市)	鳥取県立武道館	12月7日(土)～ 12月8日(日)	34	浦部聖二 好中大哲
※中学校武道必修化特化型			計	108	

## 【青少年】

No	開催地	会場	期間	参加人数	派遣講師
4	神奈川県(横浜市)	シンコススポーツ神奈川県立武道館	2024年6月8日(土)～ 6月9日(日)	92	小川 功 長谷川英昭
5	福岡県(福岡市)	福岡県立スポーツ科学情報センター	6月8日(土)～ 6月9日(日)	30	松本栄一郎 渋谷一幸
8	青森県(弘前市)	青森県武道館	6月29日(土)～ 6月30日(日)	31	佐藤 亨 山口あや子
19	鳥取県(米子市)	鳥取県立武道館	7月20日(土)～ 7月21日(日)	29	井澤継男 山崎恵介
29	愛知県(春日井市)	愛知県武道館	8月17日(土)～ 8月18日(日)	19	矢野 満 坂本 誠
43	兵庫県(姫路市)	兵庫県立武道館	11月3日(日)～ 11月4日(月)	11	浦部聖二 衛藤敬輔
			計	212	



福島県 指導者研修会



## 指導者研修会

### □福島県

#### ▽丹野 壘都

今回の研修会では、順を追って丁寧に説明してくださってとても分かりやすかったです。特に構えなどは、普段から意識をしないと身につかないものなのでこの研修会を機に意識しようと思いました。

教材を使った説明では、今まで思いつきもしなかった方法でとても驚いたと同時に、こんなに簡単な方法があったのかと思いました。普段教える際うまく伝わらないことが多いので私も分かりやすい教材を準備する必要があるとかんじました。

教材を使った体重の掛け方を学び、次に前後の動作を実施した為、踵に体重が乗っていると素早く動けず、先生の合図に素早く反応することができなかったので体重の掛ける位置はとても大事だと感じました。

次に打ち込みは、他部隊の方と剣を交えること

で、それぞれのいい部分が多くありとてもいい経験になりました。普段、同じグループで打ち込んでいるので気づかない部分がありました。多くの方と剣を交えることで体格の違いにより、その相手に対して真っ直ぐ突く方法なども教えていただきとても勉強になりました。

また、直突、脱突、下突と順を追って行ううちに難易度が変わり、最後に木銃の操作方法を稽古で、木銃を回すのがとても難しかったですし、大事だと感じました。少しの時間でも一人で錬成できるとおっしゃっていたので稽古前の少しの時間でも実施していこうと思いました。

最後にゲーム感覚で稽古できたのも、みんなで楽しみながら稽古することができました。

最後に、今回の研修会を受けて私が感じたことは、人に教えることは難しいので、どうすれば楽しんでもらえるか、覚えてもらえるかを考え指導、教育にあたる重要であること、そして銃剣道に限らず、基本が何よりも大切であり、手を抜い

てはいけないということを改めて感じました。正座の仕方等、細かい作法もありますが、細かい所だからこそ教える必要があるのだと感じました。

また、私は今、職場で人前に立ち指導する機会が増えました。そこで、言いたい事を言い忘れる、確実に教えようと思うあまり説明を多く話す、工夫などを考えてきたけれど実施し忘れてしまう等が多くあります。しかし、中島先生の指導は、声のトーン等で特に重要な部分を分かりやすく伝え、適度に休息を取り、受講者の飽きない時間計画、説明に偏らず、稽古の時間が多くありました。稽古の内容が切り替わる度、前の稽古の着眼もおっしゃっていただき、最初から最後まで意識して稽古することができ、指導においてもとても勉強になりました。

私も銃剣道訓練隊の一員として、私に足りない部分を見つけ、稽古する方法を教えてもらういい機会になりました。とても参考になる研修会でとても成長することができるいい機会でした。ありがとうございました。

#### □新潟県

##### ▽第二普通科連隊銃剣道訓練隊 新井諒平

今回の研修会に参加させて頂き色々な事を学ぶ事が出来ました。

一日目は、佐藤先生による、座学があり銃剣道の歴史などを学ぶ事が出来ました。銃剣道は日本発祥の武道だと思っていましたが、始まりはフランスからだ知り驚きました。また、国際的に銃剣道が、行なわれている事を知る事が出来ました。訓練隊では普段から基本の打ち込み、素振りなどを行っていますが、改めて色々な講師の方達にご指導して頂きました。特に木銃の持ち方や、かまへの姿勢、突いた後の右足の引きつけです、普段から左手は軽く握る様にしているのですが、打ち込みになるとどうしても力が入ってしまいます。佐藤先生が本当に軽くで良いと仰っていて、

実際やってみると左手に力が入っていないので木銃を細かく動かす事ができ、剣も早くなった様に感じました。

また、かまへの姿勢や、突いた後の右足の引きつけです。自分がかまへの時点で前傾姿勢になっていたのですが、創意工夫資材を使ったことにより自分の安定する姿勢を知ることが出来ました。突いた時の右足の引きつけが悪いのは、姿勢が悪いのもあるのですが、しっかりと右足で蹴れていないからです、右足で蹴る事により自然と右足が付いて来ていました。普段とはまた違った稽古の仕方、自分の癖などが解り改善することが出来ました。

2日目は、近藤先生による、足を使った稽古をしました、自分はまだ足の使い方が上手ありません。今回の稽古で自分の問題点を知ることができ、今後の練習に活かして行きたいと思いました。また、自分が教える立場になった際は今回学んだ事を活かして後輩育成に努めて行きたいと思っています。

##### ▽新潟県銃剣道連盟 長谷川 元

はじめに、新潟県の競技力は衰退の一途をたどっています。これは、初二段の会員が多く指導する立場の人材が育っていない現状がみられ、総合的な技術力の向上こそ銃剣道の発展に継がり、指導者の錬磨研鑽、指導力向上の必要性が大きいと考え指導者研修会を開催しました。

研修会の座学で、佐藤先生から今年度開催したベルギー研修会、国スポでの試合審判の講話がありました。

実技では、基本動作を中心に応用動作も基本的に行うなど姿勢と足さばきを重点に置き、常に姿勢を崩さない、右足の引付を意識するよう指導されました。地域に帰られましたら指導されたことを常に意識をし、指導に当たってもらいたいと思います。



新潟県 指導者研修会



鳥取県 指導者研修会

二日間と短い期間ではありましたが参加者にとって有意義な時間となりました。

#### □鳥取県

##### ▽第8普通科連隊 門脇 嵩嶺

今回の地域社会剣道、銃剣道指導者研修会に参加して、基本技、応用技、形など色々な事を細かく丁寧に教えて頂き、また、銃剣道未経験者に指導する際に注意する事、着眼点を教えて頂きすごく勉強になりました。

自分では正しい動作が出来ていると思っけても、正しい動作が出来てない箇所や理解が追いついていなかった動作があり、今回浦部講師をはじめとした中央講師、地元講師の先生方からのご指導で気づく事ができました。

この経験を活かし今後の銃剣道でも、理剣等を意識して教えて頂いた着眼点をもとに、練習していこうと思います。



この2日間はとても良い経験をする事ができました。ありがとうございました。

#### 青少年錬成大会

#### □青森県

##### ▽青森山田高等学校 雪田 怜央

今回の錬成大会では、基本動作の普段気にしていない細かいところまで学びました。

銃剣道を始めて間もないので、大変でしたが、木銃の扱いや足さばき応用動作の数々大変参考になりました。その中で、自衛隊の皆さんに突き受けてもらった練習がとても充実した練習になりました。

二日目の練習では、試合稽古で今までできなかった対外試合がすごく楽しかったし、ためになりました。

この二日間の練習で学んだことを活かして今後の練習に取り組んでいきたいと思っています。



青森県 錬成大会



鳥取県 錬成大会

また、今回お世話になった宿泊所はすごく快適でした。お風呂も気持ちがよく、食事も大変おいしく頂きました。本当にありがとうございました。

#### □鳥取県

##### ▽鳥取県立武道館 田中 悠聖

僕は、8月に日本武道館で開催される全日本少年少女武道錬成大会での上位入賞を目指しています。

そのためにこの錬成大会では、どんな相手であろうと必ず一本を取れるような剣をひたすら練習しました。練習相手は自分より年上で試合経験の多い人でしたが、普段は練習相手がいないのでうれしかったです。練習内容は基礎基本を中心とした内容で、それぞれが基本動作を見直すことで自分の課題や、他の選手から見習うところを見つけることができました。

今年は中国地区から多くの選手が参加してくれて、とても良い錬成大会になったと思います。僕は錬成大会を終えてから、全国大会までの時間をより大事に使おうと思うようになりました。大会では自分の力を発揮できるように集中して、優勝を目指してがんばります。

#### □愛知県

今回の錬成大会で非常に有意義であると感じたことが2つありました。一つ目は、普段の「試合

に勝つための練習」ではなく、礼儀作法から構えの姿勢、足さばきなど細かな部分まで、一つ一つ丁寧に練習することができたことです。改めて基本をしっかりと学べたことで初心に帰ることができました。

二つ目は、身近な先生だけではなく他県の先生に教えていただいたことで、新しい視点を得られたことです。最初の準備運動や基本動作の仕方など、いつもと違った方法で練習したので新鮮味を感じました。

また、中央講師の坂元先生から教えていただいた右払いと左払いで、初めて手がしびれるほどの衝撃を受けたのは良い経験でした。地元に戻って、先輩や後輩に手をしびれさすことを体験させてあげたいと思います。

2日間を通して、たくさんの課題が見つかりました。基本の動作（構え、直突、足さばき）をしっかりと固めて、これから応用技に生かせるように練習を積んでいきたい。練習方法でも一人でできるもの、二人でするものなど教えていただいたので、日々の練習で早速採り入れていきたいと考えています

中央講師、地元講師の先生方を始め、各県の先生に大変熱心に指導していただき、得るものがたくさんありました。本当にありがとうございました。

## 地方青少年武道錬成大会・地域社会武道指導者研修会 古武道模範演武



柳生宗家による演武

日本古武道協会では、全国都道府県立武道館協議会の協力を得て、地域社会武道指導者研修会・地方青少年武道錬成大会の会期中に、古武道の演武披露を行っている。これは、指導者や青少年が日本各地に伝わる郷土の文化としての古武道に触れて理解を深め、保存・継承の一助とすること、また、現代武道への更なる啓発を図ることを目的としている。

令和6年度は、香川県（高松市）のなぎなた錬成大会で直心影流薙刀術、宮城県（仙台市）の剣道指導者研修会で柳生新陰流兵法剣術、新潟県（上越市）の剣道指導者研修会で香取神道流剣術がそれぞれ演武を披露し、流派の歴史や技についての説明、技の体験が行われた。



直心影流薙刀術 秀徳会 会長 野崎房江

### ◇香川県（高松市）地方青少年なぎなた錬成大会

期日：令和6年9月28日（土）

会場：香川県立武道館

演武流派：直心影流薙刀術

#### 直心影流薙刀術 奥伝精神の巻 野崎房江

昨年9月28日、香川県高松市の香川県立武道館で開催の錬成大会において、中学・高校の生徒の皆さんに直心影流薙刀術の演武を披露する機会をいただきました。

昨年は、長引く猛暑で9月末になっても暑さが続く中、昭和の雰囲気息づく懐かしい空気感のある同武道館では、朝の爽やかな風が道場の気温を幸いにも和らげていました。

開会式後、流儀の歴史と技の特徴の説明を行い、薙刀の形4本と短刀の形1本を解説を入れながら演武を行いました。その後、生徒の皆さんを3班に分け、直心影流薙刀術の薙刀・短刀・木刀をローテーションして全員が用具に触れ、扱い方や所作を体験しました。最後に、生徒の代表3名が薙刀を持ち、直心影流薙刀術の演武披露をした私たち3名が木刀を持ち、相対で体験をした流儀の特徴である水車・風車の車返しの技を「エイ・トウ」の発声で、元気良く打ち、会場の皆様から温かい拍手をいただきました。

今回の経験を通して、生徒の皆さんが、現代武



模範演武



演武を見学する参加者たち



道のなぎなただけでなく、その原点となる古流薙刀にも関心を持つきっかけになることを期待しています。そして、世界に誇る日本の文化である現代武道も古武道も共に発展するよう協力が大切であることを実感しました。このような機会をいただき、心より感謝申し上げます。

刀法です。「真実之人」は「五常（仁義礼智信）」の心得がある人です。五常に「勇の事」を加えた六徳目は、新渡戸稲造が武士道の要とした「義と礼」に集約されます。武道を通して武士としての人格の陶冶が求められます。

「表太刀」の「三学円之太刀」「九箇之太刀」

◇宮城県（仙台市）地域社会剣道指導者研修会

期日：令和6年11月16日（土）

会場：宮城県第二総合運動場武道館

演武流派：柳生新陰流兵法剣術

**柳生新陰流兵法剣術 第二十二世宗家 柳生耕一厳信**

昨年11月16日から2日間にわたり宮城県仙台市において標記研修会が開催されました。研修会に先立ち、日本古武道協会の依頼で古武道の模範演武披露のほか、弊流の歴史、特徴、技の解説、体験会を行いました。



演武を解説する柳生宗家（右奥）

弊流は、約450年前に流祖上泉伊勢守から柳生石舟斎に印可相伝され、尾張藩で主な藩主と尾張柳生家当主が道統を継承してきました。

特徴は、心身の働きが自然であることを意味する「性自然」、相手に「迎え」を出し、相手から先に切り出させて勝つ「活人剣」を意味する「転」、印可状の文言「その上の儀は真実之人に寄るべき候」に由来する「真実之人」にあります。「性自然の働き」は、踏み込む足と切先の落ちる重力を合わせて太刀打を行う「一足一刀」「円相」の



袋竹刀の体験

「燕飛之太刀」と身体操作を訓練する「相雷刀八勢法」の解説とともに演武を披露しました。

最後に、我が中心線を相手の中心線に合わせ、やや遅れの彼我一拍子で我が中心線を切り、上太刀に打ち乗って勝つ「合撃」を袋竹刀を使用して皆様に体験していただきました。参加者の大部分が七段の高段者で、弊流の「合撃」について大変興味をお持ちになり、有意義な時間を持つことができました。

◇新潟県（上越市）地域社会剣道指導者研修会研修会

期日：令和6年12月7日（土）

会場：謙信公武道館（新潟県立武道館）

演武流派：天真正伝香取神道流剣術

天真正伝香取神道流剣術 極意相伝 京増重利

謙信公武道館（新潟県立武道館）で開催された新潟県（上越市）地域社会剣道指導者研修会において、当流の由来、流儀の解説、形の演武を披露し、現代武道のルーツである古武道への理解と保持・振興の一端を担いました。

日本武道の源流「天真正伝香取神道流剣術」は、今より約600年前に、飯篠長威斎家直公に依って創始され、以来、連綿と続き現在宗家二十代飯篠快貞に至っています。

当流には剣術、居合術、柔術、棒術、槍術、薙刀術をはじめ、奥には軍配法、築城法、天文地理や陰陽気学にまで至る総合武術として残されています。

戦国時代の流派であり、戦場で鎧を着用した技が多く、斬突の場所は甲冑の弱点、例えば、首、脇、小手の裏、腰の直ぐ上、内腿等を打ちます。稽古中武器と武器が激しく当たっていますが（実際には斬っている）、それは他から形を盗まれないためです。また、一本ごとの形が非常に長くつくられています。



薙刀を持って体験する研修生（中央右）



木刀を持って体験する研修生（左の2人）

現代武道である剣道指導者の方たちに、甲冑を想定した剣術や半身による構え、また、攻めどころが違う点などを披露し、我々が稽古で使っている、木刀、棒、薙刀、小太刀等を見たり、持っていたいただきました。薙刀は室町時代の流派なので長く重たいものです。今回は持ってこれなかった槍についても長く使い方も独特です。

このたび、日本古武道協会および新潟県（上越市）地域社会剣道指導者の皆様には、大変お世話になりました。

今後皆様のご多幸ご活躍を祈願いたします。



模範演武



筆者（右）による模範演武解説

# 令和7年度地域社会武道指導者研修会 開催一覧

No	開催地	会場	種目	期間	日数	参加人数(人)	派遣講師(人)
1	※山口県(山口市)	維新百年記念公園維新大見アリーナ・武道館	柔道	2025年5月15日(木)～5月16日(金)	2	20	2
2	神奈川県(横浜市)	シンコースポーツ神奈川県立武道館	なぎなた	5月17日(土)～5月18日(日)	2	50	2
3	島根県(松江市)	島根県立武道館相撲場	相撲	5月17日(土)～5月18日(日)	2	25	2
4	三重県(津市)	三重武道館	少林寺拳法	6月7日(土)～6月8日(日)	2	30	2
5	香川県(高松市)	香川県立武道館	合気道	6月14日(土)～6月15日(日)	2	70	2
6	岩手県(盛岡市)	岩手県営武道館	少林寺拳法	6月21日(土)～6月22日(日)	2	60	2
7	宮城県(仙台市)	宮城県第二総合運動場	合気道	6月21日(土)～6月22日(日)	2	120	3
8	岩手県(盛岡市)	岩手県営武道館	合気道	6月28日(土)～6月29日(日)	2	50	2
9	静岡県(藤枝市)	静岡県武道館	なぎなた	7月5日(土)～7月6日(日)	2	40	2
10	沖縄県(那覇市)	沖縄県立武道館 錬成道場	剣道	7月5日(土)～7月6日(日)	2	80	2
11	青森県(弘前市)	青森県武道館	少林寺拳法	7月12日(土)～7月13日(日)	2	30	2
12	福岡県(福岡市)	福岡市総合体育館弓道場	弓道	8月16日(土)～8月17日(日)	2	60	2
13	滋賀県(大津市)	滋賀県立武道館	少林寺拳法	8月23日(土)～8月24日(日)	2	80	2
14	青森県(弘前市)	青森県武道館	空手道	8月30日(土)～8月31日(日)	2	30	2
15	岩手県(盛岡市)	岩手県営武道館	弓道	8月30日(土)～8月31日(日)	2	40	2
16	山梨県(甲府市)	山梨県小瀬スポーツ公園武道館	剣道	2026年2月22日(日)～2月23日(月)	2	170	3
17	千葉県(千葉市)	千葉県総合スポーツセンター 武道館	合気道	9月6日(土)～9月7日(日)	2	170	3
18	静岡県(藤枝市)	静岡県武道館	少林寺拳法	9月6日(土)～9月7日(日)	2	80	2
19	長野県(長野市)	長野運動公園弓道場	弓道	9月13日(土)～9月14日(日)	2	35	2
20	奈良県(橿原市)	奈良県立橿原公苑(ジェイテクトアリーナ奈良)	少林寺拳法	9月20日(土)～9月21日(日)	2	140	3
21	福島県(福島市)	NCV ふくしまアリーナ	少林寺拳法	9月27日(土)～9月28日(日)	2	50	2
22	東京都(足立区)	東京武道館	弓道	9月27日(土)～9月28日(日)	2	60	2
23	山梨県(甲府市)	山梨県小瀬スポーツ公園武道館	少林寺拳法	10月4日(土)～10月5日(日)	2	80	2
24	島根県(松江市)	島根県立武道館	弓道	9月27日(土)～9月28日(日)	2	30	2
25	岡山県(玉野市)	玉野市営弓道場	弓道	9月27日(土)～9月28日(日)	2	30	2
26	熊本県(熊本市)	熊本武道館	少林寺拳法	9月27日(土)～9月28日(日)	2	50	2
27	大分県(大分市)	クラスス武道スポーツセンター	少林寺拳法	9月27日(土)～9月28日(日)	2	70	2
28	宮崎県(宮崎市)	ひなた武道館(宮崎県武道館)	少林寺拳法	9月27日(土)～9月28日(日)	2	50	2
29	栃木県(宇都宮市)	栃木県総合運動公園武道館(ユウケイ武道館)	少林寺拳法	10月11日(土)～10月12日(日)	2	30	2
30	広島県(広島市)	広島県立総合体育館剣道場	少林寺拳法	10月11日(土)～10月12日(日)	2	70	2
31	宮城県(仙台市)	宮城県第二総合運動場	弓道	10月18日(土)～10月19日(日)	2	30	2
32	群馬県(渋川市)	官田商会武道館渋川	少林寺拳法	10月18日(土)～10月19日(日)	2	60	2
33	富山県(富山市)	県営富山武道館	合気道	10月18日(土)～10月19日(日)	2	60	2
34	石川県(金沢市)	石川県立武道館	弓道	10月18日(土)～10月19日(日)	2	50	2
35	石川県(金沢市)	石川県立武道館	少林寺拳法	10月18日(土)～10月19日(日)	2	50	2
36	宮城県(仙台市)	宮城県第二総合運動場	なぎなた	10月25日(土)～10月26日(日)	2	30	2
37	長野県(佐久市)	長野県立武道館	少林寺拳法	10月25日(土)～10月26日(日)	2	60	2
38	大阪府(大阪市)	大阪城弓道場	弓道	10月25日(土)～10月26日(日)	2	60	2
39	愛媛県(松山市)	愛媛県武道館 柔道場	合気道	10月25日(土)～10月26日(日)	2	162	3
40	福井県(福井市)	大野市エキサイト広場	弓道	11月1日(土)～11月2日(日)	2	30	2
41	新潟県(上越市)	謙信公武道館(新潟県立武道館)	少林寺拳法	11月8日(土)～11月9日(日)	2	50	2
42	福井県(福井市)	福井県立武道館	相撲	11月8日(土)～11月9日(日)	2	20	2
43	兵庫県(姫路市)	兵庫県立武道館	少林寺拳法	11月8日(土)～11月9日(日)	2	100	2
44	宮城県(仙台市)	宮城県第二総合運動場	剣道	11月15日(土)～11月16日(日)	2	60	2

No	開催地	会場	種目	期間	日数	参加人数(人)	派遣講師(人)
45	福島県(郡山市)	郡山市開成山弓道場	弓道	11月15日(土)～11月16日(日)	2	40	2
46	栃木県(宇都宮市)	栃木県総合運動公園武道館(ユウケイ武道館)	合気道	11月15日(土)～11月16日(日)	2	70	2
47	埼玉県(上尾市)	リプロ武道館(埼玉県立武道館)	弓道	11月15日(土)～11月16日(日)	2	30	2
48	埼玉県(上尾市)	リプロ武道館(埼玉県立武道館)	合気道	11月15日(土)～11月16日(日)	2	80	2
49	埼玉県(上尾市)	リプロ武道館(埼玉県立武道館)	なぎなた	11月15日(土)～11月16日(日)	2	50	2
50	岐阜県(岐阜市)	岐阜メモリアルセンター弓道場	弓道	11月15日(土)～11月16日(日)	2	35	2
51	鳥取県(米子市)	鳥取県立武道館	剣道	11月15日(土)～11月16日(日)	2	70	2
52	鳥取県(米子市)	鳥取県立武道館	銃剣道	11月15日(土)～11月16日(日)	2	30	2
53	山口県(山口市)	維新百年記念公園維新大見アリーナ・武道館	合気道	11月15日(土)～11月16日(日)	2	50	2
54	栃木県(宇都宮市)	栃木県総合運動公園武道館(ユウケイ武道館)	弓道	11月22日(土)～11月23日(日)	2	40	2
55	愛媛県(松山市)	愛媛県総合運動公園弓道場	弓道	11月22日(土)～11月23日(日)	2	50	2
56	北海道(千歳市)	千歳市開基記念総合武道館	銃剣道	11月28日(金)～11月29日(土)	2	50	2
57	静岡県(藤枝市)	静岡県武道館	弓道	11月29日(土)～11月30日(日)	2	50	2
58	※島根県(松江市)	島根県立武道館	柔道	11月29日(土)～11月30日(日)	2	30	2
59	長崎県(佐世保市)	長崎県立武道館	少林寺拳法	11月29日(土)～11月30日(日)	2	60	2
60	大分県(大分市)	大洲運動公園大分弓道場	弓道	11月29日(土)～11月30日(日)	2	40	2
61	北海道(札幌市)	北海道立総合体育センター	少林寺拳法	12月6日(土)～12月7日(日)	2	100	2
62	茨城県(水戸市)	東日本技術研究所武道館	弓道	12月6日(土)～12月7日(日)	2	50	2
63	岡山県(岡山市)	岡山武道館	柔道	12月6日(土)～12月7日(日)	2	120	3
64	徳島県(徳島市)	徳島県立中央武道館	弓道	12月6日(土)～12月7日(日)	2	30	2
65	千葉県(千葉市)	千葉県総合スポーツセンター 武道館	なぎなた	12月13日(土)～12月14日(日)	2	50	2
66	高知県(高知市)	高知県立弓道場	弓道	12月13日(土)～12月14日(日)	2	30	2
67	鹿児島県(南九州市)	南九州市知覧体育館	なぎなた	12月20日(土)～12月21日(日)	2	30	2
68	福島県(福島市)	福島市南体育館	銃剣道	12月26日(金)～12月27日(土)	2	50	2
69	広島県(広島市)	広島県立総合体育館剣道場	空手道	2026年1月10日(土)～1月11日(日)	2	80	2
70	徳島県(徳島市)	徳島県立中央武道館	空手道	1月11日(日)～1月12日(月)	2	30	2
71	青森県(弘前市)	青森県武道館	なぎなた	1月17日(土)～1月18日(日)	2	30	2
72	北海道(旭川市)	東光スポーツ公園武道館	弓道	1月24日(土)～1月25日(日)	2	60	2
73	宮城県(仙台市)	宮城県第二総合運動場	少林寺拳法	1月24日(土)～1月25日(日)	2	50	2
74	三重県(津市)	三重武道館	空手道	1月24日(土)～1月25日(日)	2	30	2
75	静岡県(藤枝市)	静岡県武道館	合気道	1月31日(土)～2月1日(日)	2	70	2
76	山形県(山形市)	山形市総合スポーツセンター	なぎなた	2月7日(土)～2月8日(日)	2	20	2
77	大分県(大分市)	サイクルショップコダマ大洲アリーナ	空手道	2月7日(土)～2月8日(日)	2	100	2
78	※北海道(当別町)	当別町総合体育館	合気道	2月14日(土)～2月15日(日)	2	30	2
79	兵庫県(姫路市)	兵庫県立武道館	合気道	2月14日(土)～2月15日(日)	2	150	3
80	秋田県(秋田市)	秋田県立武道館	弓道	2月21日(土)～2月22日(日)	2	50	2
81	東京都(足立区)	東京武道館	合気道	2月28日(土)～3月1日(日)	2	90	2
					合計	4747	169

※中学校武道授業特化型

# 令和7年度地方青少年武道錬成大会 開催一覧

※講師名は順不同

No	開催地	会場	種目	期間	日数	参加人数(人)	派遣講師(人)
1	宮城県(仙台市)	宮城県第二総合運動場	なぎなた	2025年5月10日(土)～5月11日(日)	2	30	2
2	沖縄県(那覇市)	沖縄県立武道館 アリーナ	柔道	5月10日(土)～5月11日(日)	2	300	3
3	神奈川県(横浜市)	シンコースポーツ神奈川県立武道館	銃剣道	6月7日(土)～6月8日(日)	2	100	2
4	岩手県(盛岡市)	岩手県営武道館	なぎなた	6月14日(土)～6月15日(日)	2	80	2
5	青森県(弘前市)	青森県武道館	銃剣道	6月21日(土)～6月22日(日)	2	50	2
6	鳥取県(鳥取市)	鳥取城北高校相撲場	相撲	6月21日(土)～6月22日(日)	2	50	2
7	秋田県(秋田市)	秋田県立武道館	少林寺拳法	6月28日(土)～6月29日(日)	2	30	2
8	茨城県(水戸市)	東日本技術研究所武道館	なぎなた	6月28日(土)～6月29日(日)	2	60	2
9	和歌山県(和歌山市)	和歌山県立武道館	合気道	6月28日(土)～6月29日(日)	2	120	3
10	鳥取県(米子市)	鳥取県立武道館	銃剣道	6月28日(土)～6月29日(日)	2	30	2
11	岐阜県(岐阜市)	岐阜メモリアルセンター柔道場・剣道場	なぎなた	7月5日(土)～7月6日(日)	2	80	2
12	茨城県(水戸市)	東日本技術研究所武道館	弓道	7月12日(土)～7月13日(日)	2	50	2
13	長野県(佐久市)	長野県立武道館	なぎなた	7月12日(土)～7月13日(日)	2	20	2
14	岩手県(花巻市)	花巻市武徳殿	弓道	7月19日(土)～7月20日(日)	2	40	2
15	福島県(会津若松市)	河東総合体育館	なぎなた	7月19日(土)～7月20日(日)	2	100	2
16	愛媛県(松山市)	愛媛県武道館 副道場	銃剣道	7月21日(月)～7月22日(火)	2	18	2
17	石川県(金沢市)	石川県立武道館	柔道	7月24日(木)～7月25日(金)	2	150	3
18	石川県(金沢市)	石川県立武道館	剣道	7月24日(木)～7月25日(金)	2	100	2
19	神奈川県(横浜市)	シンコースポーツ神奈川県立武道館	なぎなた	7月26日(土)～7月27日(日)	2	100	2
20	愛媛県(松山市)	愛媛県武道館 柔道場	柔道	7月26日(土)～7月27日(日)	2	180	3
21	東京都(足立区)	東京武道館	なぎなた	7月31日(木)～8月1日(金)	2	120	3
22	山形県(上山市)	上山市体育文化センター	剣道	8月2日(土)～8月3日(日)	2	120	3
23	香川県(高松市)	香川県立武道館	弓道	8月2日(土)～8月3日(日)	2	40	2
24	鹿児島県(鹿児島市)	鹿児島県総合体育センター武道館柔道場	少林寺拳法	9月27日(土)～9月28日(日)	2	50	2
25	石川県(金沢市)	石川県立武道館	なぎなた	8月5日(火)～8月6日(水)	2	50	2
26	島根県(松江市)	島根県立武道館弓道場	弓道	8月9日(土)～8月10日(日)	2	40	2
27	福岡県(福岡市)	博多の森弓道場	弓道	8月9日(土)～8月10日(日)	2	100	2
28	山口県(山口市)	維新百年記念公園維新大見アリーナ・武道館	剣道	8月20日(水)～8月21日(木)	2	70	2
29	山口県(山口市)	維新百年記念公園維新大見アリーナ・武道館	弓道	8月20日(水)～8月21日(木)	2	30	2

No	開催地	会場	種 目	期 間	日数	参加 人数(人)	派遣 講師(人)
30	北海道（千歳市）	千歳市開基記念総合武道館	空手道	8月30日（土）～8月31日（日）	2	70	2
31	岡山県（岡山市）	岡山武道館	剣道	8月30日（土）～8月31日（日）	2	150	3
32	山梨県（甲府市）	山梨県小瀬スポーツ公園武道館	弓道	9月27日（土）～9月28日（日）	2	100	2
33	鳥取県（米子市）	鳥取県立武道館	柔道	9月27日（土）～9月28日（日）	2	110	2
34	沖縄県（那覇市）	沖縄県立武道館 アリーナ・錬成道場	剣道	9月27日（土）～9月28日（日）	2	300	3
35	滋賀県（大津市）	滋賀県立武道館	銃剣道	10月25日（土）～10月26日（日）	2	60	2
36	鹿児島県（鹿児島市）	鹿児島県総合体育センター武道館弓道場	弓道	11月1日（土）～11月2日（日）	2	50	2
37	宮崎県（宮崎市）	ひなた武道館（宮崎県武道館）	相撲	11月8日（土）～11月9日（日）	2	50	2
38	青森県（弘前市）	青森県武道館	相撲	11月15日（土）～11月16日（日）	2	30	2
39	埼玉県（上尾市）	埼玉県立武道館	空手道	11月15日（土）～11月16日（日）	2	100	2
40	宮崎県（都城市）	都城早水体育文化センター	弓道	11月15日（土）～11月16日（日）	2	50	2
41	福井県（福井市）	福井県立武道館	柔道	11月29日（土）～11月30日（日）	2	100	2
42	鹿児島県（霧島市）	桝志田体育館（霧島市国分体育館）	なぎなた	11月29日（土）～11月30日（日）	2	30	2
43	秋田県（秋田市）	秋田県立武道館	柔道	12月13日（土）～12月14日（日）	2	120	3
44	栃木県（宇都宮市）	栃木県総合運動公園武道館（ユウケイ武道館）	なぎなた	2026年1月24日（土）～1月25日（日）	2	45	2
45	島根県（松江市）	島根県立武道館	なぎなた	1月24日（土）～1月25日（日）	2	20	2
46	福岡県（福岡市）	福岡県立スポーツ科学情報センター	少林寺拳法	1月24日（土）～1月25日（日）	2	180	3
47	沖縄県（那覇市）	沖縄県立武道館第一・第二錬成道場	なぎなた	1月24日（土）～1月25日（日）	2	100	2
48	静岡県（藤枝市）	静岡県武道館	相撲	2月14日（土）～2月15日（日）	2	60	2
				合計		4,033	106

## 4 資 料

# 中学校武道必修化関連事業一覧（平成20～令和6年度）

## 本協議会主催事業 地域社会武道指導者研修会

No.	開催地	種目	期間	会場	参加人数	講師
平成20年度（3県・3カ所・153人参加）						
1	宮城県（仙台市）	剣道	11/15(土)～16(日)	宮城県第二総合運動場	52	藤井稔、菅波一元
2	島根県（松江市）	柔道	11/23(日)～24(月)	島根県立武道館	31	三戸範之、小澤雄二
3	秋田県（秋田市）	剣道	12/20(土)～21(日)	秋田県立武道館	70	本村清人、網代忠宏、浅見裕
平成21年度（6県・7カ所・312人参加）						
1	鹿児島県（鹿児島市）	剣道	6/13(土)～14(日)	鹿児島県総合体育センター	48	佐藤義則、軽米満世
2	福井県（福井市）	柔道	8/11(火)～12(水)	福井県立武道館	32	佐藤幸夫、鮫島元成
3	福井県（福井市）	剣道	8/11(火)～12(水)	福井県立武道館	33	脇本三千雄
4	栃木県（宇都宮市）	弓道	8/19(水)～20(木)	栃木県体育館弓道場	31	淵元魏、沖田春義
5	大分県（大分市）	柔道	11/12(木)～13(金)	大分県立総合体育館	44	本村清人、鮫島元成、向井幹博
6	群馬県（前橋市）	柔道	H22/1/6(水)	群馬県総合スポーツセンターぐんま武道館	61	鮫島元成
7	静岡県（藤枝市）	柔道	2/20(土)～21(日)	静岡県武道館	63	本村清人、向井幹博、渡邊冬花
平成22年度（10県・17カ所・840人参加）						
1	静岡県（藤枝市）	なぎなた	6/12(土)～13(日)	静岡県武道館	51	千葉眞弓、今浦千信
2	岩手県（盛岡市）	合気道	7/10(土)～11(日)	岩手県営武道館	54	菅原繁、鈴木孝次郎
3	福井県（福井市）	柔道	8/10(火)～11(水)	福井県立武道館	18	鮫島元成、檜崎教子
4	福井県（福井市）	剣道	8/10(火)～11(水)	福井県立武道館	8	山本重美、高橋秀夫
5	鹿児島県（鹿児島市）	剣道	8/26(木)～27(金)	鹿児島県総合体育センター	49	福本修二、佐藤義則
6	愛知県（名古屋市）	柔道	8/27(金)	愛知県武道館	30	山崎俊輔
7	熊本県（熊本市）	柔道	8/27(金)～28(土)	熊本武道館	48	鮫島元成、檜崎教子
8	岩手県（盛岡市）	弓道	8/28(土)～29(日)	岩手県営武道館	29	川村光良、高橋良子
9	熊本県（熊本市）	剣道	9/11(土)～12(日)	熊本武道館	76	末野栄二、藤田弘美
10	岩手県（盛岡市）	少林寺拳法	10/16(土)～17(日)	岩手県営武道館	98	山内謙三、永安正樹
11	大分県（大分市）	剣道	11/4(木)～5(金)	大分県立総合体育館	39	中田瑠士、軽米満世
12	山口県（山口市）	柔道	11/5(金)	維新百年記念公園スポーツ文化センター	54	鮫島元成
13	愛知県（名古屋市）	柔道	11/19(金)	愛知県武道館	29	山崎俊輔
14	茨城県（水戸市）	柔道	11/27(土)～28(日)	茨城県武道館	49	浅野哲男、腹巻宏一
15	静岡県（藤枝市）	弓道	12/4(土)～5(日)	静岡県武道館	76	淵元魏、高橋良子
16	兵庫県（姫路市）	剣道	H23/1/29(土)～30(日)	兵庫県立武道館	66	佐藤義則、軽米満世
17	兵庫県（姫路市）	なぎなた	1/29(土)	兵庫県立武道館	66	砂川邦子、一川治子
平成23年度（1府12県・15カ所・727人参加）						
1	鳥取県（米子市）	柔道	5/14(土)～15(日)	鳥取県立武道館	59	鮫島元成、檜崎教子
2	茨城県（水戸市）	剣道	5/22(日)	茨城県武道館	30	佐藤義則、有田祐二
3	茨城県（水戸市）	少林寺拳法	6/12(日)	茨城県武道館	45	秋吉好美、乾秀樹
4	福井県（福井市）	柔道	6/30(木)～7/1(金)	福井県立武道館	71	浅野哲男、向井幹博
5	福井県（福井市）	剣道	6/30(木)～7/1(金)	福井県立武道館	29	末平佑二、軽米満世
6	岩手県（盛岡市）	合気道	7/9(土)～10(日)	岩手県営武道館	76	植芝充央、日野皓正
7	大阪府（大阪市）	なぎなた	7/28(木)～29(金)	大阪市中央体育館	46	大野京子、村上礼
8	栃木県（宇都宮市）	弓道	8/17(水)～18(木)	栃木県体育館	50	池田喬二、高橋良子
9	宮城県（仙台市）	剣道	8/19(金)	仙台市立松陵中学校	29	佐藤義則、有田祐二
10	愛知県（名古屋市）	少林寺拳法	10/9(日)～10(月)	愛知県武道館	56	合田雅彦、向田弘之
11	島根県（松江市）	柔道	10/27(木)～28(金)	島根県立武道館	64	尾形敬史、向井幹博
12	鹿児島県（鹿児島市）	少林寺拳法	10/29(土)～30(日)	鹿児島県総合体育センター	65	田原正晴、永安正樹
13	山口県（山口市）	剣道	11/11(金)	維新百年記念公園スポーツ文化センター	31	小久保昇治、藤田弘美
14	秋田県（秋田市）	合気道	11/26(土)～27(日)	秋田県立武道館	52	金澤威、日野皓正
15	和歌山県（九度山町）	なぎなた	11/26(土)～27(日)	九度山文化スポーツセンター	24	福田啓子、今浦千信

平成24年度 (1府14県・22力所・969人参加)						
1	鳥取県 (米子市)	柔道	5/19(土)~20(日)	鳥取県立武道館	67	浅野哲男、高橋健司
2	静岡県 (藤枝市)	なぎなた	6/9(土)~10(日)	静岡県武道館	57	成田登代子、中緑
3	福井県 (福井市)	柔道	6/28(木)~29(金)	福井県立武道館	18	射手矢岬、腹巻宏一
4	福井県 (福井市)	剣道	6/28(木)~29(金)	福井県立武道館	17	小久保昇治、神崎浩
5	茨城県 (水戸市)	なぎなた	7/28(土)~29(日)	茨城県武道館	45	高田まりこ、佐藤静子
6	兵庫県 (姫路市)	柔道	7/31(火)~8/1(水)	兵庫県立武道館	68	浅野哲男、山崎俊輔
7	兵庫県 (姫路市)	剣道	8/15(水)~16(木)	兵庫県立武道館	24	小久保昇治、藤田弘美
8	栃木県 (宇都宮市)	弓道	8/16(木)~17(金)	栃木県体育館	46	小澤通春、高橋良子
9	岩手県 (奥州市)	弓道	8/25(土)~26(日)	奥州市水沢弓道場	34	加藤出、高橋良子
10	静岡県 (藤枝市)	少林寺拳法	8/25(土)~26(日)	静岡県武道館	59	田原正晴、向田弘之
11	奈良県 (橿原市)	剣道	8/27(月)	奈良県立橿原公苑	43	佐藤義則、山田博子
12	大阪府 (大阪市)	柔道	8/27(月)~28(火)	大阪府立修道館	59	尾形敬史、石川美久、鯨島康太
13	岩手県 (盛岡市)	柔道	10/6(土)~7(日)	岩手県営武道館	100	浅野哲男、山崎俊輔
14	宮城県 (仙台市)	柔道	10/9(火)	宮城県第二総合運動場	57	浅野哲男、山崎俊輔
15	宮城県 (仙台市)	剣道	10/12(金)	宮城県第二総合運動場	16	小久保昇治、佐藤義則
16	鹿児島県 (鹿児島市)	空手道	10/27(土)~28(日)	鹿児島県総合体育センター	45	金澤実、日下修次
17	山口県 (山口市)	柔道	11/1(木)	維新百年記念公園スポーツ文化センター	32	浅野哲男、向井幹博
18	福岡県 (福岡市)	柔道	11/8(木)~9(金)	福岡県立スポーツ科学情報センター	30	鯨島元成、山本浩貴
19	福岡県 (福岡市)	剣道	11/8(木)~9(金)	福岡県立スポーツ科学情報センター	21	佐藤義則、軽米満世
20	茨城県 (水戸市)	空手道	11/25(日)	茨城県武道館	53	柳田俊介、日下修次
21	富山県 (富山市)	合気道	12/1(土)~2(日)	県営富山武道館	59	菅原繁、徳田雅也
22	香川県 (高松市)	なぎなた	12/8(土)~9(日)	香川県立武道館	19	高田まりこ、芦川寿美
平成25年度 (9県・12力所・472人参加)						
1	福島県 (会津若松市)	なぎなた	5/11(土)~12(日)	ふれあい体育館	65	小林静子、小倉洋子
2	鳥取県 (鳥取市)	柔道	5/25(土)~26(日)	鳥取市武道館	43	鯨島元成、坂本道人
3	茨城県 (水戸市)	少林寺拳法	7/13(土)~14(日)	茨城県武道館	59	藤本義政、中島正樹
4	兵庫県 (姫路市)	柔道	7/30(火)~31(水)	兵庫県立武道館	46	山崎俊輔、浅野哲男
5	茨城県 (水戸市)	剣道	8/3(土)	茨城県武道館	49	花澤博夫、軽米満世
6	兵庫県 (姫路市)	剣道	8/14(水)~15(木)	兵庫県立武道館	15	宮原昇治、山田博子
7	栃木県 (宇都宮市)	弓道	8/17(土)~18(日)	栃木県体育館	47	小澤通春、張替謙一
8	宮城県 (仙台市)	柔道	8/20(火)	宮城県第二総合運動場	11	尾形敬史、石川美久
9	宮城県 (仙台市)	剣道	8/22(木)	宮城県第二総合運動場	11	井上孝、藤田弘美
10	佐賀県 (小城市)	少林寺拳法	10/19(土)~20(日)	三日月体育館	61	大野木憲三、合田雅彦
11	山口県 (山口市)	柔道	11/7(木)~8(金)	維新百年記念公園スポーツ文化センター	35	鯨島元成、腹巻宏一
12	愛知県 (名古屋)	なぎなた	12/21(土)~22(日)	愛知県武道館	30	福田啓子、松井亮子
平成26年度 (8県・11力所・463人参加)						
1	鳥取県 (米子市)	柔道	5/24(土)~25(日)	鳥取県立武道館	51	平野弘幸、腹巻宏一
2	静岡県 (藤枝市)	なぎなた	6/21(土)~22(日)	静岡県武道館	42	榎戸二三枝、今浦千信
3	鹿児島県 (鹿児島市)	なぎなた	7/5(土)~6(日)	鹿児島県総合体育センター	28	大野京子、小嶋弘美
4	茨城県 (水戸市)	剣道	8/2(土)	茨城県武道館	37	吉崎勝、長谷川弘一
5	兵庫県 (姫路市)	剣道	8/13(水)~14(木)	兵庫県立武道館	22	上垣功、神崎浩
6	兵庫県 (姫路市)	柔道	8/26(火)~27(水)	兵庫県立武道館	10	山崎俊輔、浅野哲男
7	宮崎県 (宮崎市)	柔道	9/27(土)~28(日)	宮崎県武道館	39	鯨島元成、小志田憲一
8	鹿児島県 (鹿児島市)	弓道	10/4(土)~5(日)	鹿児島アリーナ	58	柴田猛、田中恵美子
9	山口県 (山口市)	柔道	11/6(木)~7(金)	維新百年記念公園スポーツ文化センター	26	鯨島元成、石川美久
10	山口県 (山口市)	剣道	11/6(木)~7(金)	維新百年記念公園スポーツ文化センター	25	藤原崇郎、牧瀬憲保
11	埼玉県 (上尾市)	少林寺拳法	11/15(土)~16(日)	埼玉県立武道館	125	松井邦彦、中島正樹

平成27年度 (4県・7カ所・221人参加)						
1	兵庫県 (姫路市)	柔道	8/4(火)~5(水)	兵庫県立武道館	35	山崎俊輔、田中裕之
2	兵庫県 (姫路市)	剣道	8/12(水)~13(木)	兵庫県立武道館	11	百鬼史訓、軽米満世
3	栃木県 (宇都宮市)	弓道	8/17(月)~18(火)	栃木県体育館 弓道場	36	久保田清、桑田秀子
4	山口県 (山口市)	柔道	11/5(木)~6(金)	維新百年記念公園スポーツ文化センター	17	浅野哲男、腹巻弘一
5	山口県 (山口市)	剣道	11/5(木)~6(金)	維新百年記念公園スポーツ文化センター	13	末平佑二、吉村哲夫
6	鳥取県 (鳥取市)	柔道	11/7(土)~8(日)	鳥取市武道館	62	鮫島元成、中西美智子
7	兵庫県 (姫路市)	少林寺拳法	H28/1/30(土)~31(日)	兵庫県立武道館	47	合田雅彦、川島一浩
平成28年度 (6県・9カ所・284人参加)						
1	鹿児島県 (鹿児島市)	少林寺拳法	5/28(土)~29(日)	鹿児島県総合体育センター	51	松井邦彦、合田雅彦
2	山口県 (山口市)	柔道	6/16(木)	維新百年記念公園スポーツ文化センター	17	鮫島元成、磯村元信
3	山口県 (山口市)	剣道	6/16(木)	維新百年記念公園スポーツ文化センター	21	百鬼史訓、軽米満世
4	静岡県 (藤枝市)	なぎなた	7/16(土)~17(日)	静岡県武道館	44	佐藤静子、安井みどり
5	兵庫県 (高砂市)	柔道	8/2(火)~4(木)	高砂市総合体育館	19	山崎俊輔、鮫島康太
6	栃木県 (宇都宮市)	弓道	8/17(水)~18(木)	栃木県体育館 弓道場	38	中塚祥一郎、戸羽久之
7	兵庫県 (高砂市)	剣道	8/17(水)~19(金)	高砂市総合体育館	13	山根大二郎、山田博子
8	鳥取県 (米子市)	柔道	11/5(土)~6(日)	鳥取県立武道館	65	鮫島元成、中西美智子
9	鹿児島県 (枕崎市)	なぎなた	12/17(土)~18(日)	鹿児島県立枕崎高等学校体育館・総合学館	16	角薫、今浦千信
平成29年度 (3県・6カ所・144人参加)						
1	山口県 (山口市)	柔道	6/15(木)~16(金)	維新百年記念公園スポーツ文化センター	25	磯村元信、石川美久
2	山口県 (山口市)	剣道	6/15(木)~16(金)	維新百年記念公園スポーツ文化センター	20	百鬼史訓、軽米満世
3	兵庫県 (西宮市)	柔道	8/2(水)~4(金)	兵庫県立総合体育館	15	山崎俊輔、鮫島康太
4	兵庫県 (尼崎市)	剣道	8/15(火)~17(木)	尼崎市ベイコム総合体育館	9	藤原崇郎、山根大二郎
5	鹿児島県 (鹿児島市)	空手道	H30/1/20(土)~21(日)	鹿児島アリーナ	28	日下修次、小山正辰
6	兵庫県 (姫路市)	なぎなた	2/17(土)~18(日)	兵庫県立武道館	47	中村ゆり子、今浦千信
平成30年度 (4県・6カ所・185人参加)						
1	山口県 (山口市)	柔道	6/13(水)~14(木)	維新百年記念公園スポーツ文化センター	15	鮫島元成、磯村元信
2	山口県 (山口市)	剣道	6/13(水)~14(木)	維新百年記念公園スポーツ文化センター	33	目黒大作、花澤博夫
3	鹿児島県 (鹿児島市)	弓道	6/23(土)~24(日)	鹿児島県総合体育センター	64	久保田清、桑田秀子
4	兵庫県 (姫路市)	柔道	8/1(水)~3(金)	兵庫県立武道館	22	磯村元信、鮫島康太
5	広島県 (広島市)	なぎなた	8/11(土)~12(日)	広島県立総合体育館	35	泉水孝子、今浦千信
6	兵庫県 (姫路市)	剣道	8/15(水)~17(金)	兵庫県立武道館	16	水田重則、渡邊香
令和元年度 (4県・6カ所・134人参加)						
1	山口県 (山口市)	柔道	6/4(火)~5(水)	維新百年記念公園維新大晃アリーナ	15	田中裕之、遊佐英徳
2	山口県 (山口市)	剣道	6/4(火)~5(水)	維新百年記念公園維新大晃アリーナ	23	水田重則、軽米満世
3	兵庫県 (姫路市)	柔道	7/31(水)~8/2(金)	ウインク武道館 (兵庫県立武道館)	18	熊野真司、與儀幸朝
4	兵庫県 (姫路市)	剣道	8/7(水)~8/9(金)	ウインク武道館 (兵庫県立武道館)	4	山根大二郎、吉村哲夫
5	福島県 (福島市)	少林寺拳法	10/5(土)~6(日)	福島県トラック協会レクリエーション施設	36	中島正樹、高坂正治
6	鹿児島県 (鹿児島市)	少林寺拳法	11/16(土)~17(日)	鹿児島県総合体育センター	38	中島正樹、高坂正治
令和2年度						
※5県・7カ所で開催する予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、全事業が中止。						
令和3年度 (3県・3カ所・67人参加)						
1	静岡県 (藤枝市)	なぎなた	7/10(土)~11(日)	静岡県武道館	27	鳥名きよみ、濱岡紀久子
2	兵庫県 (姫路市)	柔道	8/3(火)~4(水)	兵庫県立武道館	11	磯村元信、向井幹博
3	岩手県 (盛岡市)	空手道	R4/1/22(土)~23(日)	岩手県営武道館	29	日下修次、松原 光
※6県・8カ所で開催する予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、5カ所が中止。						
令和4年度 (5県・6カ所・169人参加)						
1	山口県 (山口市)	柔道	5/18(水)~19(木)	維新百年記念公園維新大晃アリーナ武道館	12	高橋進、田中裕之
2	山口県 (山口市)	剣道	5/18(水)~19(木)	維新百年記念公園維新大晃アリーナ武道館	18	大城戸功、佐藤誠
3	静岡県 (藤枝市)	少林寺拳法	9/10(土)~11(日)	静岡県武道館	78	新井庸弘、倉本亘康

4	福島県（福島市）	少林寺拳法	9/24(土)～25(日)	福島県トラック協会レクリエーション施設	9	高坂正治、小井寿史
5	広島県（広島市）	なぎなた	10/29(土)～30(日)	広島県立総合体育館	36	今浦千信、廣岡奈緒美
6	鹿児島県（南九州市）	なぎなた	12/17(土)～18(日)	南九州市知覧体育館	16	今浦千信、吉井和代
<b>令和5年度（3県・5カ所・181人参加）</b>						
1	山口県（山口市）	柔道	5/17(水)～18(木)	維新百年記念公園維新大晃アリーナ武道館	15	木村昌彦、田中裕之
2	山口県（山口市）	剣道	5/17(水)～18(木)	維新百年記念公園維新大晃アリーナ武道館	18	水田重則、小山正洋
3	静岡県（藤枝市）	なぎなた	7/1(土)～2(日)	静岡県武道館	36	与語美恵、松井亮子
4	静岡県（藤枝市）	少林寺拳法	9/23(土)～24(日)	静岡県武道館	90	高坂正治、谷聡士
5	福島県（福島市）	少林寺拳法	10/14(土)～15(日)	福島県トラック協会レクリエーション施設	22	小井寿史、安田智幸
<b>令和6年度（4県・5カ所・130人参加）</b>						
1	山口県（山口市）	柔道	5/14(火)～15(水)	維新百年記念公園維新大晃アリーナ武道館	16	向井幹博、與儀幸朝
2	山口県（山口市）	剣道	5/14(火)～15(水)	維新百年記念公園維新大晃アリーナ武道館	19	山神眞一、有田祐二
3	福島県（福島市）	少林寺拳法	9/28(土)～29(日)	N C V ふくしまアリーナ	15	小井寿史、村瀬晃啓
4	富山県（富山市）	合気道	10/19(土)～20(日)	県営富山武道館	50	金澤威、中村仁美
5	茨城県（水戸市）	なぎなた	2/8(木)～9(金)	東日本技術研究所武道館	30	今浦千信、松井亮子

# 地方青少年武道錬成大会 地域社会武道指導者研修会

## 実施状況一覧

○右表は、本協議会設立から令和6年度まで、加盟館における標記2事業の実施状況をまとめたものです。

○館名は表作成時最新のものを記載していますので、実施時には別名称であったり、別の施設が加盟していた場合があります。

○表題「指導者」は地域社会武道指導者研修会、「青少年」は地方青少年武道錬成大会を指し、欄内の表記は武道名の略記です。

○年度内、同一武道を市町村などで複数度実施しても1度として扱っていますので、当該年度の実施数と必ずしも一致しません。

○武道名の後に「(講)」とあるのは講演会の併催を指します。

No.	都道府県名	館名	年度 事業種別	昭和56	昭57 (試行的に実施)		昭58 (試行的に実施)	
					青少年	指導者	青少年	指導者
1	北海道	北海道立総合体育センター						
2	青森	青森県武道館						
3	岩手	岩手県営武道館						
4	宮城	宮城県第二総合運動場						
5	秋田	秋田県立武道館						
6	山形	山形県武道館						
7	福島	福島県営あづま総合体育館						
8	茨城	茨城県武道館						
9	栃木	栃木県総合運動公園武道館(ユウケイ武道館)						
10	群馬	群馬県総合スポーツセンター ALSOKぐんま武道館						
11	埼玉	埼玉県立武道館						
12	〃	さいたま市大宮武道館						
13	千葉	千葉県総合スポーツセンター武道館						
14	東京	東京武道館						
15	神奈川	シンコースポーツ神奈川県立武道館						
16	〃	横浜武道館						
17	〃	川崎市石川記念武道館						
18	山梨	山梨県小瀬スポーツ公園武道館						
19	新潟	謙信公武道館(新潟県立武道館)						
20	富山	県営富山武道館						
21	〃	県営高岡武道館						
22	石川	石川県立武道館			柔剣		柔剣	
23	福井	福井県立武道館						
24	長野	長野県立武道館						
25	岐阜	岐阜メモリアルセンター						
26	静岡	静岡県武道館						
27	愛知	愛知県武道館						
28	三重	三重武道館						
29	滋賀	滋賀県立体育館・武道館管理センター						
30	京都	京都市武道センター(旧武徳殿)						
31	大阪	大阪市立修道館						
32	兵庫	兵庫県立武道館						
33	奈良	奈良県立橿原公苑						
34	和歌山	和歌山県立武道館						
35	鳥取	鳥取県立武道館						
36	島根	島根県立武道館						
37	岡山	岡山武道館						
38	広島	広島県立総合体育館						
39	山口	維新百年記念公園維新大晃アリーナ武道館						
40	徳島	徳島県立中央武道館						
41	香川	香川県立武道館						
42	〃	香川県立丸亀武道館						
43	愛媛	愛媛県武道館						
44	高知	高知県立武道館						
45	福岡	福岡県スポーツ科学情報センターアクション福岡						
46	長崎	長崎県立武道館						
47	佐賀	SAGAサンライズパークSAGAプラザ(総合体育館)						
48	熊本	熊本武道館						
49	大分	昭和電工武道スポーツセンター(大分県立武道スポーツセンター)						
50	宮崎	ひなた武道館(宮崎県武道館)						剣
51	鹿児島	鹿児島県総合体育センター						
52	沖縄	沖縄県立武道館						

全国公立武道館協議会から全国都道府県立武道館協議会へ改組される。



都道府県名	平成 元		平2		平3		平4		平5	
	青少年	指導者	青少年	指導者	青少年	指導者	青少年	指導者	青少年	指導者
北海道			銃	弓		弓銃	銃	弓		弓銃
青森										
岩手					剣		柔弓		柔剣弓	
宮城	柔剣		柔剣相空		柔剣		柔剣	剣空	柔剣弓	弓
秋田	剣		柔弓		な		空		弓	
山形	柔な	柔な	柔な	柔な					少	
福島										
茨城										
栃木				弓						
群馬										
埼玉										
〃										
千葉										
東京										
神奈川			合							
〃										
〃										
山梨										
新潟										
富山										
〃										
石川	柔剣弓な	な	柔剣弓な	剣弓	柔剣弓な		柔剣弓な	弓	柔剣弓な	剣弓
福井										
長野										
岐阜									弓	弓
静岡										
愛知										
三重	剣		空		弓		な		柔	
滋賀										
京都										
大阪										
兵庫										
奈良			弓						弓	
和歌山					な					
鳥取									な	
島根	弓な		柔な		な	弓	な	弓		弓な
岡山		柔	柔	剣	柔	剣	柔	剣	剣	
広島	な		空		柔相		剣			弓
山口	柔剣	柔	柔剣弓	柔	柔剣弓	柔	柔剣弓	柔弓	柔剣弓	柔弓
徳島										
香川										
〃										
愛媛										
高知							空			
福岡										
長崎										
佐賀										
熊本	柔		柔剣	な	剣銃		柔剣		柔剣	
大分										
宮崎	剣空	柔剣弓空	剣空少	剣弓	剣空	空な	柔	空	柔	剣弓な
鹿児島	剣な		柔		柔	弓	柔剣相	弓	柔弓	剣
沖縄										



都道府県名	平11		平12		平13		平14		平15		平16	
	青少年	指導者	青少年	指導者	青少年	指導者	青少年	指導者	青少年	指導者	青少年	指導者
北海道		銃弓	銃	弓	銃		銃	弓な	銃	弓空	な銃	弓な
青森					剣	弓な		柔剣少な	柔剣な	弓な	柔剣弓	弓な
岩手	剣な合	弓	柔弓な	弓	柔剣な	弓	柔合な	弓	柔弓空合な	弓	剣空な	合
宮城	柔剣な	柔弓な	な銃	弓な	合少銃	剣弓な	な銃	剣弓な	柔弓な	剣弓な	弓な	剣弓空合
秋田	剣	柔	空	銃	な	弓	な	空	空	空	銃	柔
山形	剣	剣	柔な	柔な	柔な	柔な	柔少		柔少		柔空	
福島							(加盟)		な銃	少	な	弓
茨城	な		柔な		柔な		柔	空	弓	空	弓	弓空
栃木												
群馬										弓		弓
埼玉												
〃												
千葉							な	弓な	な	弓合	弓な	合
東京										柔		柔
神奈川					銃		銃		な銃		な銃	
〃												
〃												
山梨			弓銃	剣			弓	剣		剣		剣
新潟												
富山			な銃	な	な	な			な	な	な銃	剣
〃												
石川	柔剣弓な	柔弓少	柔剣弓な	弓な	剣弓空な	弓相	柔剣弓な	柔弓	柔剣な銃	弓	柔剣な	弓少
福井	柔			弓	銃	弓相	柔剣銃	弓	柔剣	弓な	柔剣	弓な
長野												
岐阜	な	弓		弓な	弓	な	銃	弓な	弓	な		弓な
静岡							(加盟)		な	な	柔	弓
愛知	柔剣弓	柔剣弓な	柔剣弓銃	柔剣な	柔剣弓な	柔弓	剣弓	柔剣な	弓銃	弓空な	な	弓
三重	剣		空		弓銃		な		柔		剣銃	
滋賀	剣	弓	柔	剣	少	少	銃	な	弓		剣	柔
京都												
大阪												
兵庫			銃		銃				銃	少		
奈良												
和歌山	相合		剣合		柔合		少な	剣	合	剣少	銃	剣合
鳥取	剣		剣弓	柔	空	な	弓空	弓な	柔空	剣弓	柔剣	弓少
島根	柔	弓	柔	弓相な	柔	弓相な	柔弓	弓な	柔弓	弓相な	柔弓	柔弓な
岡山		柔		剣		な		空		弓		
広島		少	銃	弓	な銃	弓	相銃	剣相	銃	剣	銃	
山口	柔剣弓	柔弓	柔剣弓	柔剣弓	柔剣弓	柔剣弓	柔剣弓	柔剣弓	柔剣弓	柔剣弓	柔剣弓	剣弓な
徳島		弓										
香川							空		弓		な	
〃					な							
愛媛	柔弓		柔	弓	柔弓	弓	柔弓	弓	柔弓	剣	柔	
高知		弓		弓		弓				弓		弓
福岡												
長崎		弓		弓空	弓	弓空	銃	空				
佐賀												
熊本	少	剣	銃	剣	柔		剣			空	な	
大分									(加盟)		銃	剣
宮崎	柔剣な	柔弓	な	空な	柔少銃	剣弓な		弓空な	空少	な	な	弓空
鹿児島	剣	空	剣弓な	剣	柔剣	弓	剣弓	空	柔剣弓相銃	剣	柔剣弓空	弓
沖縄	柔弓相な	な	柔空な	空な	柔剣弓な	空な	柔剣弓な	空な	柔剣弓な	空な	な	相空

平17		平18		平19		平20		平21		平22	
青少年	指導者	青少年	指導者	青少年	指導者	青少年	指導者	青少年	指導者	青少年	指導者
銃	弓少	銃	弓	な銃	弓	な銃	弓少	銃	弓少	剣銃	弓
柔剣弓空	弓な	柔剣弓	弓な	柔剣弓	弓な	柔剣弓	弓少な	柔剣弓	弓少な	柔剣弓	弓少な
剣相な	柔弓	剣相空な	弓合	柔剣な	柔剣	剣相な	弓少	柔相少な	弓	相空な	弓合少
柔弓な	剣な	柔弓な	剣	少な	剣な	な	剣な	な	剣合な	弓な	剣少な
弓な銃	少	銃	剣	空銃	空	少な銃	剣弓	剣銃	弓	銃	弓
柔空		柔合		合		合		柔		柔	
な	な少	少な	少な	少な	弓な	剣少な	弓な	少な	弓少な	な	弓少な
柔な		柔	な		弓空	弓空		少	剣	剣	柔少
									弓		弓合
	弓								柔		
銃		銃		な銃			な		な		少な
な	弓	な	合	な	合	な			合		合
な	空	な	空	な	少	少な	少	な	合	な	合
な	な	な	な	な	な	な銃	な	な銃	な	な銃	な
	柔剣弓		剣弓		柔剣弓		剣弓		剣弓		剣弓
剣	な	剣	な	剣	な	剣銃	な	剣	な		剣な
柔剣な	剣弓	柔剣な	剣弓	柔剣銃	弓少	柔剣な	弓	柔剣な銃	弓少	柔剣な	弓少
柔銃	弓な	柔銃	弓相な	剣	弓な	柔剣	弓な	柔剣	柔剣弓な	剣銃	柔剣弓な
弓	な	な	弓少	弓銃	な	な	弓	弓	な	な	弓
な	な	剣銃	弓	な	剣	銃	弓な	弓	柔少	弓	弓な
な銃	弓	柔	剣弓	剣	弓空な		剣弓空	剣な銃	弓空	少	柔剣弓空
空			な		弓	柔			剣	銃	空
空銃	弓	柔剣	剣	弓	少	柔銃	弓	剣	弓	弓	柔
							な				
		銃						銃	空		剣な
		な		な	少	な	少	な	少		少な
合	剣	柔	柔剣	合銃			合少	合少		銃	
柔少	弓少	柔相	柔弓	相	柔弓な	柔相	弓	相銃	柔弓	銃	柔弓
柔弓	柔弓相	柔弓	柔弓	柔弓	柔弓相	柔弓	柔弓	柔弓	柔弓相な	柔弓	剣弓な
			な	剣弓	弓	剣弓	弓	剣弓	弓	剣弓	弓
な	剣		剣合		剣合		剣合		剣弓合		剣弓合
柔剣弓	柔剣弓	柔剣弓	剣弓な	柔剣弓	柔弓な	柔剣弓	剣空	柔剣弓	弓空少	柔剣弓	柔少
					弓						弓
弓							弓				弓な
					(退会)						
柔銃		柔銃		柔銃	弓	柔銃	弓	銃	弓	柔銃	弓
	弓		弓		弓		弓		弓		弓
					(加盟)					銃	
				銃	空				空		
					(加盟)		弓				
銃			柔剣	剣	少	銃	な	弓	空		柔剣
な	空	空	柔	な	空	な	空	な	柔		剣
空	剣空な	銃	柔剣空な	剣	弓空な	剣な	弓空な	な	剣弓な	少な	柔剣空
柔空合な		柔剣	弓な	剣空	剣空	剣弓少	弓少	剣銃	剣少	柔剣相空	剣弓
柔剣相な	空な	柔剣相な	空な	柔剣相な	空少	柔剣な		柔剣な	空少	柔剣な	少

都道府県名	平23		平24		平25		平26		平27		平28	
	青少年	指導者	青少年	指導者	青少年	指導者	青少年	指導者	青少年	指導者	青少年	指導者
北海道	空銃	弓	空銃	弓少	空銃	弓少	空銃	弓少	空銃	弓少	空銃	弓少
青森	柔剣	少な	柔剣弓	弓空な	柔剣な	弓空少	柔剣弓	弓空な	弓な	弓空な	柔剣な	弓空な
岩手	相少な	合	剣な	柔弓合少	相少な	弓	柔相な	合少	弓相少な	合	剣弓相な	合少
宮城		剣少な	な	柔剣な	な	柔剣合少な	な	剣合少な	合な	剣弓合少な	な	剣弓合少な
秋田	銃	剣弓合	銃	弓合	銃	弓	銃	弓少	銃	弓	少銃	弓
山形	柔な		な		柔な		柔な		剣な		な	
福島		弓	少な	弓相な	な	弓相少な	な	弓少な	な	弓少な	な	弓少な
茨城	柔な	剣少		柔空な	弓	剣空少	空	剣弓	少	剣空	空	剣少
栃木		弓合		弓合		弓少		合少		弓合	な	弓少
群馬	柔	弓		弓な	な	弓な	な	弓な	な	弓少な	な	弓少な
埼玉	な	弓		弓少な	な	弓少	な	弓少	少	弓な	弓	少な
〃												
千葉		合な	な	合		合な		合	な	合		合
東京	な	合		合	な	合	な	合	な	合	な	弓合
神奈川	な銃	な	な銃	な	な銃	な	な銃	な	な銃	な	な銃	な
〃												
〃												
山梨		剣弓		剣弓		剣弓少	弓	剣少		剣弓少	弓	剣少
新潟												
富山	剣	な	剣	合	剣	合な	剣銃	合	剣	合	剣	合
〃		合		な								
石川	柔剣な	弓少	柔剣な銃	弓	柔剣な	弓少	柔剣少な	弓空	柔剣少な銃	弓な	柔剣な	弓
福井	剣銃	柔剣弓	剣	柔剣弓合	柔銃	弓な	柔	弓な	剣な	柔弓	弓銃	剣な
長野												
岐阜	弓銃	な	な	弓	弓	な	な	弓	弓銃	な	な	弓少
静岡		少		少な		合少	銃	少な	相	合少な	相	弓少な
愛知	柔	弓空少	少な	剣弓空	少銃	弓空な		剣弓空少	少	弓空		剣弓空少
三重	な		弓銃		剣			剣	な			弓
滋賀	銃	剣	空	弓	剣	柔	銃	剣		弓合	柔剣	少
京都				剣								
大阪		な		柔弓		弓		弓		弓		弓
兵庫		合	銃	柔剣		柔剣合少		柔剣合少	銃	柔剣合少	少	柔剣合
奈良	な	少	な	剣少	な	少	な	少	な	少	な	少
和歌山	合少な	な	剣な	少合	合銃		剣	合	合		銃	合
鳥取	相銃	柔弓	相銃	柔弓	相銃	柔弓	相銃	柔弓	相銃	柔	相銃	柔弓
島根	柔剣弓	柔弓相	柔弓	剣弓	柔剣弓	弓相	柔弓	柔剣弓	柔剣弓	柔弓相な	柔弓	弓な
岡山	剣弓	柔剣弓	剣弓	剣弓	剣弓	柔剣弓	剣弓	柔剣弓	剣弓	柔弓	剣弓	柔弓
広島		剣弓合		剣弓合		剣弓合		剣弓合空	剣弓合空			剣弓合空
山口	柔剣弓	剣合	柔剣弓	柔弓合	柔剣弓	柔な	柔剣弓	柔剣な	柔剣弓	柔剣弓相	柔剣弓	柔剣相
徳島				弓			弓	弓	弓			
香川	弓			合な	弓	合	な	弓	弓	合	な	合
〃												
愛媛	柔銃	弓	柔銃	弓	柔銃	弓	柔銃	弓	柔銃	弓合	銃	弓合
高知		弓		弓		弓少		弓				
福岡			な	柔剣少	な					少	銃	少
長崎	銃	空										
佐賀						少		少				
熊本		少銃	な	合	少	空		柔		合少		弓
大分		弓空少	な	弓空少	な	弓空少	な	弓空少	な	弓空少		弓空
宮崎	な	弓空少	弓な	弓空	銃	空少な	少な	柔弓	弓	空少	弓空	少
鹿児島	柔剣弓空合	少	柔剣相少な	空	柔剣弓な	柔	柔剣相銃	弓な	柔相空な	弓	剣相空な	少な
沖縄	柔剣な	空少	柔剣な	空少	柔剣な	少	柔剣な少		柔剣少な		柔剣少な	

平29		平30		令和元		令2		令3		令4	
青少年	指導者	青少年	指導者	青少年	指導者	青少年	指導者	青少年	指導者	青少年	指導者
空銃	弓少	弓銃	弓少	弓空銃	弓少			空	少	空	少弓
柔剣弓な	弓空な	柔剣弓な	弓空な	柔弓な	弓空			柔な銃		銃な柔剣	空弓
弓な	弓少	剣弓な	弓合少	弓な	弓少			弓	空	な弓	弓少
な銃	剣弓合少	な	剣弓合少な	な	剣弓合少な			な	合	な	合弓
少	弓		弓合少	剣	弓	剣	合少	剣		少	弓
な		柔		な銃						剣	
な	弓少な	な	弓少な銃	な	弓少な銃				弓銃	な	少銃
柔な	剣	柔	剣少な	弓な	剣空				少		少剣
な	合少	な	弓合	な	弓少				弓	な	少合弓銃
な	弓少な	な	弓な	な	弓少な			な		な	弓少な
な	弓合	合	弓少な	空な	弓少			空	弓合少	空	弓合な
				(加盟)							
	な	な	合		合な					な	合
な	合	な	合	な					合	な	合
な銃	な	な銃	な	な銃	な銃				銃	銃な	な
								(加盟)			
	剣弓相少	弓相	剣少	相	剣弓少				弓少		弓少
				柔(加盟)							
剣銃	合	剣	合	剣銃	合	剣	合		合	剣	合
柔剣な	弓	柔剣な銃	弓	柔剣な	弓少						弓
柔剣	弓空		弓少な	少	柔弓			柔	弓	剣銃	少な
								な	少	な	少
弓	な	な	弓	弓銃	な			な		剣相	な少銃弓
剣相	弓合少な	相	弓な	剣相	弓合少な			相	弓な銃		弓
	弓空合		剣弓空合少		弓空合					剣少	弓空合
剣		柔	少	な	空					な	空
少	剣弓	柔銃	合少	柔				少		銃	少
	弓		弓		弓				弓		弓
銃	柔剣合な		柔剣合少		柔剣合				柔少		合少
	少		少		合少						少な
柔合		柔	合少	合銃							合
相銃	柔弓銃	相銃	弓銃	相銃	弓銃			相	弓銃	相銃	弓銃
柔弓	柔弓相	柔弓	弓	柔弓な	柔剣弓相			弓	柔弓相		弓
剣弓	柔弓	剣	柔弓	剣弓	柔弓						
	剣弓空合		剣弓空合な		剣弓空合				弓		合少な弓空剣
柔剣弓	柔剣空少	柔剣弓	柔剣弓空少	柔剣弓	柔剣合な						柔剣剣少
		弓	空						空		空
	弓合	弓な			弓合						弓な
銃	弓合		弓合	柔銃	弓合	銃		銃	弓	銃	合弓
	弓		弓		弓						弓
	少	な	少		弓少				少	な	弓少
	少		少		少						少
		銃									
銃			空	な	柔						少
	弓空少		弓空少		弓空少				弓		少弓空
柔な	弓空	剣少	空	相空	な			空銃		な	少空
弓少な	空	柔剣	弓な	弓相な	少			相な		空銃	剣な
柔剣少な		柔剣な	剣少	柔剣な	少		少			柔	少

都道府県名	令5		令6	
	青少年	指導者	青少年	指導者
北海道	空銃	弓少	空	弓少
青森	弓な銃	空	剣相銃	空な
岩手	弓な	弓少	柔弓な	弓合
宮城	な	剣弓合少な	な	剣弓合少な
秋田	剣	弓合少	柔剣	弓
山形	柔		な	
福島	な	弓少銃	な	弓少銃
茨城	柔な	剣少	柔な	な
栃木	な	弓合少	な	弓合少
群馬	な	弓少な	な	少な
埼玉	な	空合少		
〃		弓		
千葉		合な	合な	
東京	な	合	な	合少
神奈川			な銃	な
〃				
〃				
山梨	弓	少		弓少
新潟	剣	少		剣少銃
富山	剣銃	合		合
〃				
石川	柔剣な	弓	柔剣な	弓少
福井	少な	柔銃	弓相	剣空
長野	な	弓少	な	弓少
岐阜		弓合少な	剣相少	弓な
静岡	な銃	弓		弓
愛知		弓空合少		銃
三重		弓合	柔剣	
滋賀				少
京都				
大阪		弓		弓
兵庫		合少	銃	合少
奈良		少		少
和歌山	合銃			合少
鳥取	相銃	柔剣弓銃	柔相銃	柔剣銃
島根	剣弓な	柔弓相	弓な	弓
岡山		柔弓		柔弓
広島		弓合少		空合少
山口		柔剣弓空	剣弓	柔剣な
徳島		弓空		弓空
香川	弓		な	弓合少合
〃				
愛媛	柔銃	弓合銃	柔	弓合
高知		弓		弓
福岡	な	弓少	な銃	弓少
長崎	銃	少		少
佐賀				
熊本		合		弓
大分		弓空少		弓空少
宮崎	空少	弓	弓	空少
鹿児島	剣な	弓	柔剣な	少
沖縄	柔剣な	剣少	柔剣な	

## 全国都道府県立武道館協議会年表

年	事業関係	加盟関係 (施設名は加盟当時)
昭和49年	(全国に公立武道館建設の機運が高まり、その協力体制を望む声も次第に強くなる)	
昭和50年		
昭和51年		
昭和52年	(設立準備のため地方武道館と連絡調整の事務を進める)	
昭和53年	○7月3日、全国公立武道館協議会設立のため、各県代表者からなる発起人委員会を設置、設立準備委員会を再三にわたり開催、協議会規約案、設立趣意書について審議。	
昭和54年	○7月27日、全国公立武道館協議会発足。会長は加藤武徳。	
昭和55年		
昭和56年	○3月21日～23日、秋田県の全県なぎなた競技錬成大会兼なぎなた教室に2人の講師を派遣(手当、旅費交通費を負担)。 ○5月27日、加盟を都道府県単位の施設に統一し、 <b>全国都道府県立武道館協議会</b> として改組。会長は松前重義。加盟は日本武道館を含め19館(10月には23館)。	北海道立札幌中島体育センター、宮城県第二総合運動場、秋田県立スポーツ会館、栃木県立体育館、群馬県立スポーツセンター武道館、埼玉県立武道館、千葉県立総合運動場武道館、神奈川県立武道館、川崎市石川記念武道館、石川県立武道館、愛知県スポーツ会館、三重武道館、大阪府立体育会館、大阪市立修道館、和歌山県立武道館、島根県立武道館、岡山武道館、徳島県総合運動公園武道館、香川県立武道館、香川県立丸亀武道館、高知県立武道館、熊本武道館加盟、日本武道館。
昭和57年	○4月26日、最初の公立武道館協議会が宮城県で結成(加盟37施設)。 ○7月28日～30日、三重県なぎなた錬成大会兼なぎなた教室に2人の講師を派遣。 ○8月2日～4日、秋田県柔道青少年錬成大会に3人の講師を派遣。 ○8月、石川県の地方青少年武道錬成大会に初めて共催として加わる。 ○9月4日～5日、鳥取県の県内なぎなた錬成講習会兼なぎなた教室に2人の講師を派遣(以上、講師の手当、旅費交通費を負担)。	
昭和58年	○7月28日～29日、宮城県柔道青少年錬成大会に2人の講師を派遣。 ○8月25日～27日、石川県青少年武道錬成大会に柔・剣道2人ずつ講師を派遣。 ○11月1日～2日、日本武道館で、第1回の館長研修会議開催。加藤理事長ほか17人が出席し、議長からの報告、活動報告、全体討議などを行う。 ○11月13日 岡山武道館、11月18日 宮城県第二総合運動場で古武道映画映写講演会(本協議会共催)開催。 ○12月24日～26日、宮崎県青少年剣道錬成大会が県教委、県体協、県柔連・剣連との共催で行われ、2人の講師を派遣するとともに、会議費、市内連絡費ほかを補助。	京都市スポーツセンター 宮崎県教育庁スポーツ指導センター 鹿児島県総合体育センター 以上、3館加盟。
昭和59年	○6月6日、石川で2番目の公立武道館協議会が結成(加盟21施設)。 ○6月28日～7月1日、第1回の全国地域社会武道指導者研修会が日本武道館研修センター(千葉県勝浦市)で加盟館の柔・剣道指導者職員を対象に開催され、52人が参加。以下、毎年度実施。 *この年度から、「講師派遣事業」はなくなり、現在の「地域社会武道指導者研修会・地方青少年武道錬成大会」(以上国庫補助対象)のみの実施になる。 ○9月1日～2日、地域社会武道指導者(剣道・弓道)研修会が宮崎県都城市で開催。 ○地方青少年武道錬成大会は、7月の宮城県仙台市柔・剣道を皮切りに、同県古川市柔道、同県村田町剣道、北海道北見市剣道、石川県柔・剣・弓道、山口県柔・剣道、宮崎県柔・剣道が行われた。 ○10月27日、和歌山県立武道館で武道映画講演会開催。 ○11月2日、日本武道館で館長研修会議開催。加藤理事長ほか24人が出席し、議長からの報告、活動報告、全体討議などを行う。	山口県スポーツ文化センター加盟。

年	事業関係	加盟関係 (施設名は加盟当時)
昭和60年	<p>○2月16日～17日、地域社会剣道高段者指導者研修会が岡山武道館で開催。</p> <p>○6月14日、沖縄県浦添市で武道映画講演会を開催。</p> <p>○8月、第1回日本武道館書写書道大覧覧会に後援名義、賞状、賞品を出す。以下、毎年度実施。</p> <p>○12月7日～8日、岡山武道館で第9回日本古武道演武大会と並行して第3回の館長研修会議開催。増田副会長ほか27名が出席し、議長報告、活動報告、全体討議などを行う。</p> <p>○12月8日、第9回日本古武道演武大会・岡山に初の協賛名義。以下、毎年度実施。</p>	<p>大阪府立体育会館退会。</p> <p>奈良県立橿原公苑</p> <p>広島県立体育館</p> <p>以上、2館加盟。</p>
昭和61年	<p>○9月19日、宮崎で3番目の公立武道館協議会が結成 (加盟19施設)。</p> <p>○9月20日、宮崎県都城市で武道映画講演会を開催。</p> <p>○11月15日～16日、宮城県第二総合運動場で第10回日本古武道演武大会と並行して第4回館長研修会議を開催し、木島専務理事ほか29人が出席し、議長報告、活動報告、全体討議などを行う。</p> <p>○11月16日、第10回日本古武道演武大会・宮城 (協賛名義)</p>	<p>山形県体育館</p> <p>愛媛県武道館</p> <p>以上、2館加盟。</p>
昭和62年	<p>○11月7日～8日、宮崎で5回目の館長研修会開催。木島専務理事ほか27人が出席し、議長報告、活動報告、全体討議などを行う。</p> <p>○11月8日、昭和62年度日本武道演武大会・宮崎 (協賛名義)</p>	
昭和63年	<p>○2月14日、第11回日本古武道演武大会 (協賛名義)</p> <p>○11月12日、石川で最後となる館長研修会開催。木島専務理事ほか加盟館長25人に、未加盟館から2人が出席し、同内容で行う。</p> <p>○11月13日、第12回日本古武道演武大会・石川 (協賛名義)</p>	<p>岩手県営武道館加盟。</p>
平成元年	<p>○昭和64年1月5日、第25回全日本書初め大覧覧会に初めて後援名義、賞状、賞品を出す。以下、毎年度実施。</p> <p>○4月1日、熊本で4番目の公立武道館協議会が結成 (加盟7施設)。</p>	<p>茨城県武道館</p> <p>福井県立武道館</p> <p>鳥取県営鳥取武道館</p> <p>以上、3館加盟。</p>
平成2年	<p>○1月、宮城県公立武道館協議会1万人寒げい古に後援名義。以下、毎年度実施。</p>	<p>東京武道館</p> <p>県営富山武道館</p> <p>以上、2館加盟。</p>
平成3年	<p>○5月1日、鹿児島で5番目の公立武道館協議会が結成 (加盟43施設)。</p> <p>○10月6日、第15回日本古武道演武大会・岩手 (協賛名義)</p> <p>○11月19日、岩手で6番目の公立武道館協議会が結成 (加盟33施設)。</p>	<p>県営高岡武道館</p> <p>兵庫県立総合体育館</p> <p>以上、2館加盟。</p>
平成4年		<p>山梨県緑が丘スポーツ公園 体育館</p> <p>岐阜メモリアルセンター</p> <p>以上、2館加盟。</p>
平成5年	<p>○7月29日、和歌山で7番目の公立武道館協議会が結成 (加盟10施設)。</p>	<p>愛知県スポーツ会館退会、愛知県武道館加盟。</p> <p>滋賀県立武道館加盟。</p>
平成6年		
平成7年	<p>○8月、第11回日本武道館書写書道大覧覧会に高円宮杯が下賜 (後援名義ほか)。</p> <p>○10月27日、愛知で8番目の公立武道館協議会が結成 (加盟23施設)。</p> <p>○11月26日、第19回日本古武道演武大会・石川 (協賛名義)</p> <p>○11月30日、秋田で9番目の公立武道館協議会結成 (加盟16施設)。</p>	<p>沖縄県立奥武山総合運動場武道館加盟。</p>
平成8年		<p>青森県武道館加盟。</p>
平成9年	<p>○4月1日、福井で10番目の公立武道館協議会結成 (加盟11施設)。</p>	<p>長崎県立武道館加盟。</p>
平成10年	<p>○1月5日、沖縄県立武道館で第1回沖縄県立武道館「新春1,000名かきぞめ席書大会」が開催され、後援名義を出す。</p> <p>○2月22日、第21回日本古武道演武大会神奈川・相模原市 (協賛名義)</p> <p>○5月、島根相撲、山形剣道、10月石川弓道、12月愛知柔道で「武道講演会」を併催。</p> <p>○12月6日、第22回日本古武道演武大会・第11回宮崎県武道振興演武大会・宮崎 (協賛名義)</p>	
平成11年	<p>○1月5日、第2回沖縄県立武道館「新春1,000名かきぞめ席書大会」に後援名義のほか、賞状・賞品供与。以下毎年度実施。</p>	

年	事業関係	加盟関係 (施設名は加盟当時)
平成12年		札幌中島体育センターが移転し、北海道立総合体育センターに。 県営鳥取武道館(鳥取市)から鳥取県立武道館(米子市)へ業務移行。 群馬は、新装移転して群馬県総合スポーツセンターぐんま武道館へ。
平成13年	○7月26日、鳥取で11番目の公立武道館協議会結成(加盟15施設)。 ○8月28日、青森で12番目の公立武道館協議会が結成(加盟28施設)。 ○11月16日～18日、最後の全国研修会が日本武道館研修センターで開催。	
平成14年		福島県営あづま総合体育館 静岡県武道館 以上、2館加盟。
平成15年	○地域社会武道指導者研修会、地方青少年武道錬成大会の参加者総計が1万人を突破する。	埼玉県立武道館は、さいたま市浦和から上尾市へ新装移転。 兵庫県立総合体育館が退会、代わって兵庫県立武道館加盟。 愛媛県武道館は市内に新装移転。 大分県立総合体育館加盟。
平成16年		秋田県立スポーツ会館が退会、代わって秋田県立武道館加盟。
平成17年	○2月13日、第28回日本古武道演武大会・兵庫(協賛名義)	山梨県緑が丘スポーツ公園体育館退会、山梨県小瀬スポーツ公園武道館加盟。
平成18年		
平成19年	○2月11日、第30回日本古武道演武大会・熊本(協賛名義)	香川県立丸亀武道館は隣接する高校に移管され退会。 福岡県立スポーツ科学情報センター 佐賀県総合体育館 以上、2館加盟。
平成20年	○熊本県公立武道館協議会は、町村合併、指定管理者制度の採用、疲弊する財政など行政の変化等に鑑み、より現実に即した武道振興策を目指し、19年度を以て解散。 ○2月10日、第31回日本古武道演武大会・岡山(協賛名義) ○地域社会武道指導者研修会で、初めて中学校武道必修化特化型を実施。3県3カ所153人参加。	
平成21年	○2月8日、日本古武道協会設立30周年記念第32回日本古武道演武大会(協賛名義) *大会前日、日本古武道協会設立30周年記念式典を開催。 ○10月10日、日本武道館で天皇陛下御即位20年奉祝日本武道祭(後援名義) ○11月1日、宮崎県武道館で教育文化講演会が「武士道 側隠のこころ」をテーマに初開催(本協議会共催)。	
平成22年	○1月19日～20日、初の事務担当者会議が日本武道館で開かれる。以降、3年に1度開催。 ○11月21日、宮崎県武道館で2回目の教育文化講演会が「外国人からみた日本の心」をテーマに開催(本協議会共催)。 ○12月23日、青森県武道館でオリンピックメダリストによる青少年柔道教室(本協議会共催)。 ○地方青少年武道錬成大会の開催に合わせ、古武道の理解を深め、保存・振興の一助とするため、平成22年度から古武道模範演武披露会(「地元に伝わる古武道模範演武」)を実施。岡山剣道錬成大会で鐘捲流抜刀術、茨城県剣道錬成大会で北辰一刀流剣術の模範演武披露が行われた。(以降、毎年3カ所程度で実施)。	
平成23年	○地方青少年武道錬成大会で「地元に伝わる古武道模範演武」を青森県(ト傳流剣術)、茨城県(為我流派勝新流柔術)、奈良県(直心影流薙刀術)で実施。 ○東日本大震災に対し義援金500万円を、日本赤十字社を通じて拠出。 ○11月3日、宮崎県武道館で3回目の教育文化講演会が「心の基礎をつくる」をテーマに開催(本協議会共催)。 ○11月6日、第35回日本古武道演武大会・青森(協賛名義)。	

年	事業関係	加盟関係 (施設名は加盟当時)
平成24年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○中学校で武道必修化が開始される。</li> <li>○本協議会が設立30周年を迎え、『全国都道府県立武道館協議会30年史』を刊行。</li> <li>○4月28日、本協議会設立30周年記念式典が開催される。</li> <li>○11月11日、宮崎県武道館で4回目の教育文化講演会が「『道徳心』と武道教育」をテーマに開催 (本協議会共催)。</li> </ul>	
平成25年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○1月15日～16日、2回目となる平成24年度事務担当者会議が日本武道館で開催される。</li> <li>○2月10日、第36回日本古武道演武大会・兵庫 (協賛名義)。</li> </ul>	
平成26年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○日本武道館が創立50周年を迎え、10月5日、日本武道館で「日本武道館創立50周年記念式典・日本武道祭」が開催される (後援名義)。</li> </ul>	
平成27年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「全国武道館実態調査」を、都道府県教育委員会及び本協議会加盟館の協力を得て実施。</li> </ul>	
平成28年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○1月18日～19日、平成27年度事務担当者会議が日本武道館で開催される。</li> <li>○8月12日～14日、日本武道館武道学園創立50周年記念校外授業を静岡県武道館で開催。</li> </ul>	
平成29年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○2月5日、第40回日本古武道演武大会・日本武道館 (協賛名義)</li> </ul>	
平成30年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○2月4日、明治150年記念第41回日本古武道演武大会・日本武道館 (協賛名義)</li> <li>○2018年「ロシアにおける日本年」「日本におけるロシア年」ロシア武道代表団日本招聘事業として、10月31日に沖縄大会を沖縄空手会館において、11月3日に兵庫大会をウインク武道館(兵庫県立武道館)において実施。</li> <li>○「第2回全国武道館実態調査」を都道府県・政令指定都市教育委員会、本協議会加盟武道館及び日本武道協議会の協力を得て実施。</li> <li>○西日本豪雨災害、北海道胆振東部地震災害に対する義援金各500万円計1,000万円を日本赤十字社を通じて拠出。</li> </ul>	
平成31年 ・ 令和元年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○1月28日～29日、平成30年度事務担当者会議が日本武道館で開催される。</li> <li>○2月3日、日本古武道協会設立40周年記念第42回日本古武道演武大会・日本武道館 (協賛名義)</li> <li>*大会前日2月2日、記念式典・祝賀会を高円宮妃殿下御臨席の下、開催。</li> <li>○令和元年度台風第19号災害に対する義援金500万円を日本赤十字社を通じて拠出。</li> </ul>	さいたま市大宮武道館、新潟県立武道館以上、2館加盟。
令和2年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○2月2日、第43回日本古武道演武大会・東京武道館 (協賛名義)</li> <li>*2020年東京オリンピック・パラリンピックの増改修工事に伴い、東京武道館にて開催。</li> <li>○新型コロナウイルス感染防止のため、令和元年度常任理事会・令和2年度理事会を中止 (決議省略)。</li> </ul>	長野県立武道館加盟。 栃木県体育館退会、 栃木県総合運動公園武道館加盟。 大分県立総合体育館退会、 昭和電工武道スポーツセンター加盟。
令和3年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○2月7日、第44回日本古武道演武大会〈中止〉</li> <li>○新型コロナウイルス感染防止のため、令和2年度常任理事会・令和3年度理事会を中止 (決議省略)。</li> </ul>	横浜武道館加盟。
令和4年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○1月17日～18日、令和3年度事務担当者会議が日本武道館で開催される。</li> <li>○2月5日、第45回日本古武道演武大会・日本武道館 (協賛名義)</li> <li>○新型コロナウイルス感染防止のため、令和3年度常任理事会・令和4年度理事会を中止 (書面決議)。</li> </ul>	
令和5年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○2月5日、第46回日本古武道演武大会・日本武道館 (協賛名義)</li> <li>○令和3年度に本協議会が設立40周年を迎え、『全国都道府県立武道館協議会40周年史』を刊行。</li> </ul>	
令和6年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○2月4日、第47回日本古武道演武大会・日本武道館 (協賛名義)</li> </ul>	
令和7年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○1月27日～28日、令和6年度事務担当者会議が日本武道館で開催される。</li> <li>○2月2日、第48回日本古武道演武大会・日本武道館 (協賛名義)</li> </ul>	

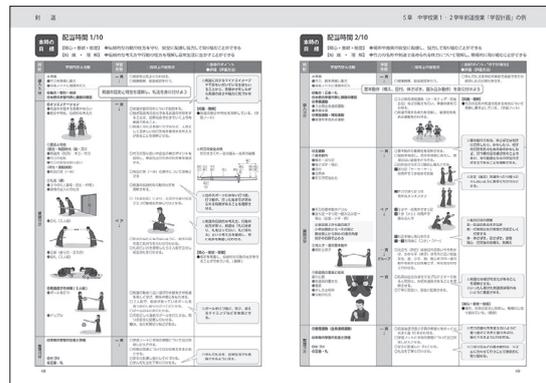
## 地域社会武道指導者研修会における 『中学校武道必修化指導書・DVD』の贈呈について

安全で、楽しく、効果の上がる武道授業を実施するため、日本武道協会設立40周年記念事業として『中学校武道必修化指導書（10分冊）・DVD（3巻付）』が平成29年5月に刊行され、武道9種目の周知徹底と中学校武道必修化の充実を目的に、全国1万余校の中学校、全都道府県市区町村教育委員会、全国主要公立図書館等へ無償贈呈されました。

全国都道府県立武道館協議会においても、これまで地域社会武道指導者研修会講師・参加者へ、同書を配布してきました。

今後も、地域社会武道指導者研修会において、中学校武道必修化特化型研修会では講師・参加者全員に、一般の研修会では希望者に、無償贈呈いたします。

ぜひ各地域における武道の振興普及にご活用ください。



柔道・剣道の誌面の一部



武道



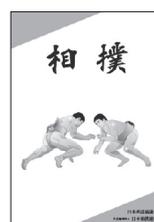
柔道



剣道



弓道



相撲



空手道



合気道



少林寺拳法



なぎなた



銃剣道

# 令和6年度全国都道府県立武道館協議会役員名簿

令和6年4月26日改選

役 職	氏 名	所 属	所属における役職
会 長	高 村 正 彦	(公財) 日本武道館	会長
理 事 長	川 端 達 夫	(公財) 日本武道館	理事長
常任理事	江 渡 聡 徳	(公財) 日本武道館	常任理事
常任理事	森 英 介	(公財) 日本武道館	常任理事
常任理事	吉 川 英 夫	(公財) 日本武道館	理事・事務局長
常任理事 (北海道ブロック)	酒 井 隆	北海道立総合体育センター / (公財) 北海道スポーツ協会	副館長
常任理事 (東北ブロック)	田 中 聡	岩手県営武道館 / (公財) 岩手県スポーツ振興事業団	館長
常任理事 (関東ブロック)	鈴 木 博	シンコースポーツ神奈川県立武道館 / シンコースポーツ株式会社	館長
常任理事 (北信越ブロック)	内 田 賢 悟	長野県立武道館 / シンコースポーツ・NTTファシリティーズ共同事業体	名誉館長
常任理事 (東海ブロック)	高 田 論	愛知県武道館 / (公財) 愛知県教育・スポーツ振興財団	館長
常任理事 (近畿ブロック)	南 和 巳	滋賀県立体育館・武道館管理センター / (公財) 滋賀県スポーツ協会	所長
常任理事 (中国ブロック)	山 中 洋 介	鳥取県立武道館 / (公財) 鳥取県スポーツ協会	館長
常任理事 (四国ブロック)	掛 田 英 樹	徳島県立中央武道館 / (公財) 徳島県スポーツ協会	所長
常任理事 (九州ブロック)	河 津 修 司	熊本武道館 / (公財) 熊本県武道振興会	代表理事
理 事	春 藤 英 徳	青森県武道館 / (公財) 弘前市スポーツ協会	館長
理 事	阿 部 正	宮城県第二総合運動場 / 宮城県スポーツ協会	場長
理 事	大 野 正 樹	秋田県立武道館 / (一財) 秋田県総合公社	所長
理 事	逸 見 良 昭	山形県武道館 / (公財) 山形市スポーツ協会	会長
理 事	久保木 義 明	福島県営あづま総合体育館 / (公財) 福島県都市公園・緑化協会	会長
理 事	藤 田 昌 人	東日本技術研究所武道館 / (公財) 茨城県スポーツ協会	所長
理 事	田 中 哲 郎	栃木県総合運動公園武道館 (ユウケイ武道館) / (公財) 栃木県スポーツ協会	館長
理 事	高 田 勉	群馬県総合スポーツセンター ALSOKぐんま武道館 / (公財) 群馬県スポーツ協会	館長
理 事	天 野 尚 文	さいたま市大宮武道館 / (株) サイオー	館長
理 事	川 崎 浩 祐	千葉県総合スポーツセンター 武道館 / 千葉県スポーツ協会・千葉県まちづくり公社グループ	センター長
理 事	寺 内 定 雄	東京武道館 / (公財) 東京都スポーツ文化事業団グループ	館長
理 事	大 山 圭 子	横浜武道館 / (株) YOKOHAMA 文体	館長
理 事	高 橋 創 一	川崎市石川記念武道館 / シンコースポーツ株式会社	館長
理 事	木 村 正 哉	謙信公武道館 (新潟県立武道館) / (株) PFI新潟県立武道館サービス	館長
理 事	中 橋 秋 芳	県営富山武道館 / (公財) 富山市体育協会	館長
理 事	堤 博 昭	県営高岡武道館 / (公財) 高岡市体育協会	館長
理 事	山 本 智 秀	石川県立武道館 / 石川県体育協会グループ	館長
理 事	小 林 正 純	福井県立武道館	館長
理 事	原 克 彦	岐阜メモリアルセンター / (公財) 岐阜県スポーツ協会	常務理事
理 事	高 橋 和 秀	静岡県武道館 / 静岡県スポーツ協会グループ	館長
理 事	佐 藤 昭 人	三重武道館 / 津市スポーツ・メッセネットワーク	常務理事兼事務局長
理 事	松 井 道 宣	京都市武道センター (旧武徳殿) / 岡崎スポーツネットワーク【代表(公財)京都市スポーツ協会】	会長
理 事	鳥 野 大 洋	大阪市立修道館 / (公財) 大阪武道振興協会	館長
理 事	西 茂 樹	兵庫県立武道館 / 兵庫県体育協会グループ	館長
理 事	牧 野 望	奈良県立橿原公苑	公苑長
理 事	橋 本 剛	和歌山県立武道館 / (公財) 和歌山県スポーツ振興財団	館長
理 事	金 津 義 彦	島根県立武道館 / (公財) 島根県スポーツ協会	館長
理 事	藤 田 長 久	岡山武道館 / (公財) 岡山県武道振興会	館長
理 事	野 村 満 史	広島県立総合体育館 / (公財) 広島県教育事業団	館長
理 事	前 田 安 典	維新百年記念公園維新大見アリーナ武道館 / (一財) 山口県施設管理財団	理事長
理 事	大 林 達 造	香川県立武道館 / 四電工・シンコースポーツ四国 グループ	館長
理 事	尾 崎 幸 朗	愛媛県武道館 / (公財) 愛媛県スポーツ振興事業団	館長
理 事	山 下 英 治	高知県立武道館 / (公財) 高知県スポーツ振興財団	館長
理 事	鶴 英 樹	福岡県立スポーツ科学情報センター / アクシオン福岡マネジメントグループ	所長
理 事	溝 上 泰 弘	SAGAサンライズパークSAGAプラザ (総合体育館) / (株) SAGAサンシャインフォレスト	代表取締役
理 事	松 山 度 良	長崎県立武道館 / (公財) 佐世保市スポーツ協会	会長
理 事	萩 尾 英 司	ひなた武道館 (宮崎県武道館) / (公財) 宮崎県スポーツ施設協会	常務理事兼事務局長
理 事	佐 保 宏 二	レゾナック武道スポーツセンター (大分県立武道スポーツセンター)	会長
理 事	肥 後 昭 文	鹿児島県総合体育センター / セイカ・ユナイテッドグループ	所長
理 事	渡 慶 次 勝	沖縄県立武道館 / 奥武山パークマネジメント	館長
監 事	新 井 彰	埼玉県立武道館 / 埼玉県立武道館指定管理者	館長
監 事	八 卷 智 也	山梨県小瀬スポーツ公園武道館 / (公財) 山梨県スポーツ協会	管理課課長

## 全国都道府県立武道館協議会 会報 第48号

---

令和8年2月27日 発行

発行人 川 端 達 夫

編集人 片 岡 正 徳

発行所 全国都道府県立武道館協議会

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園 2-3

公益財団法人 日本武道館内

電話 03-3216-5137 FAX 03-3216-5389

---

印刷・製本 錦明印刷株式会社

《不許複製・禁転載》